

TOKYO COLLEGE of
MUSIC

FACTBOOK 2025

~2026.03

TCM

目 次

FACTBOOK2025 について 1

I. 学部・大学院

概要

1 建学の精神 2
 2 東京音楽大学ビジョン 2
 3 教育の目的 4
 4 3つのポリシー 5
 5 沿革 8
 6 組織 9
 7 教員・職員 11
 8 キャンパス・施設 15

教育

1 学 生 数 16
 2 入 試・入 学 状 況 22
 3 卒 業・修 了 32
 4 休 学・退 学 34
 5 開 講 科 目 数 38
 6 単 位 修 得・学 修 成 果 40
 7 教 職 課 程 44
 8 進 路 46
 9 公 開 講 座・演 奏 会 48
 10 大 学 間 連 携 51

学生生活

1 奨 学 金・授 業 料 減 免 52
 2 学 生 相 談 室 56
 3 学 生 寮 56

社会貢献

1 地 域・社 会 連 携 57
 2 外 部 依 頼 演 奏 会 59
 3 社 会 人 講 座 61
 4 SDGs 63

グローバル

1 国 際 交 流 64
 2 派 遣 留 学 生 66
 3 受 入 留 学 生 67

研究

1 研 究 助 成 金 等 68
 2 リポジトリ 69

II. 付属高等学校

1 沿 革 70
 2 教 職 員 数 70
 3 生 徒 数 71
 4 入 試・入 学 状 況 74
 5 卒 業・進 路 77

III. 付属幼稚園

1 園 児 数 79
 2 入 試・入 園 状 況 80
 3 卒 園・進 路 81
 4 教 職 員 数 81
 5 児 童 レッ ス ン 部 82

IV. 付属図書館

1 蔵 書 数 83
 2 利 用 状 況 84

VI. 付属音楽教室

1 生 徒 数 91
 2 入 室 状 況 92

V. 民族音楽研究所

1 公 開 講 座 88
 2 社 会 人 講 座 89
 3 刊 行 物 90
 4 アートマネジメント人材育成 90

財務状況

事業活動収支計算書関係比率 94
 貸借対照表関係比率 95

学校法人東京音楽大学

FACTBOOK2025 について

「東京音楽大学 FACTBOOK」は、本学の Institutional Research(IR)活動の一環として、法人と附属学校及び附属機関の過去の情報等を活用し、その経年変化等をグラフ等により可視化したデータ集です。

具体的には、複数年にわたる教育、研究、社会貢献、学生生活、進路状況、グローバル、財務状況等に関する状況を包括的に把握し、見やすい図や表、グラフ等に整理しました。

学校法人東京音楽大学における業務遂行(将来構想、計画設定、政策決定、経営判断等)を支援するための情報を提供することを目的としています。

また、「東京音楽大学 FACTBOOK」を広く公開することは、本学を取り巻く社会やステークホルダーに対する説明責任を果たすことに繋がると考えます。

本学は、建学の精神と理念「アカデミズムと実学の両立」「音楽による社会貢献」「国際性」を念頭に、一層の発展を目指してまいります。

学校法人 東京音楽大学

理事長 丸山 恵一郎

1. 建学の精神と理念

- ・ アカデミズムと実学の両立
- ・ 音楽による社会貢献
- ・ 国際性

東京音楽大学は、鈴木米次郎により明治40(1907)年に創設された東洋音楽学校を前身とする、我が国で最も古いルーツを持つ私立音楽大学です。昭和38(1963)年に四年制大学として認可され、続いて昭和44(1969)年に東京音楽大学と名称変更し、平成5(1993)年に大学院音楽研究科修士課程、平成26(2014)年に同研究科博士後期課程を設置し、現在に至っています。

創設者の鈴木米次郎は常々「音楽を通して社会に貢献する」ことの重要性を説き、私立学校設立認可願に学校の設立目的を「汎ク音楽ニ関スル学科及術科ヲ教授シ以テ高潔ナル品性ノ修養ヲ得セシムルニアリ」と記しています。すなわち鈴木が目指したのは、音楽に関する学問的探究と高度な音楽技量の修得を通じて教養豊かな音楽人を育成すること、それによって社会に貢献すること、さらには東洋(東京)にあって西洋音楽と東洋音楽を幅広く学べる拠点を提供することでした。

鈴木はその考えを、創設当初から、修業年限を東京音楽学校(現・東京藝術大学)と同じ3年(他の私立音楽学校は1~2年)とすること、視覚障がい者のための点字楽譜を開発すること、清国留学生を積極的に受け入れること(これら留学生は中国における西洋音楽教育普及に尽力した)、雅楽を指導科目に取り入れること、卒業生を「船の楽士」として太平洋航路の客船に乗船させること等を通して実践していました。

こうした創設者の志は、平成25(2013)年に建学の精神と理念「アカデミズムと実学の両立」「音楽による社会貢献」「国際性」として明文化されました。

2. 東京音楽大学ビジョン

— 音楽文化の新たな地平を拓く —

東京音楽大学は、1907年の開学以来、建学の精神である「音楽を通して広く社会に貢献できる人材の育成」を目標に、演奏活動を通じて海外協定機関等との緊密で多様な音楽文化の交流を育みながら、演奏力を安定的に発展、成熟させるとともに、教育研究の世界展開に多くの成果を挙げてきました。

本学は、急速な技術革新やグローバル化が進展する現代社会にあって、伝統を継承しつつ、常に新たな教育と研究の道を模索してきました。2017年4月には、音楽を柱に、教養と英語の能力も身につけて世界のあらゆる分野で活躍できる人材を育成する「ミュージック・リベラルアーツ専攻」を開設し、2019年4月には、新たに「中目黒・代官山キャンパス」を開校するとともに、「吹奏楽アカデミー専攻」を開設するなど、教育研究の質の飛躍的向上と充実に取り組んで参ります。

新しい時代に向けて音楽文化を創造し、音楽により、また音楽を通して、急激に変化する社会の様々な要請や期待に応えていくことを目指して、「東京音楽大学ビジョン」を定めました。

2. 東京音楽大学ビジョン

1. 全学を挙げた先進的な活動により、音楽文化の新たな地平を拓きます。

音楽は、人間の感性に直接働きかける力を持ち、あらゆる境界を越えて広がっていく可能性を秘めています。

本学は、先進的な教育、研究及び社会貢献等を基盤として、人の心を自由にし、豊かな未来を実現する音楽文化の新たな地平を拓いていきます。

2. 変化し続ける社会を見据えて、音楽で感動を与え、音楽で明日をつくる人材を育成します。

急速な技術革新やグローバル化等により絶えず変化する社会にあって、音楽大学には、演奏や音楽活動を通して人びとに感動を与え、その精神を崇高にし、多様な価値観を受け止められる感性を有する人材の育成が求められます。

本学は、学生一人ひとりが音楽に関する高度で専門的な知識・技術とともに豊かな教養を身につけ、西洋・東洋の枠を超えた多様な音楽文化や、音楽とITを融合する最先端の分野等についても多角的な視点を持った人材を育成し、社会のニーズに応えます。

大学院教育については、その質の格段の向上と、未来を牽引する人材を育成する観点から、教育研究組織の改編を含め抜本的な改革を推進し、その進化を図ります。

3. 音楽文化の多角的な研究を展開し、広く成果を発信します。

音楽文化の多様化、複雑化が進む現代において、未来を切り拓く多彩なアプローチによる音楽文化に関する研究や、本学の強みである演奏法や指導法の開発を推進し、異分野の研究者との共同研究を組織的に展開していく。これらの最新の研究成果を教育に反映するとともに、世界に発信します。

また、附属民族音楽研究所においては、アジア音楽の研究拠点として創造的な研究を推進します。

4. 双方向の国際交流を活発化し、多文化が共存するキャンパスを目指します。

グローバル化が進展する中で新たな音楽文化を創造するには、歴史とともに社会をよく知ることが求められ、多文化が共存するキャンパスであることが不可欠です。

多様な価値観を尊重することの重要性を踏まえ、教職員、学生及び教育研究等について双方向の国際交流を活発化するとともに、多様な背景を持った人の受入れを積極的に推進します。

これらを通して国際性に富んだ人材を育成するとともに、国際交流推進のための環境整備を図ります。

2. 東京音楽大学ビジョン

5. 鋭意音楽活動を展開し、地域社会の活性化、文化力の向上に積極的に貢献します。

音楽活動を通じて地域社会から求められる社会貢献活動を行い、地域社会の活性化及び文化力の向上に貢献します。

そのため、地域社会に開かれた大学として、自治体、音楽関係団体、音楽コミュニティ、さらに校友会等との連携及び協働によるコンサート、公開講座、ワークショップ、音楽祭等を活発に展開します。また、自治体、産業界、音楽コミュニティ等の要請により本学の学生及び教職員を積極的に派遣し、魅力ある地域づくりに貢献します。

6. クリエイティブ・キャンパスを創出・運営し、構成員が自ら成長し続ける大学を実現します。

本学は、2019年4月に中目黒・代官山キャンパスを開校し、従来の池袋キャンパスとの連携の下、機能性、創造性、知的生産性、安全性及びICT環境等を備えた「クリエイティブ・キャンパス」を創出・運営して、教育研究の質の一層の向上を図るとともに、教職協働による働き方改革を積極的に推進し、教職員及び学生が自ら成長し続ける大学を実現します。

また、付属高等学校を池袋キャンパスに移転統合して実効性のある高大接続改革を推進します。

そのため、大学の将来を見据えた経営戦略に基づく財務計画を策定し、中長期的な財政基盤の確立を図ります。

2019年1月11日策定

3. 教育の目的

学則では、本学の教育目的を次のように謳っています。

「本学は、教育基本法に則り、広く一般教育の知識を授けるとともに、音楽の専門教育を行い、これを通じて人格の完成をはかり、もって有為な音楽家を育成することを目的とする。」（学則第2条）

「本学は、音楽芸術の研鑽を通じて、高度な専門性を有した音楽家、音楽教育者を育成する。また、自らの音楽的個性とともに幅広い教養を備え、現代社会の様々な局面に対応しうる人材を育成することを教育目標とする。」（学則第2条の2）

「本学大学院は、広い視野に立って、音楽に関する精深な学術と技能を修得させ、音楽専攻分野における研究能力と高度の専門性を有する職業等に必要とされる能力を養い、その深奥をきわめて、文化の進展に寄与することを目的とする。」（大学院学則第2条）

概要

4.3つのポリシー(学部)

ディプロマ・ポリシー

アカデミズムと実学の精神を両立させることによって、個の確立、協調性、社会性、国際性を獲得し、広く社会に貢献することのできる人材を世に送り出します。

社会において音楽家として活動するためには、以下の3つの自立を果たすことが必要です。

- 自ら演奏や作品を組み立てることができる。
- 自ら音楽における教育の工夫ができる。
- 自ら音楽活動をする場を作り出すことができる。

これらの自立を実現するためには、以下のことを修得する必要があります。

- A. 様式に則した演奏能力や創作能力を身に付けていること。
- B. 音楽の理論や歴史、体系を理解していること。
- C. 専門領域に留まらない教養を身に付け、演奏家、教育者を始め、様々な音楽分野で活躍できる力を持っていること。
- D. 複数の外国語の基本を身に付けていること。
- E. 社会における音楽の役割について考察し、活動できること。
- F. 上記の学習した事柄を総合して、専攻した音楽の分野を的確に表現できること。

以上の能力を身に付け、所定の単位を取得した者に対して、卒業を認定し、学士の学位を授与します。

カリキュラム・ポリシー

個人レッスンを核とする専攻科目を中心に、専門基礎科目・専門共通科目で音楽的能力の基礎を固めるとともにその幅を拡げ、さらに、基礎教育科目で国際人としての広い教養を身に付けることにより、音楽を土台として現代社会の様々な局面に対応しうる人材を育成することを目標とします。

1. 専攻科目 : 質の高い専門教育を実施し、高度な能力を持つ音楽人を養成します。その実現にあたっては、全専攻での一流の教員による個人レッスンとともに、多くの専攻でアンサンブル教育の充実に力を入れています。
2. 専門基礎科目 : 音楽を専門的に学ぶための基礎を固めます。
3. 専門共通科目 : 専攻の枠を超えた音楽的素養を身に付け、その幅を拡げます。
4. 基礎教育科目 : 音楽家として、社会人としての豊かな教養を培います。

アドミッション・ポリシー

○大学において専門的に音楽を学ぶにあたり、楽譜を読む力、音を聴く力、表現の基礎となるテクニック、様式を捉える力、楽典の知識が、一定のレベルに達していることが重要です。

○音楽の学習には外国語も必要です。

○専攻によっては、ピアノ演奏や新曲視唱、新曲視奏の基礎的な能力も必要です。

4.3つのポリシー(大学院)

音楽研究科 修士課程

<ディプロマ・ポリシー>

大学院修士課程においては所定の単位を修得し、かつ以下に示す能力を身に付け、学位審査試験に合格した者に、修士（音楽）の学位を授与します。なお、学位審査試験は修士演奏・修士作品あるいは修士論文（一部専攻においてはこれらの組み合わせ）及び最終試験によって行います。

- 1) 高度な専門的知識・技能と研究能力を身に付け、自立的で質の高い音楽活動を展開できること。
- 2) 旺盛な国際感覚を持ち、多様な音楽的価値観を尊重できること。
- 3) 現代社会における音楽芸術のあり方について考察し、音楽による社会貢献ができること。

<カリキュラム・ポリシー>

器楽専攻

学部で習得した演奏能力を発展させ、レパートリーを拡充します。

時代や地域、演奏形態、楽器の特性、ジャンル等の様々な要素を総合的にとらえた高度な作品解釈力、アンサンブル能力の獲得を目指します。

学生それぞれが目指す将来の職業（演奏家や指導者など）に対応する能力が身につくようにします。

2年次にはリサイタル形式の修士演奏を行います。

声楽専攻

学部で習得した演奏能力を発展させ、レパートリーを拡充します。

時代や地域、演奏形態、ジャンル等の様々な要素を総合的にとらえた高度な作品解釈力、アンサンブル能力の獲得を目指します。

声楽にとって必要な外国語の能力を獲得し、日本語も含めた正しい発音、発声法、歌唱法に基づく芸術的な表現と言語能力を獲得します。

オペラ研究領域では、朗読、立ち居振る舞い、パントマイム、バレエ等の身体表現を学び、舞台での実践力を修得します。

学生それぞれが目指す将来の職業（演奏家や指導者など）に対応する能力が身につくようにします。

2年次には修士演奏を行います。

作曲指揮専攻（作曲）

自らの個性的な創作の基盤ないしは起点となるべき課題を定め、自主性をもって能動的な研究活動、研究発表を行うことにより、総合的な作曲能力の向上を目指します。

最先端情報処理技術を探求し、進化し続けるマルチメディア環境を学び、その実践に取り組みます。

2年次には修士作品を作成します。

作曲指揮専攻（指揮）

指揮者というものの存在意義を再認識し、高度かつ機能的な技法を学び、深い知識や教養の獲得を目指します。

指揮者として自分を見つめ、自分に必要なことを自ら判断する能力を身につけます。

指揮の技法・音楽的な知識・教養はもとより、広く人間同士のつながりが大切であることを学びます。

2年次には修士演奏としてオーケストラを指揮します。

音楽文化研究専攻（音楽教育）

音楽教育に関わる専門的な知見を身につけ、研究能力と実践力を修得します。

社会における様々な音楽文化活動の展開を可能にする幅広い知識を身につけ応用力を獲得します。

音楽教育、音楽文化活動に関わる課題を設定し、修士論文を作成します。

音楽文化研究専攻（音楽学）

音楽学研究に必要な方法論を追究します。

演奏や教育、周辺領域を含む広範囲な視座の獲得を目指します。

学生それぞれが目指す将来の職業（研究者や教育者など）に対応する能力が身につくようにします。

自分の問題意識を明確化し、それに基づいて修士論文を作成します。

概要

4.3つのポリシー(大学院)

音楽文化研究専攻（ソルフェージュ）

楽曲の総合的理解、把握、解釈を可能にする高度な読譜力の修得を目指します。
 指導法や教材作成など、ソルフェージュ教育に必要な能力を獲得します。
 学生それぞれが目指す将来の職業（教育者や研究者など）に対応する能力が身につくようにします。
 各自の専門実技のさらなる修得に加えて、2年次には修士論文を作成します。

音楽文化研究専攻（多文化音楽）

日本を含む世界各地の伝統的な音楽文化を理論と実技の両面から専門的に学びます。
 伝統的な音楽文化を生かした新しい音楽文化（作品、演奏、研究など）の創造を目指します。
 2年次には、理論研究に重点を置いた修士論文の作成、あるいは、実技研究に重点を置いた作品や演奏を通じた課題研究の作成により研究の成果をまとめます。

アドミッション・ポリシー

音楽の専門的な研究に必要な基盤を備え、高度な技術、知見、研究能力を持ち、かつ社会の現況と今後の動静に対応できる柔軟な資質と強い意欲を持つ人材を求めます。

音楽研究科 博士後期課程

ディプロマ・ポリシー

博士後期課程では「音楽の各分野における高度な専門性」「総合的な知見」「社会的・実践的能力」を備えた次のような人材を育成する。

1. 音楽の演奏や創作に関する高度の専門性を有することに加え、総合的な知見をもって文化の進展に寄与する芸術表現を論理的かつ主体的に研究、追求し、かつこれを他分野の人々にも言語化して伝達することを通して社会的・実践的能力を発揮することのできる音楽家、すなわち音楽の実践を行う演奏家並びに作曲家（以下「音楽家」という）。
2. 音楽と教育に関する専門的な知識を修得していることに加え、それらを基盤としながら学際的な研究を行い、かつ音楽教育における実践的スキルと指導法を習得し、教育実践と研究活動をバランスよく遂行しながら、音楽家や音楽学研究者と共同して音楽文化の発展に貢献し、主に高等教育において音楽家や音楽教師の育成に携わる音楽教育者並びに音楽教育学研究者。
3. 音楽に関する深い知識をもって、人間の音楽文化を価値づけることに加え、総合的な知見を有しながら自立して研究を推進し、かつ様々な音楽家や音楽教育者、音楽教育学研究者とも共同して、その成果を社会に発信していく実行力をもった音楽学研究者。

カリキュラム・ポリシー

学生は専門性、総合性、社会的・実践的能力のいずれをも獲得することが、実社会に出て活動するためには必須である。そのために、本学の博士後期課程のカリキュラムは、「専門研究科目」（選択必修）において専門性を高め、「共同研究科目」（選択必修）においてより広い知見と社会的・実践的能力を培い、「総合研究科目」（必修）においては、より広い知見を獲得するとともにそれらを総合し、博士論文や博士演奏、博士作品制作などを行うよう授業科目を配置している。

アドミッション・ポリシー

本研究科は、広い視野に立って、音楽に関する精深な学術と技能を修得させ、音楽専攻分野における研究能力と高度の専門性を有する職業等に必要とされる能力を養い、その深奥をきわめて、文化の進展に寄与することを目的としている。

博士後期課程においては、修士課程で培った専門的な知識・能力に加えて、総合的な知見と社会的・実践的能力を備えた高度専門職業人（音楽家、音楽教育者）と研究者（音楽教育学研究者、音楽学研究者）の養成を行うこととしている。

音楽研究科の教育研究に関する基本理念は、人間力豊かで広い視野を持ち、音楽に関してより高度な専門性と独創力を有し、国内外で活躍する音楽家、音楽教育者、音楽教育学研究者並びに音楽学研究者を育成することであり、次のような資質と問題意識を持つ人材を対象として入学選抜を行う。

1. 博士後期課程への進学目的が明確な者
2. 専門分野における基礎的・専門的な音楽力及び語学力を身に付けている者
3. 博士後期課程の教育研究目標や研究活動を十分理解し、活用できる者

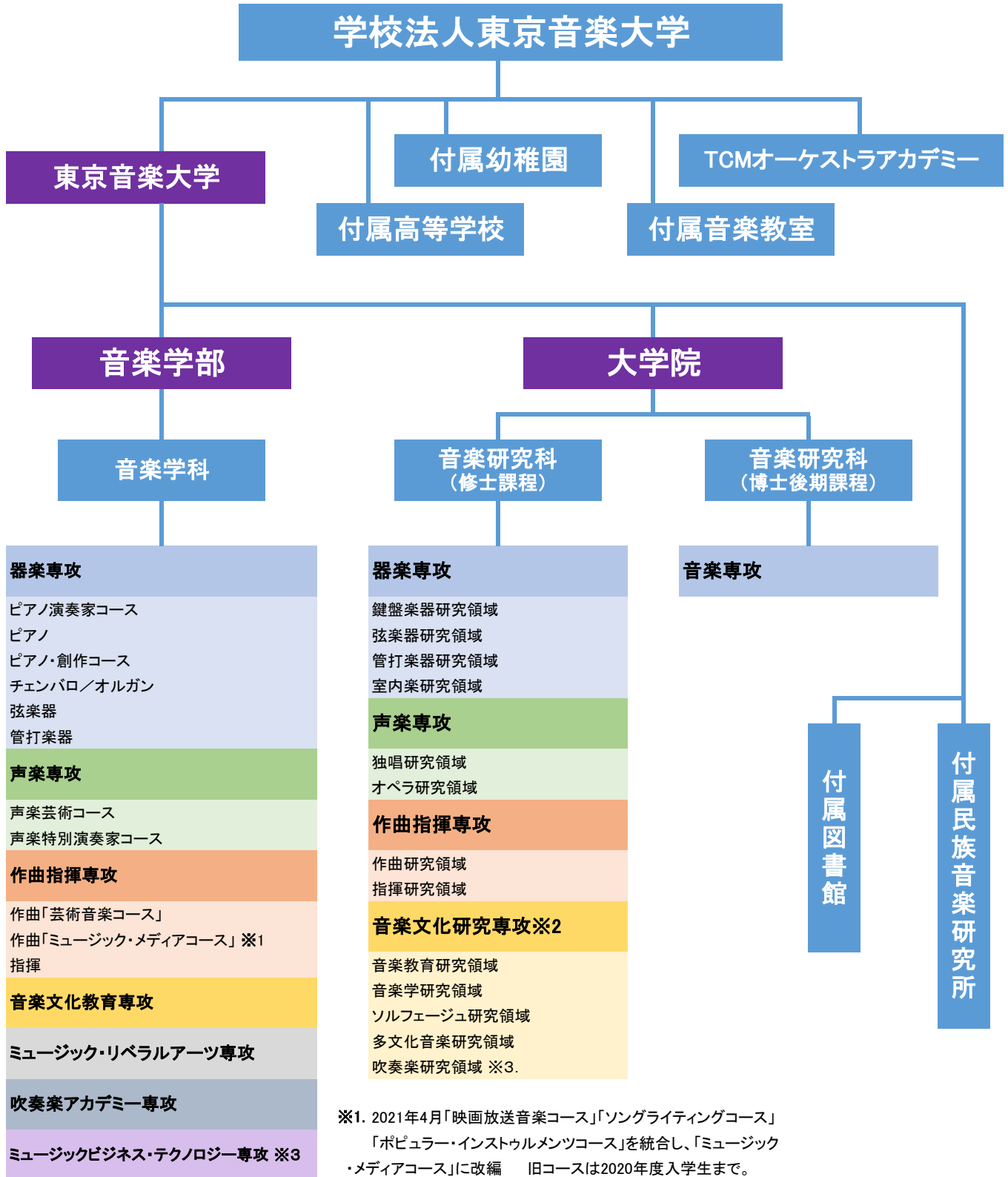
概要

5. 沿革

明治 大正	1907 明治40年 5月	鈴木米次郎、東京市神田区に本学の前身となる東洋音楽学校を創立 現存する私立音楽大学の中で最も古い伝統を有する。 本科と別科があり、ピアノ、オルガン、ヴァイオリン、独唱、作曲を教えた。
	1908 明治41年 9月	管弦楽部設置
	1910 明治43年 3月	東京フィルハーモニー会設立、事務所を本校に設置
	1912 大正元年 4月	卒業生中心の東京オーケストラ団を結成
	8月	東洋汽船会社の地洋丸などアメリカ航路の客船に本校卒業生の楽団が乗船し、20年近く活動を続けた。
	1916 大正 5年 1月	日本の音楽教育機関として初めて雅楽科を開設
	1923 大正12年 9月	関東大震災のため校舎全焼 当時池袋にあった成蹊学園（現成蹊大学）の一部を借り、授業再開
1924 大正13年 11月	北豊島郡高田町大字雑司ヶ谷（現豊島区南池袋）に校舎移転	
昭和	1926 昭和元年 4月	師範科設置
	1930 昭和 5年 11月	現在のB館敷地に鉄筋2階建新校舎竣工
	1937 昭和12年 4月	グルック作曲：歌劇《アウリスのイフィゲニア》を本邦初演（日比谷公会堂）、オーケストラは新交響楽団（現NHK交響楽団）NHKにより全国に中継放送
	9月	演奏旅行（福島、仙台、函館、岩見沢、帯広、池田、網走、北見、旭川、札幌）
	1940 昭和15年 6月	ウェーバー作曲：歌劇《魔弾の射手》を本邦初演（日比谷公会堂） オーケストラは中央交響楽団（現東京フィルハーモニー交響楽団）
	1945 昭和20年 4月	空襲により校舎焼失、終戦後残った鉄筋校舎で授業再開
	1954 昭和29年 2月	東洋音楽短期大学設置認可（声楽専攻、器楽専攻、作曲専攻）
	1960 昭和35年 9月	A館(旧)竣工
	1963 昭和38年 2月	東洋音楽短期大学から4年制の東洋音楽大学に移行設立（声楽専攻、器楽専攻、作曲指揮専攻） 短期大学学生募集停止（昭和45年3月廃止）
	1965 昭和40年 6月	A館(旧)施設拡張（ホール、研究室、学生食堂、会議室を増設）
	1969 昭和44年 4月	B館竣工（11階建、レッスン室、教室、スタジオ）
	8月	東洋音楽大学から東京音楽大学に名称変更
	1970 昭和45年 4月	目白台学生寮竣工
	1971 昭和46年 4月	声楽専攻にオペラコース新設（平成13年まで）
	1973 昭和48年 5月	付属図書館竣工
	1974 昭和49年 4月	付属音楽教室開設
	1975 昭和50年 4月	音楽教育専攻新設
1975 昭和50年 9月	付属民族音楽研究所開設	
1976 昭和51年 4月	器楽専攻にピアノ演奏家コース新設	
7月	東京音楽学校（旧東洋音楽学校）廃止	
平成	1989 平成元年 4月	作曲指揮専攻に映画・放送音楽コース新設 声楽専攻に声楽演奏家コース新設
	1991 平成3年 1月	邦楽研究室棟使用開始
	1993 平成5年 3月	大学院音楽研究科修士課程設置認可（器楽専攻、声楽専攻、作曲指揮専攻、音楽教育専攻）
	1994 平成6年 3月	J館竣工（スタジオ、レコーディングルーム、教室、レッスン室）
	2004 平成16年 9月	K館（法人事務室・会議室・研究室）使用開始
	2005 平成17年 4月	作曲指揮専攻にポピュラー・インストゥルメンツコース新設
	2007 平成19年 3月	創立100周年記念本館（A館）竣工
	4月	音楽教育専攻改編（応用音楽教育コース・実技専修コース）
	2011 平成23年 4月	器楽専攻にピアノ演奏家コース・エクセレンス新設
	2012 平成24年 4月	作曲指揮専攻にソングライティングコース新設
	2013 平成25年 11月	大学院音楽研究科博士後期課程設置認可（博士（音楽）、博士（音楽教育学）、博士（音楽学））
2014 平成26年 4月	器楽専攻にコンポーザー＝ピアニストコース、ピアノ・創作コース新設	
2017 平成29年 4月	ミュージック・リベラルアーツ専攻新設	
2018 平成30年 4月	声楽専攻改編（声楽芸術コース／声楽特別演奏家コース）	
2019 平成31年 4月	中目黒・代官山キャンパス開校 吹奏楽アカデミー専攻新設	
令和	2020 令和2年 4月	音楽文化教育専攻 改編
	2021 令和3年 4月	作曲指揮専攻のミュージック・メディアコース改編 （映画・放送音楽コース、ポピュラー・インストゥルメンツコース、ソングライティングコース統合）
	2022 令和4年 4月	TCM学生寮（池袋）開寮 東京音楽大学付属オーケストラアカデミー設立
	5月	創立115周年
2024 令和6年 4月	ミュージックビジネス・テクノロジー専攻新設 音楽文化教育専攻改編	

※海外演奏旅行については「グローバル」（3国際交流）に掲載。

6.組織(1)学校組織図(教育・研究組織)2025年度

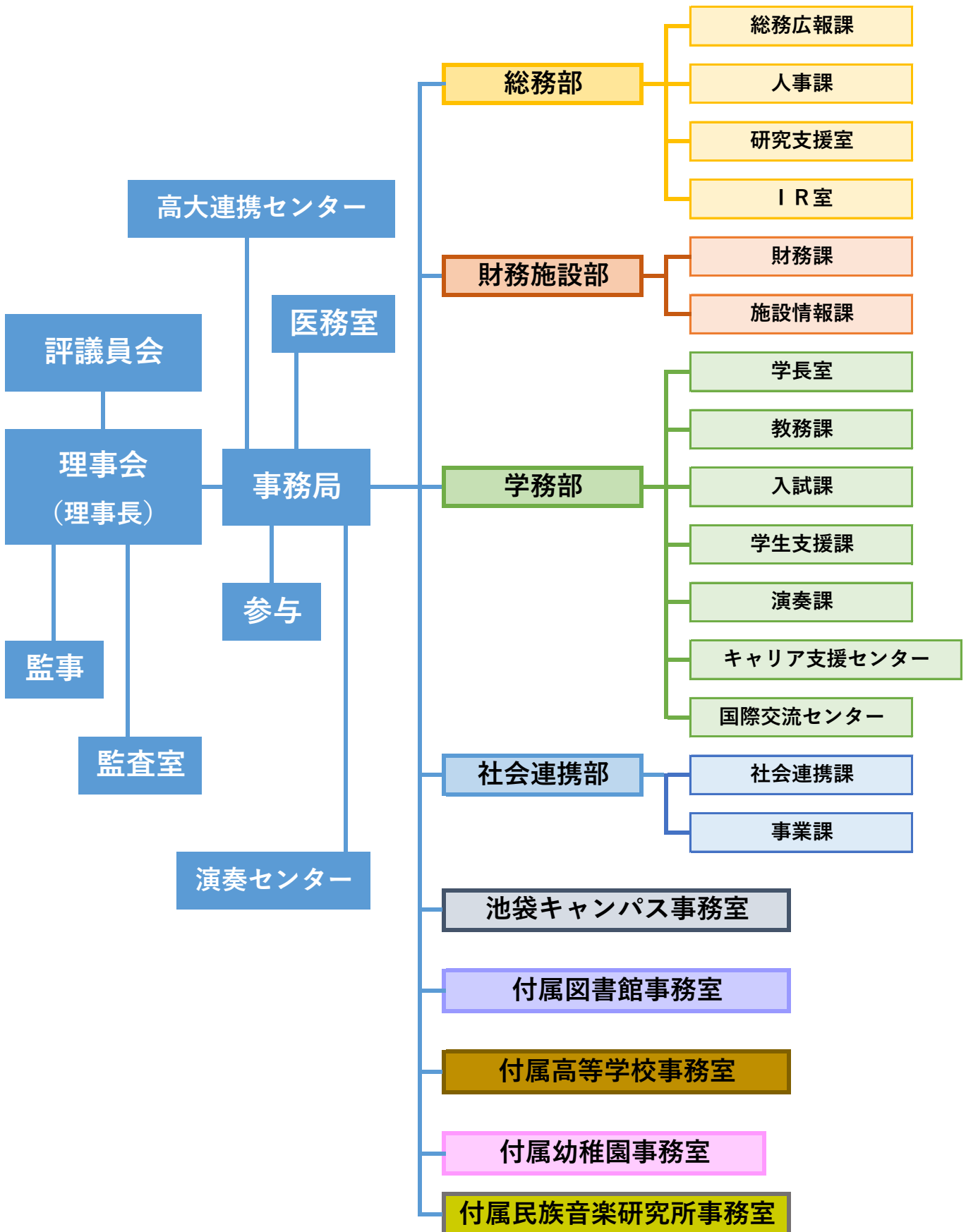


※1. 2021年4月「映画放送音楽コース」「ソングライティングコース」
「ポピュラー・インストゥルメンツコース」を統合し、「ミュージック
・メディアコース」に改編 旧コースは2020年度入学生まで。

※2. 2020年4月音楽教育専攻から名称変更。このFACTBOOKで
は、専攻名を改称後の「音楽文化教育専攻」(学部)
「音楽文化研究専攻」(大学院)で統一する。

※3. 2024年4月新設。

6.組織(2)法人・事務組織 2025年度

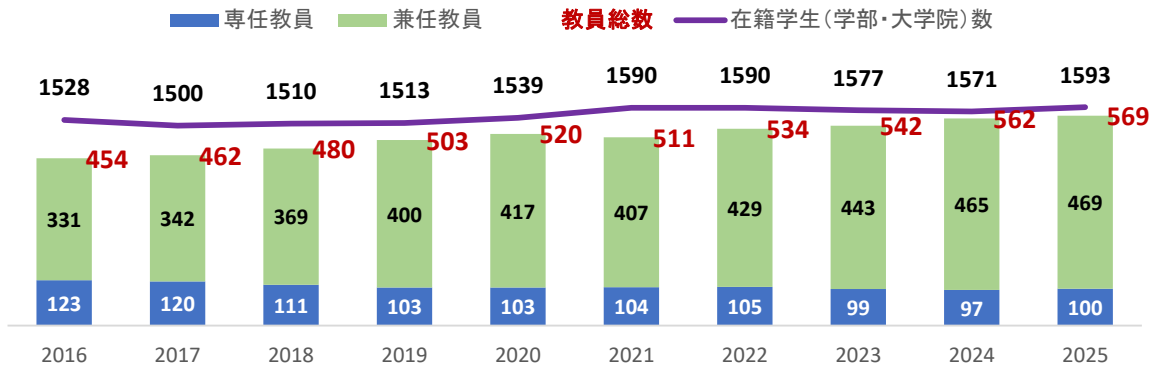


概要

7. 教員・職員 (1) 教員

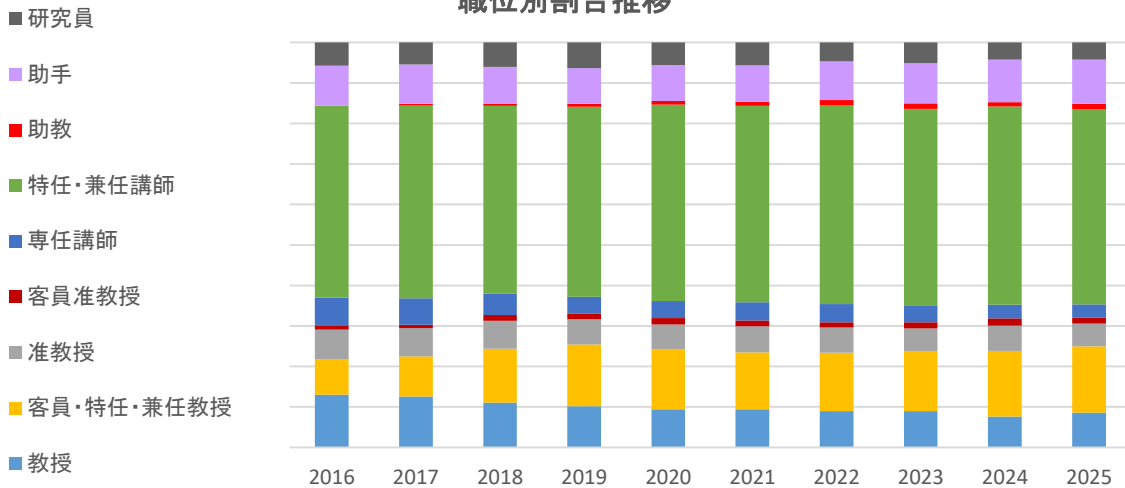
※教職員数・学生数は各年度5月1日付けの数字。

教員数・在籍学生数推移

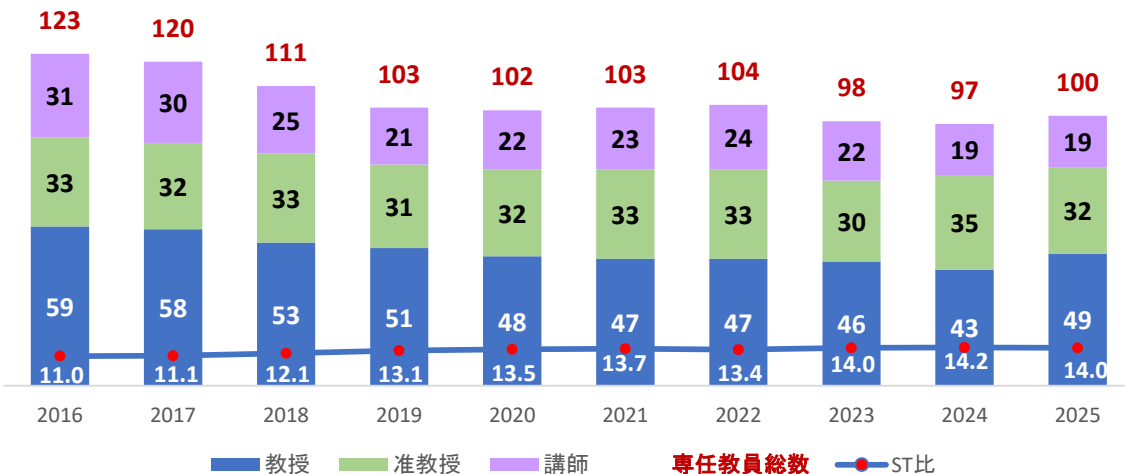


※大学院・民族音楽研究所所属教員、及び研究員を含む。在籍学生数には学部・大学院とも科目等履修生は含まない。

職位別割合推移



職位別専任教員数・ST比推移

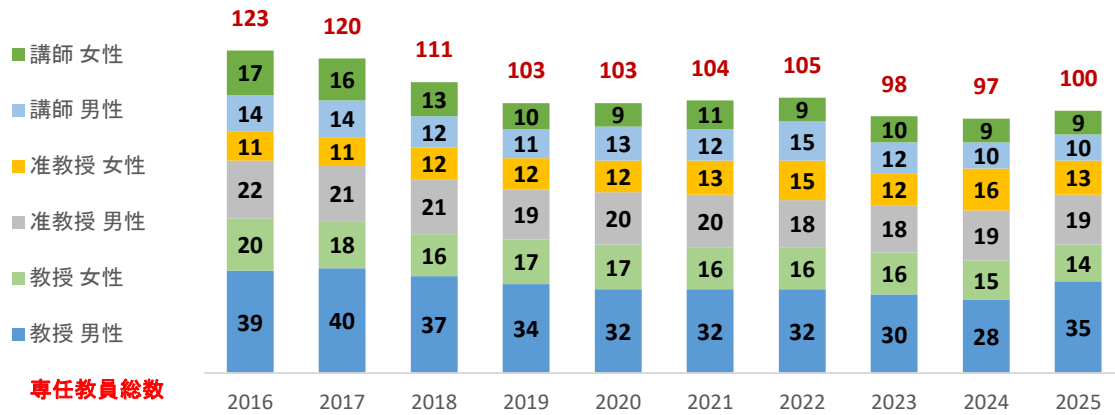


※ST比は専任教員一人当たりの学生数。本グラフでは本学学部教員数と学部生数に基づき算出。

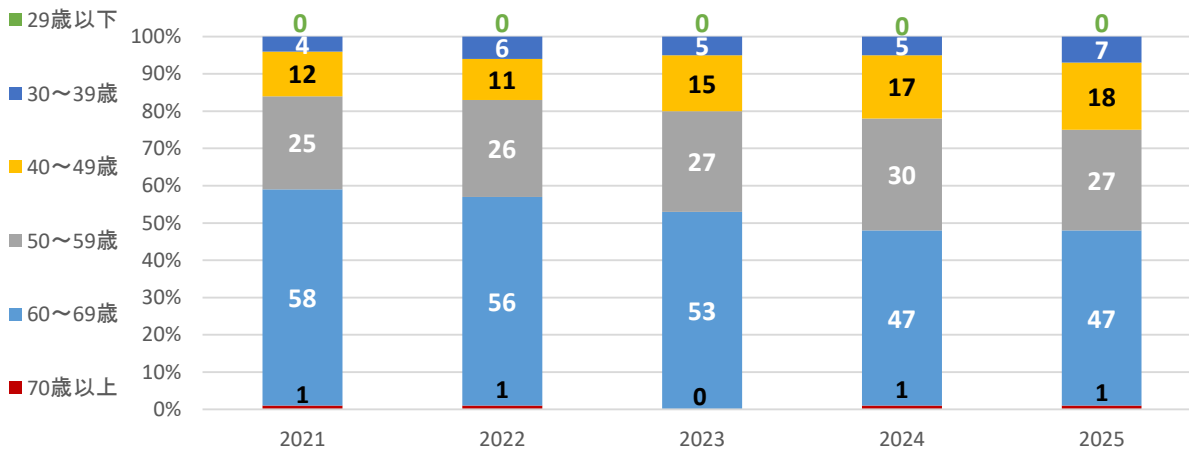
概要

7. 教員・職員 (1) 教員

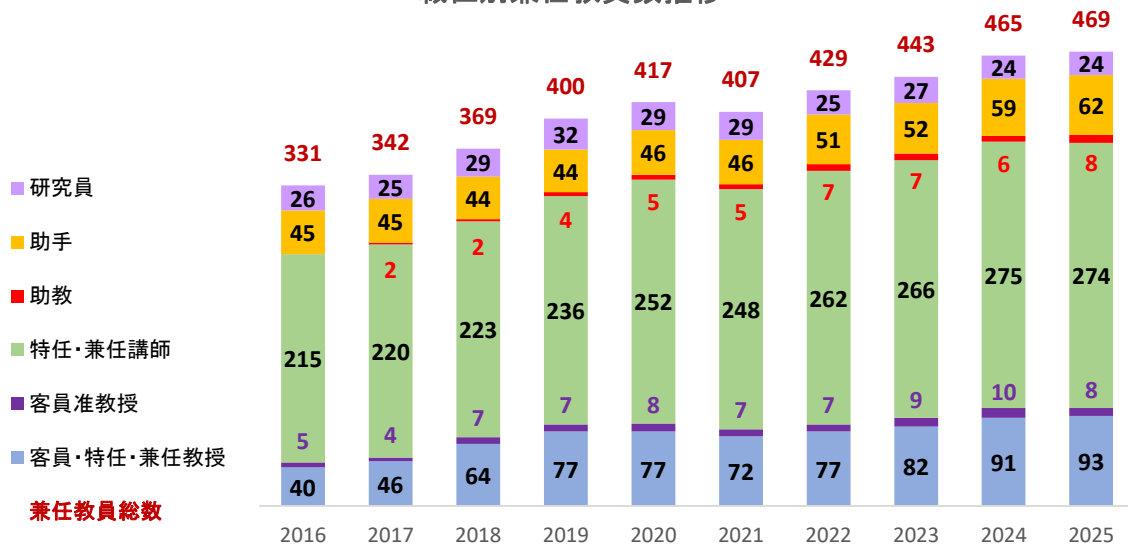
職位・男女別専任教員数推移



専任教員年齢別割合推移



職位別兼任教員数推移

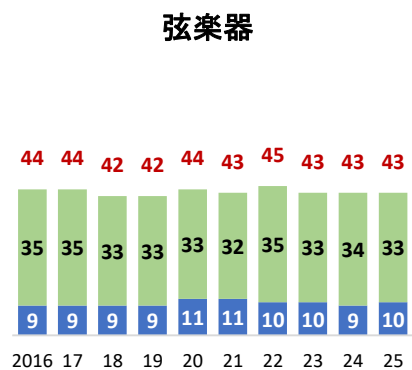
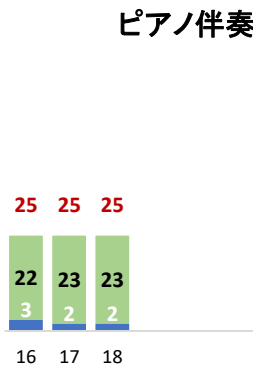
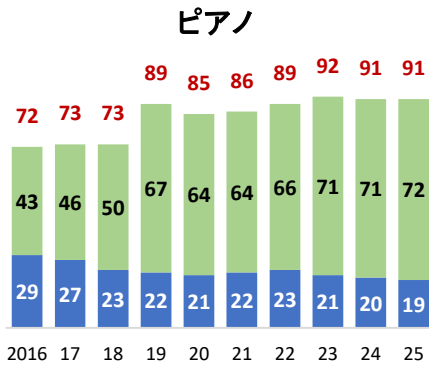


概要

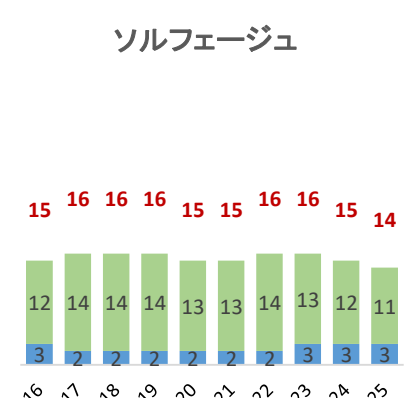
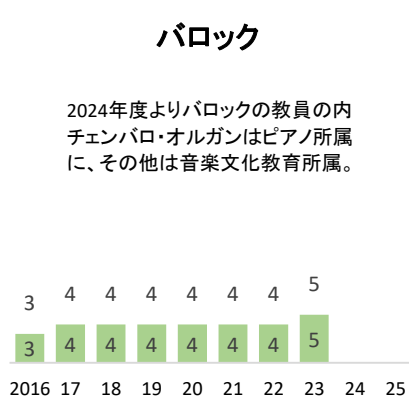
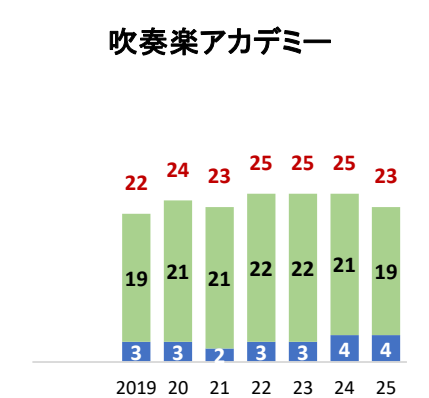
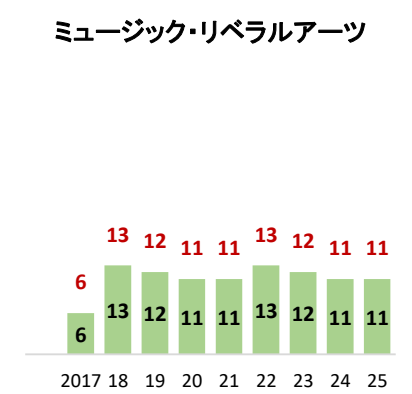
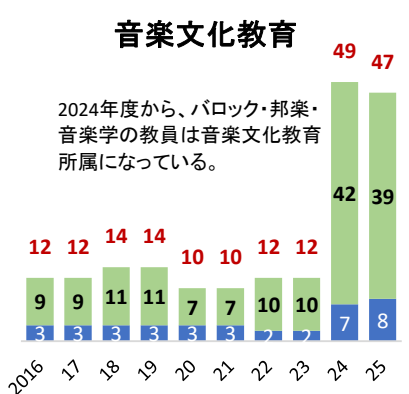
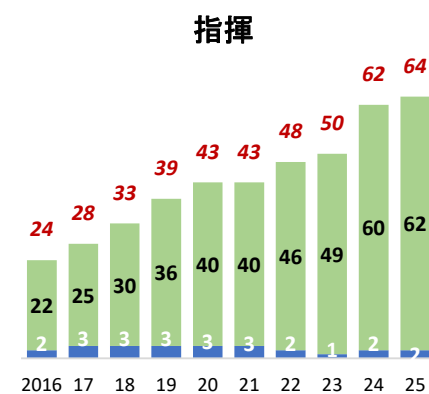
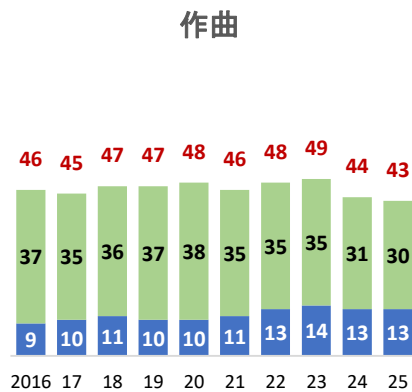
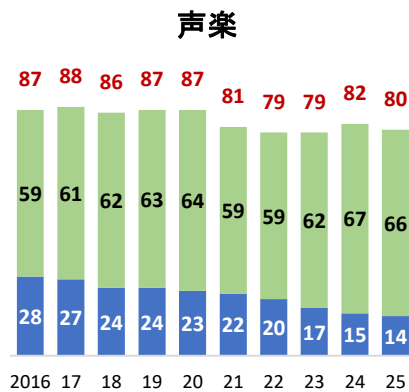
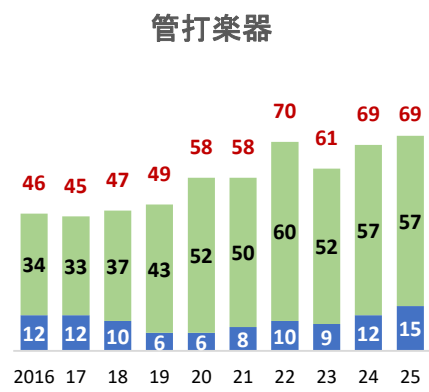
7. 教員・職員 (1) 教員

所属別教員数推移(各所属研究員を含む)

■ 専任教員 ■ 兼任教員 ■ 総数



※2019年度～伴奏の教員はピアノの所属となっている。



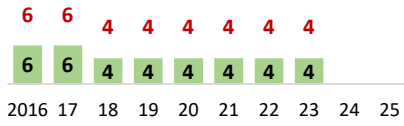
概要

7. 教員・職員 (1) 教員

■ 専任教員 ■ 兼任教員 ■ 総数

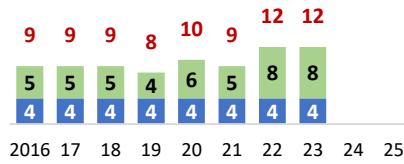
邦楽

2024年度より邦楽の教員は音楽文化教育に所属。

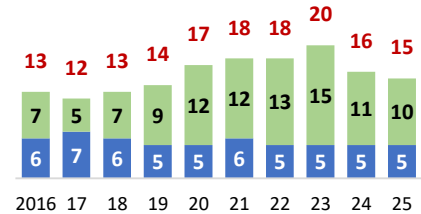


音楽学

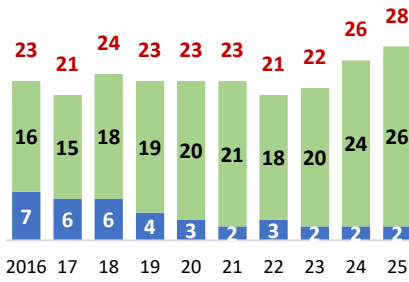
2024年度より音楽学の教員は音楽文化教育に所属。



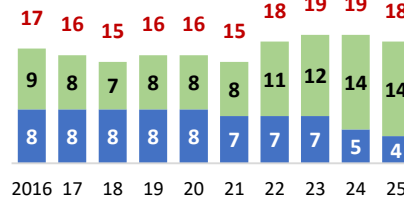
教職課程



外国語



教養科目



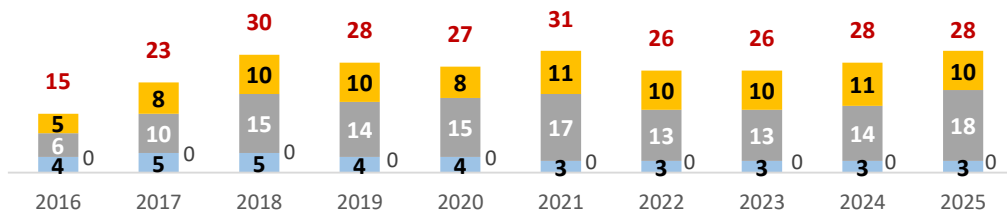
ミュージックビジネス・テクノロジー



7. 教員・職員 (2) 外国籍教員

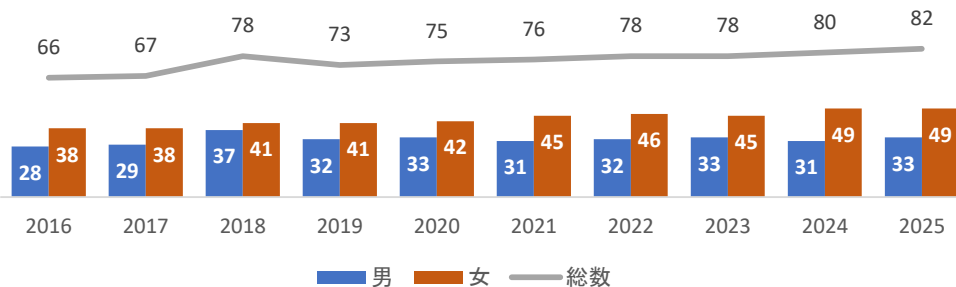
外国籍教員数

■ 外国人専任教員(男性) ■ 外国人専任教員(女性) ■ 外国人非常勤教員(男性) ■ 外国人非常勤教員(女性) ■ 総数



7. 教員・職員 (3) 職員

専任職員数



概要

9. キャンパス・施設

中目黒・代官山キャンパス

TCMホール(音楽ホール) 422席	
TCMスタジオ(録音・録画)	
レッスン室	83
教室	22
特大教室	1
練習室	64
キーボード室 (23台)	1
クリエイティブラボ	
自習室	1
グループ学習室	5
セミナーエリア	1
セミナールーム	2
学生と街のレストラン	
楽器室	
カフェ(DEAN&DELUCA)	
売店(KAWAI)	

池袋キャンパス

100周年記念ホール(音楽ホール) 806席	
レコーディングルーム	
レッスン室	51
教室	23
B館スタジオ(大教室・パイプオルガン)	
J館スタジオ(大教室)	
練習室	103
B館3階コンピュータ室 (Windows)	1
B館4階コンピュータ室 (Macintosh)	1
J館コンピュータ室 (シンセサイザー・PC18組)	1
体育館	
学生食堂	
楽器室	
附属図書館	
附属高等学校	
附属幼稚園	
附属民族音楽研究所	

TCM学生寮

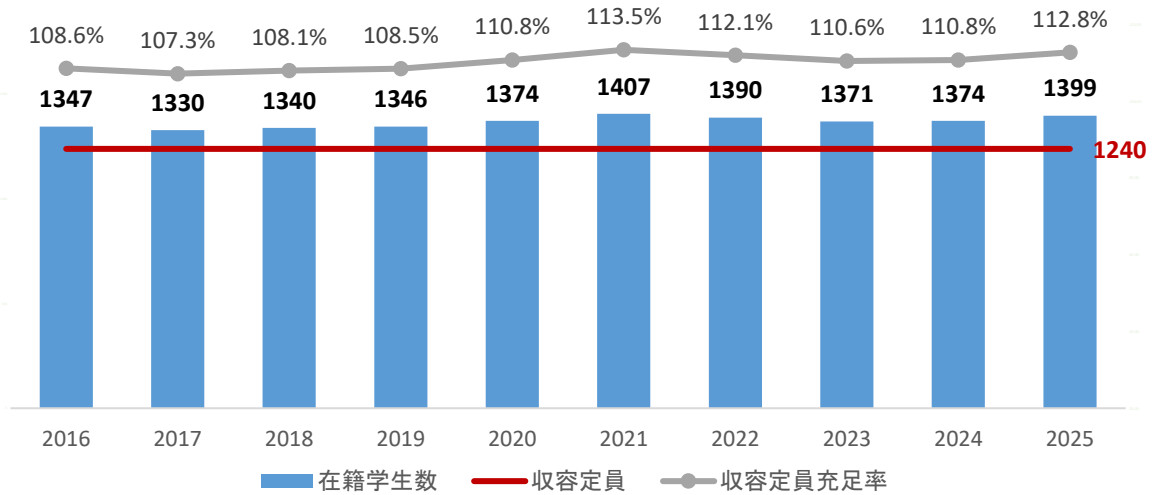
定員	124名
1人部屋	124室

※附属高校生定員20名を含む。

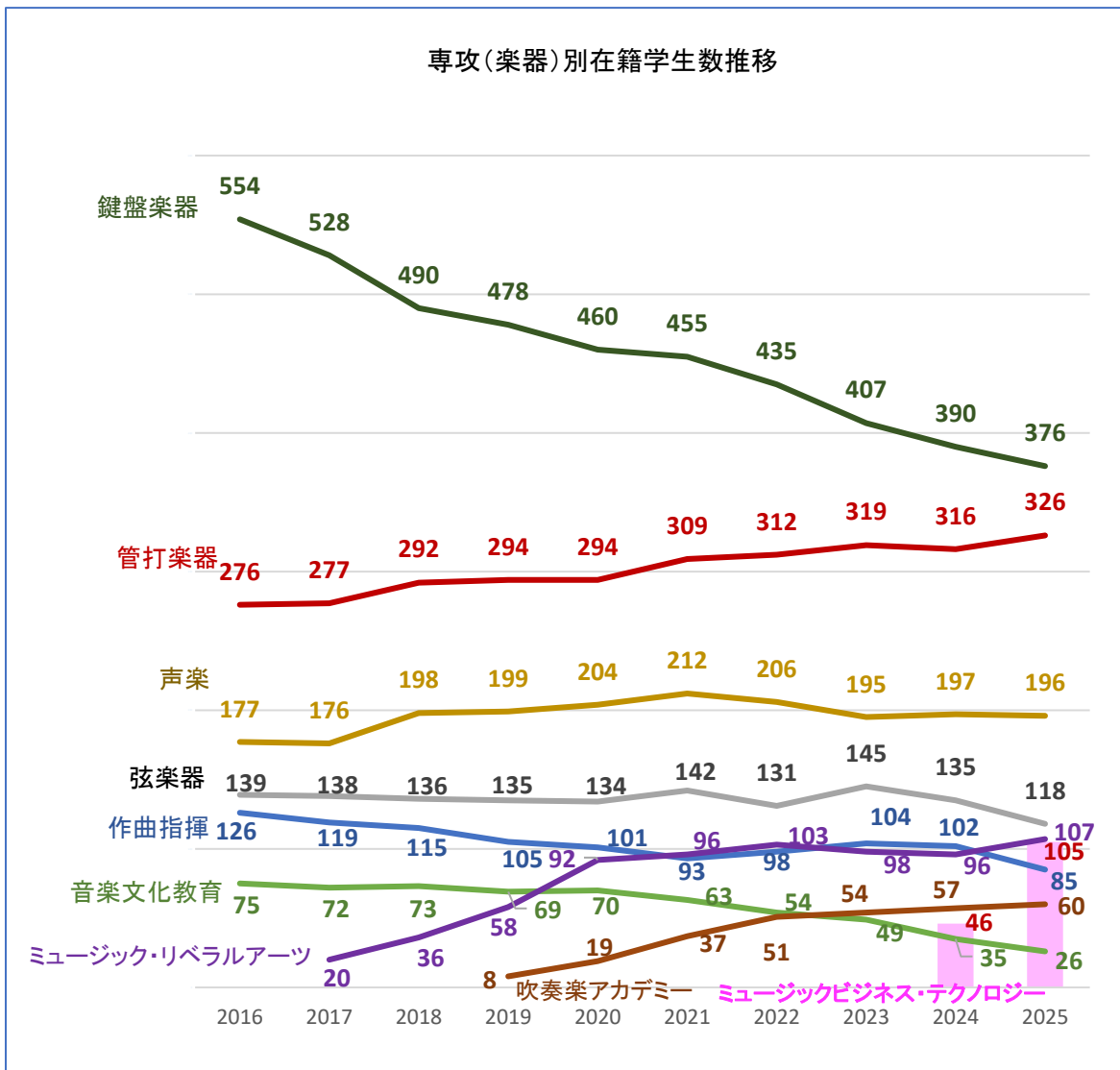
1. 学生数 (学部)

※学生数は各年5月1日付けの数字。

学部在籍学生数・収容定員充足率推移

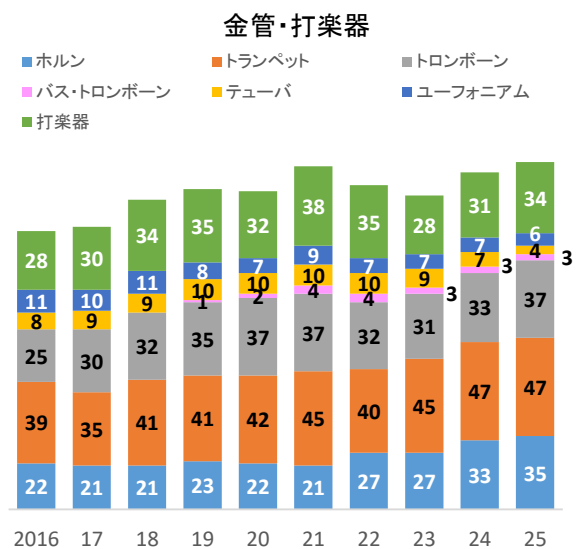
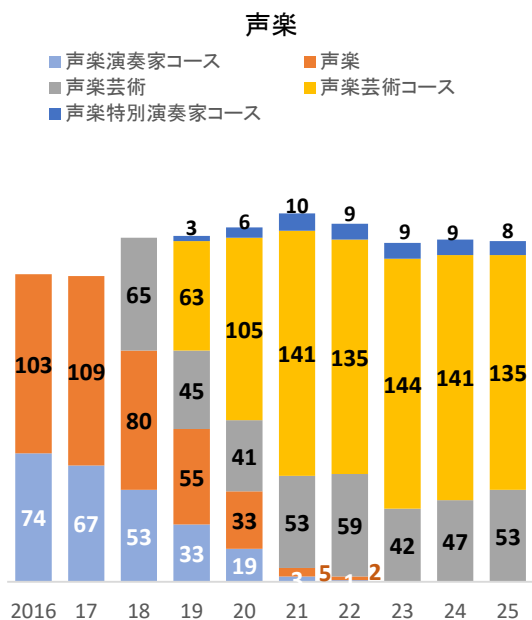
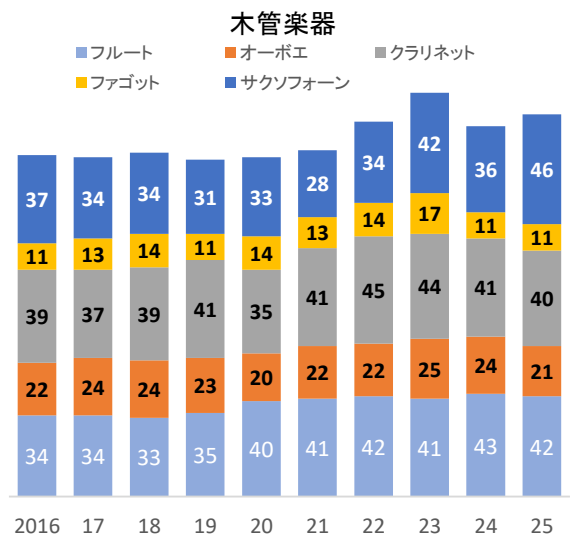
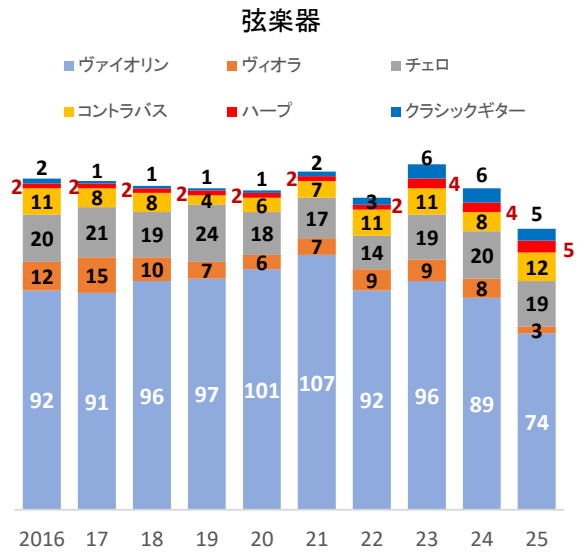
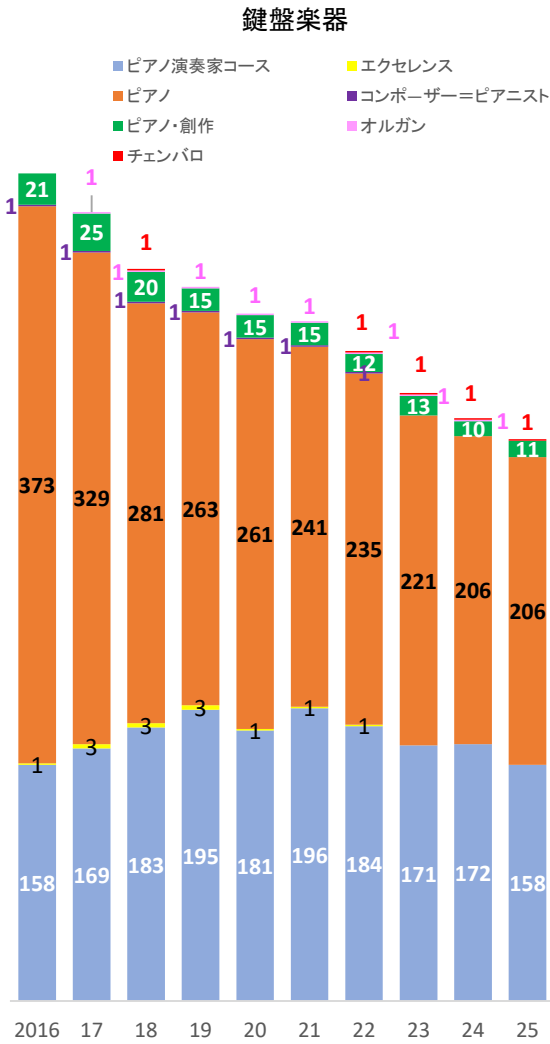


専攻(楽器)別在籍学生数推移



1. 学生数 (学部)

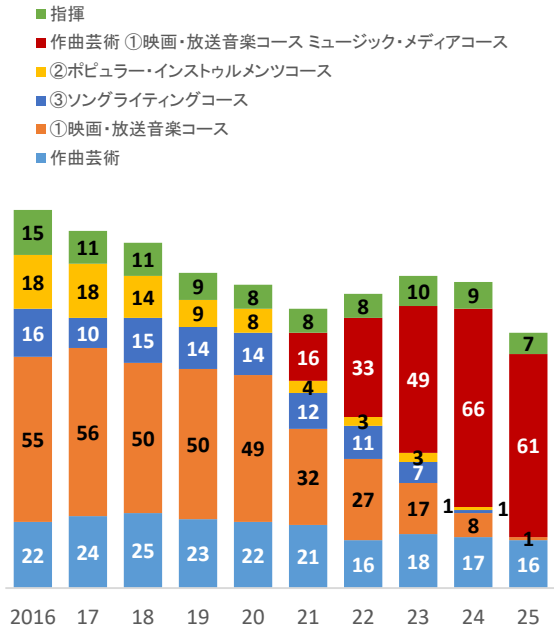
専攻・楽器別在籍学生数推移



1. 学生数 (学部)

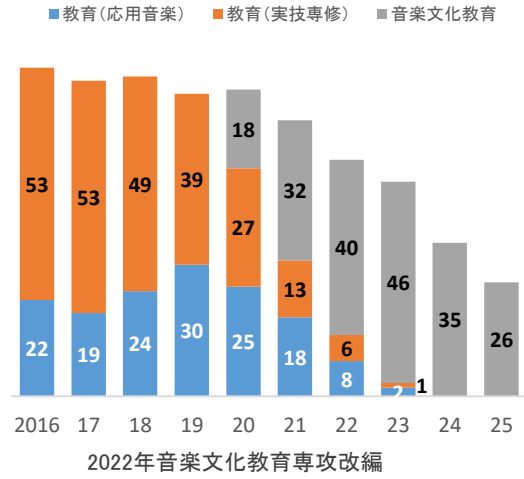
専攻・楽器別在籍学生数推移

作曲・指揮



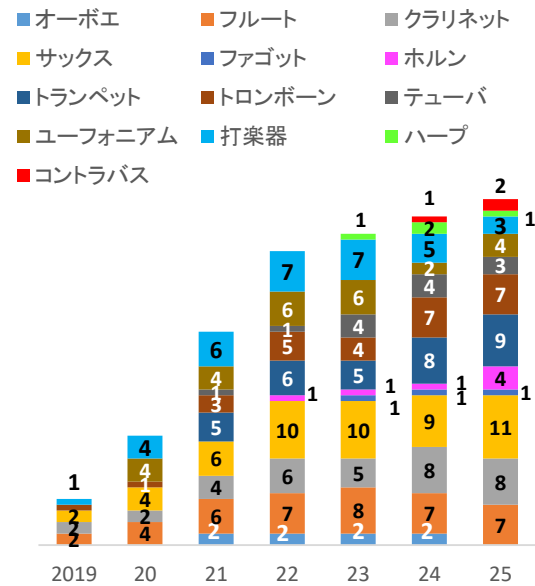
①②③は2021年ミュージック・メディアコースに統合。

音楽文化教育

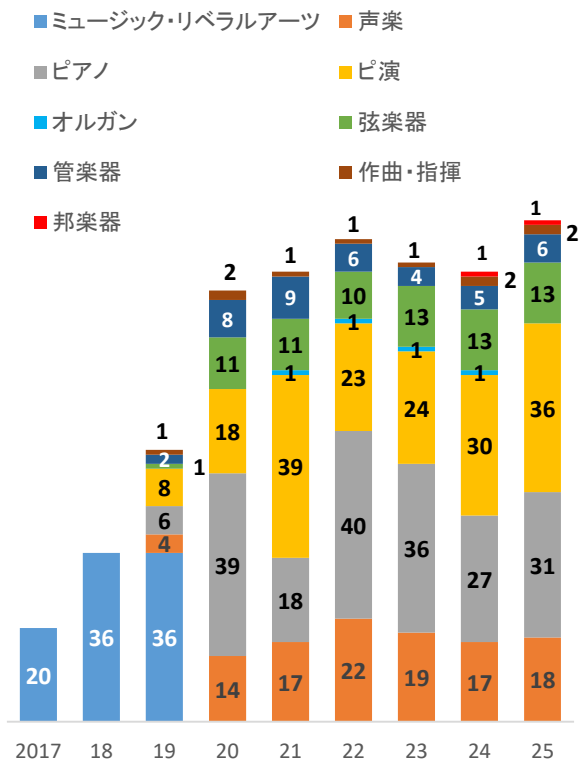


2022年音楽文化教育専攻改編

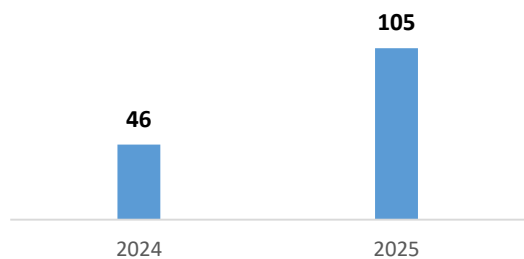
吹奏楽アカデミー



ミュージック・リベラルアーツ(MLA)

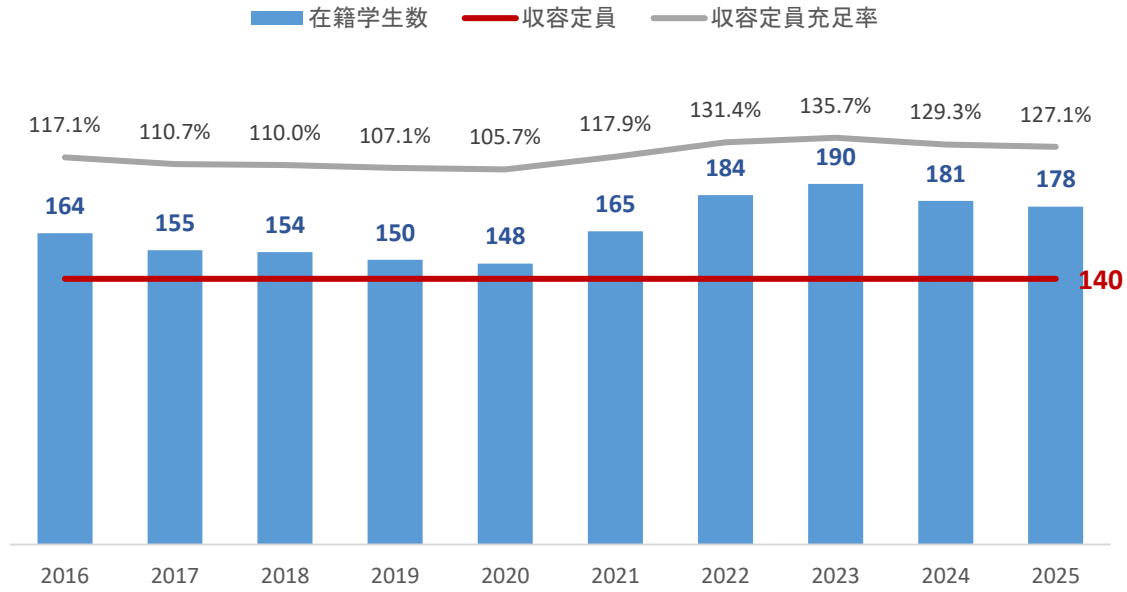


ミュージックビジネス・テクノロジー (MBT)

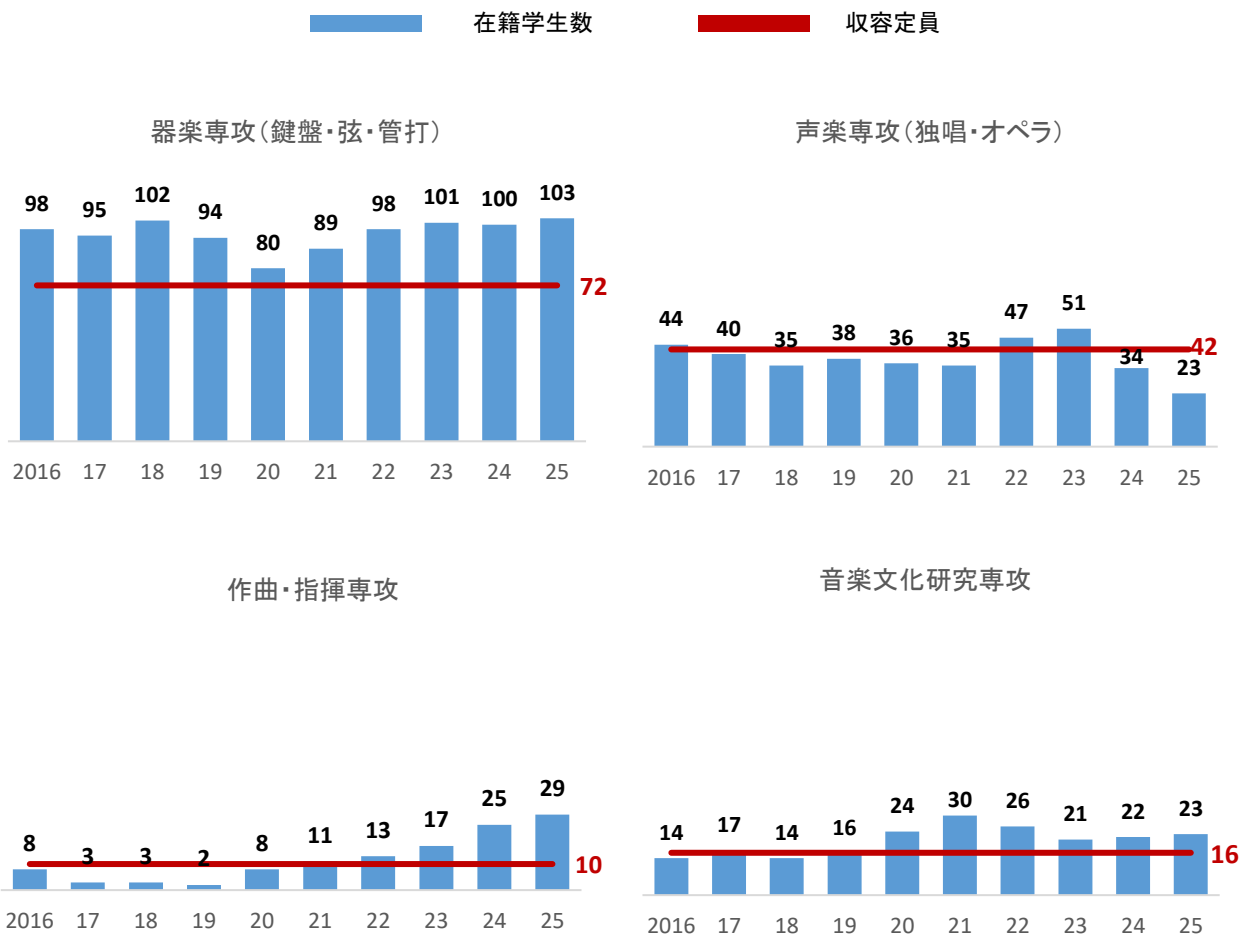


1. 学生数 (修士課程)

大学院修士課程在籍学生数・收容定員充足率



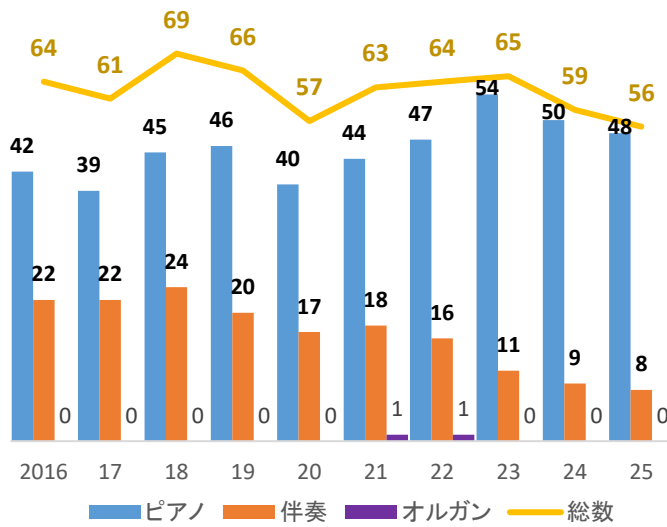
修士課程 専攻別在籍学生数推移



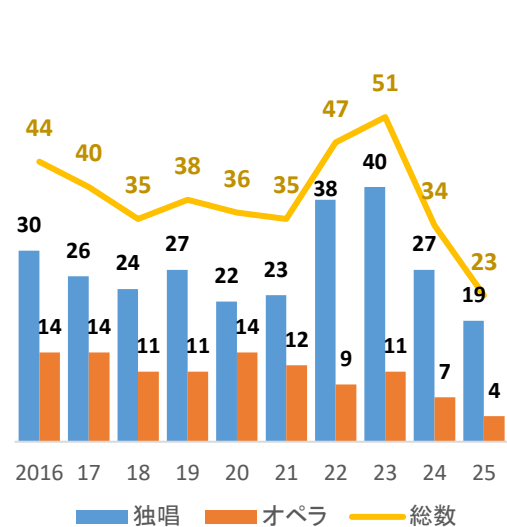
1. 学生数 (修士課程)

修士課程 研究領域別在籍学生数推移

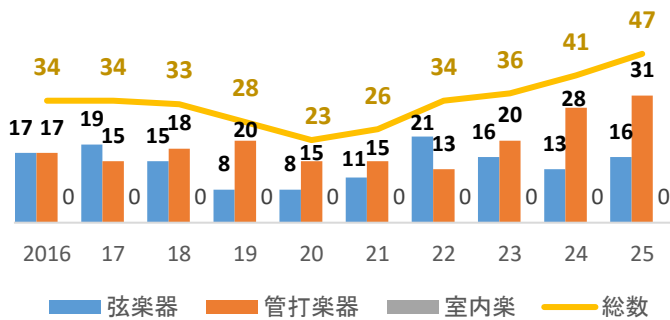
鍵盤楽器(ピアノ・伴奏・オルガン・チェンバロ)



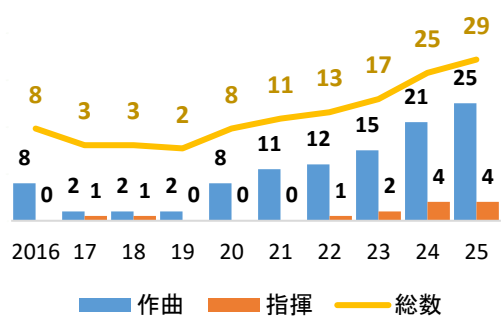
声楽(独唱・オペラ)



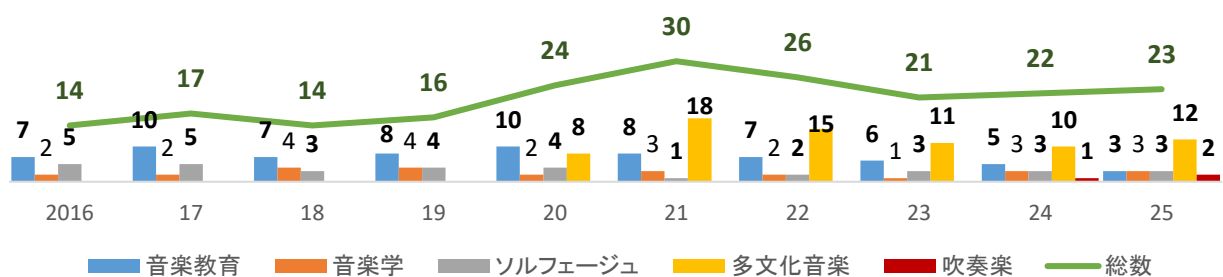
弦管打楽器



作曲・指揮



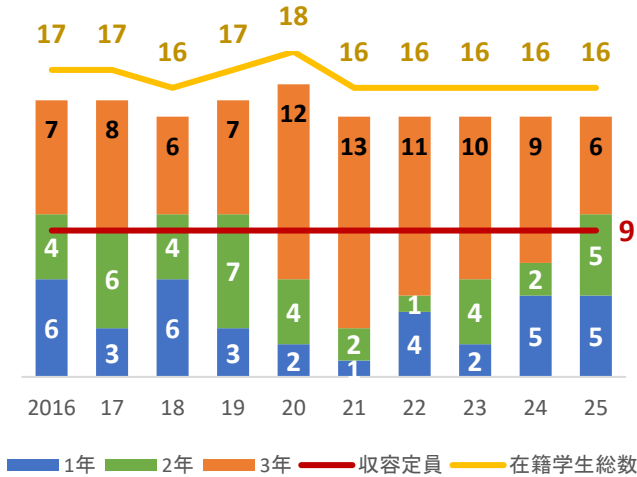
音楽文化研究



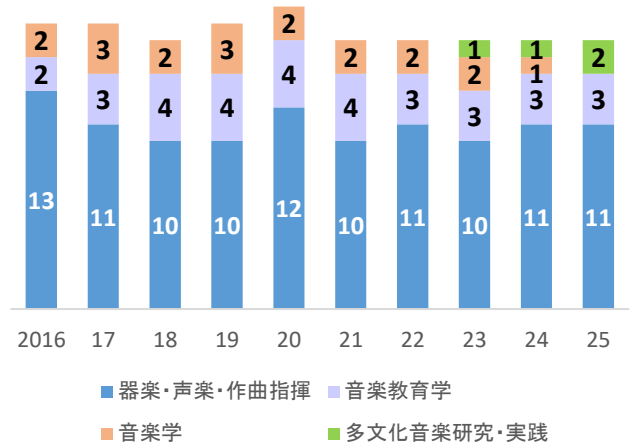
教育

1. 学生数(博士後期課程・科目等履修生)

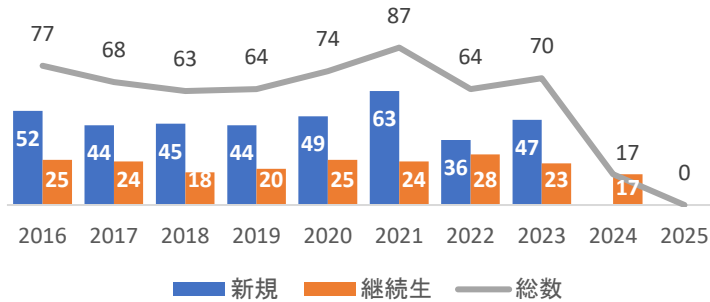
博士後期課程学年別在籍学生数推移



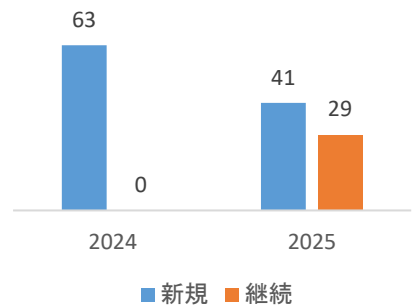
博士後期課程専門領域別在籍学生数推移



大学院科目等履修生在籍学生数推移

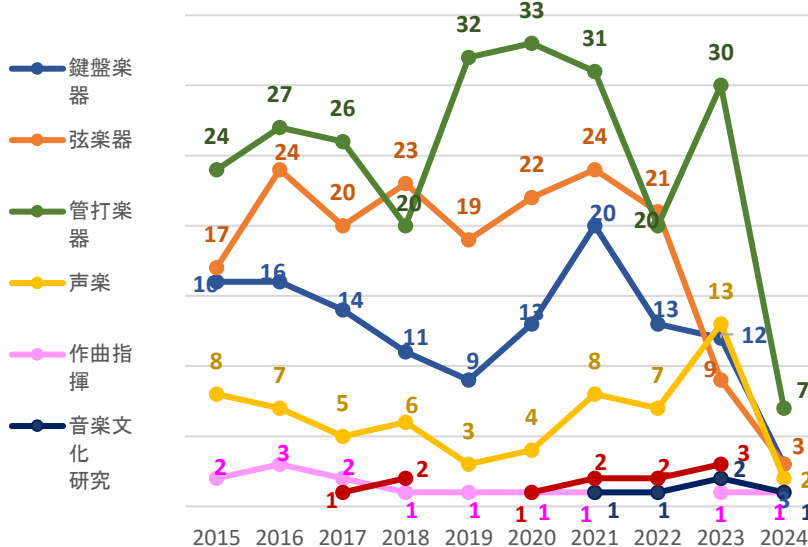


研究生

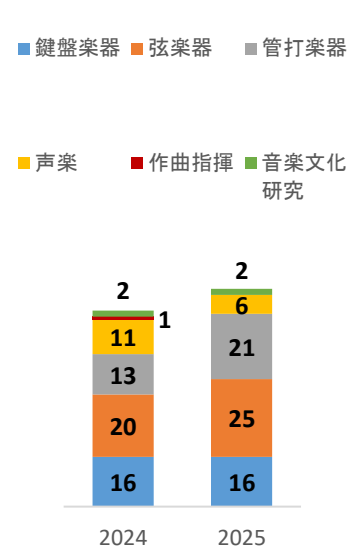


※大学院の科目等履修生は2024年度より新規の募集停止。

科目等履修生 研究領域別在籍学生数推移

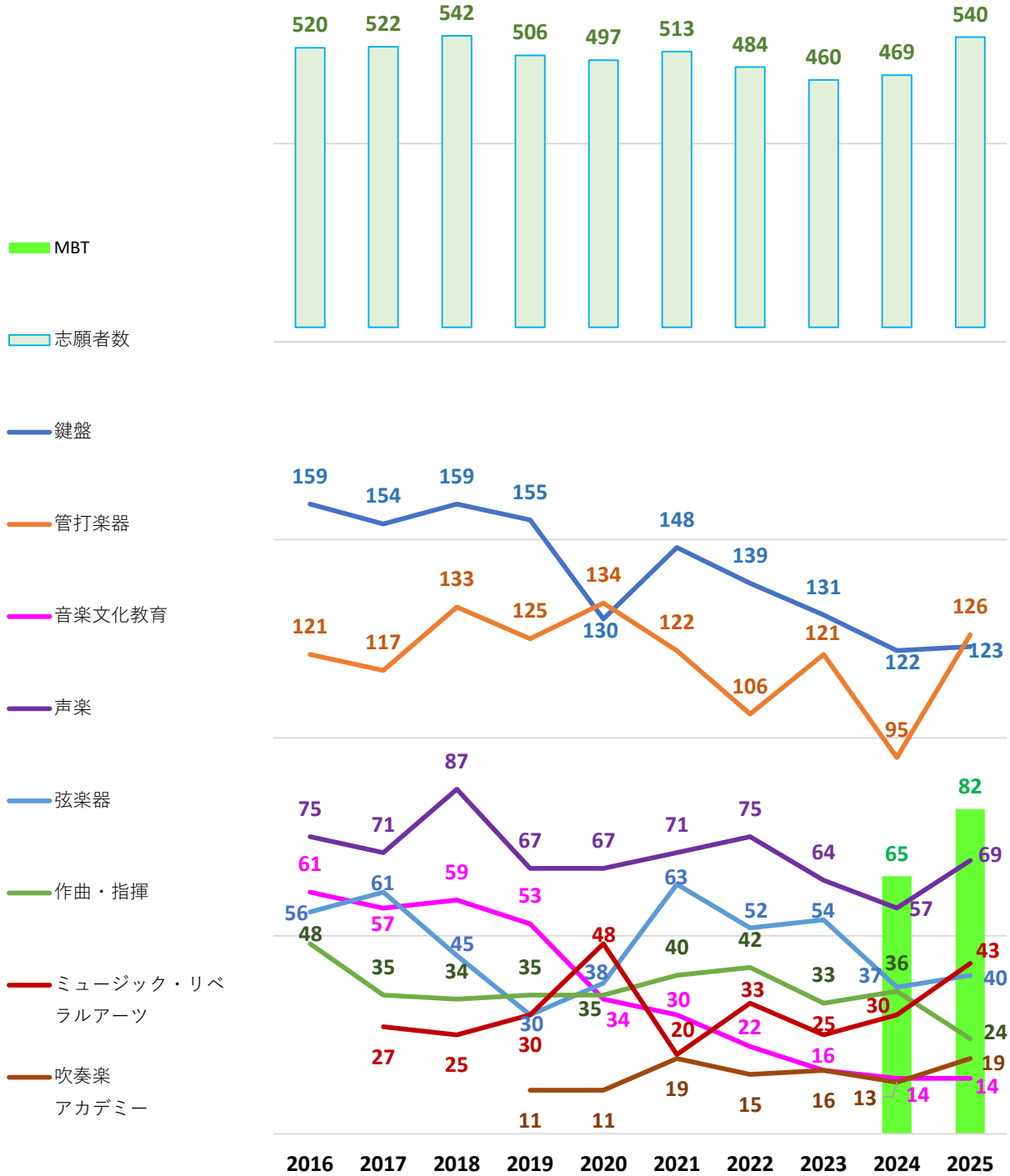


研究生



2. 入試・入学状況 (学部)

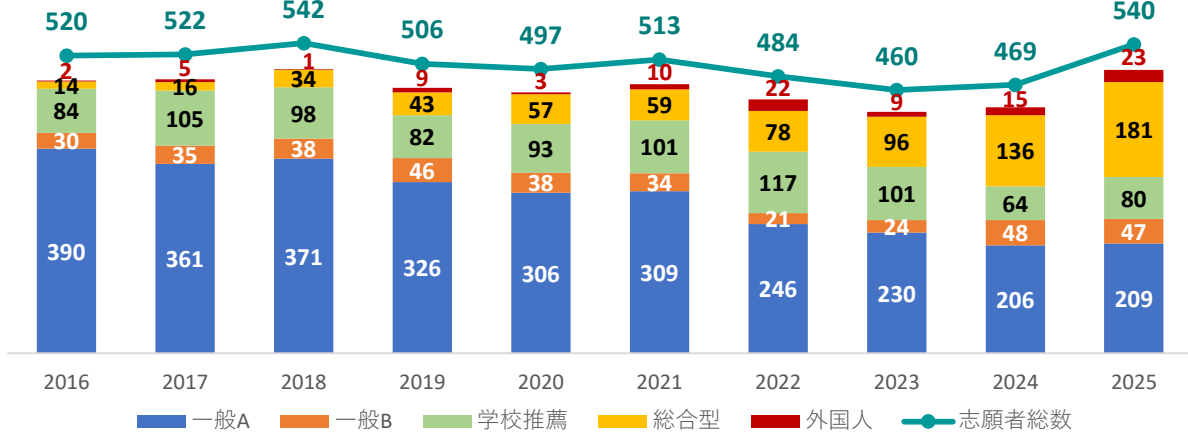
入学志願者数推移



※志願者数は全て第2志望を含む延べ志願者数

2. 入試・入学状況 (学部)

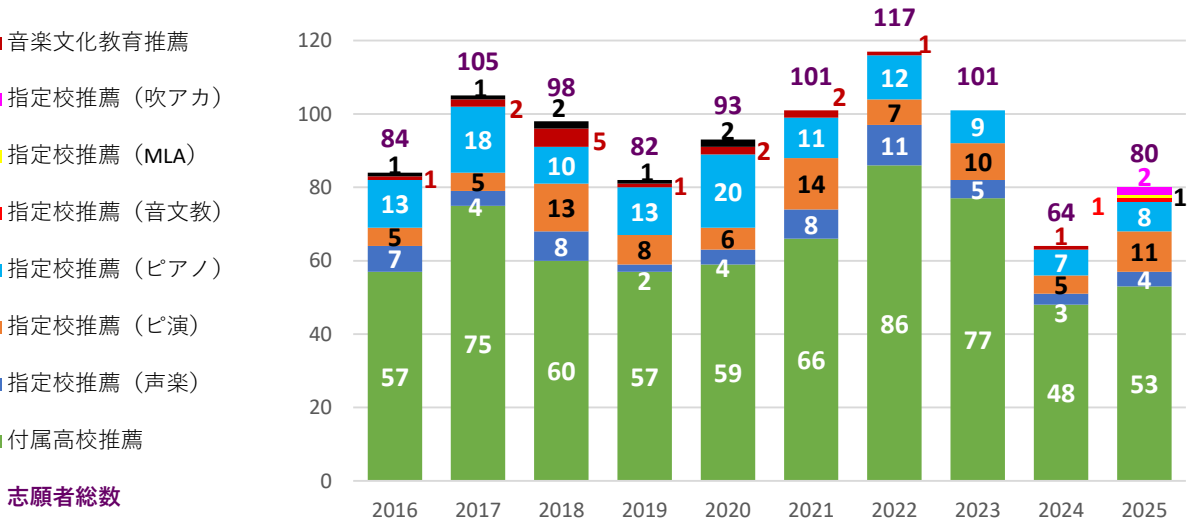
入学試験別志願者数推移



■ (地方) 音楽教室推薦 ※1

- 音楽文化教育推薦
- 指定校推薦 (吹アカ)
- 指定校推薦 (MLA)
- 指定校推薦 (音文教)
- 指定校推薦 (ピアノ)
- 指定校推薦 (ピ演)
- 指定校推薦 (声楽)
- 付属高校推薦

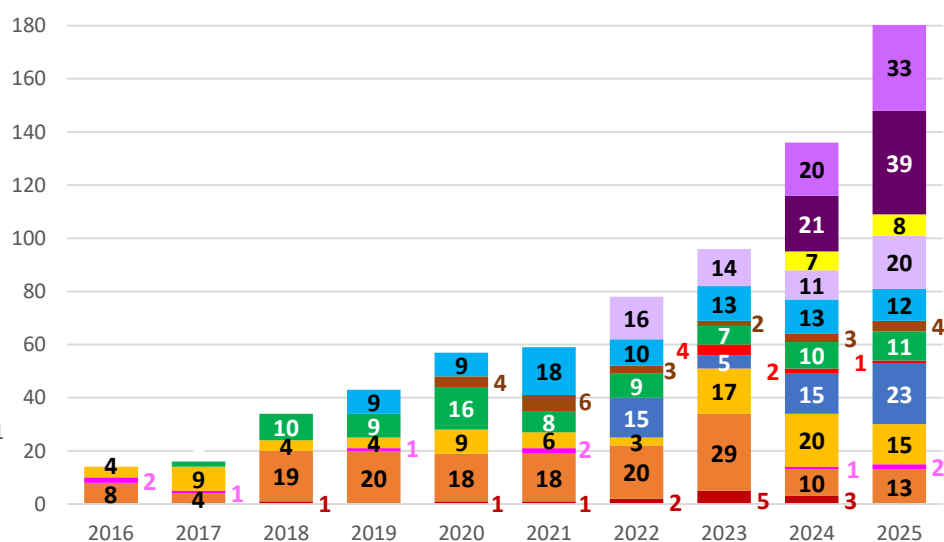
学校推薦型入試志願者内訳



※1.は現在は実施していない。

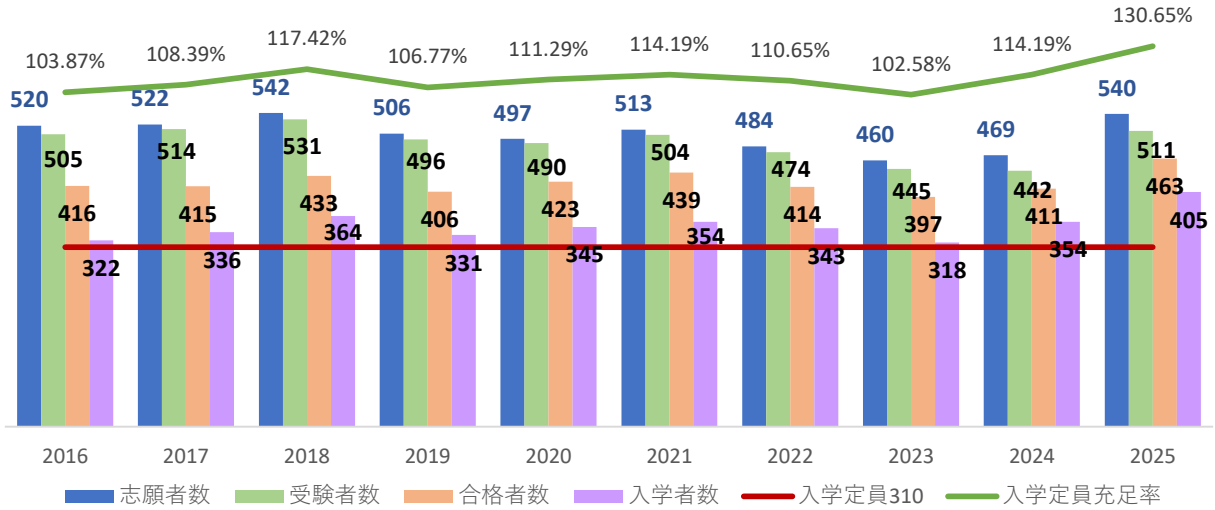
- MBT
- 管打
- 弦
- 声楽
- 吹アカ
- 音楽文化教育
- MLA
- 作曲
- ピアノ
- ピ演
- 優秀者選抜 (ピ演) ※1
- 優秀者選抜 (管打)
- 優秀者選抜 (弦)

総合型入試志願者内訳

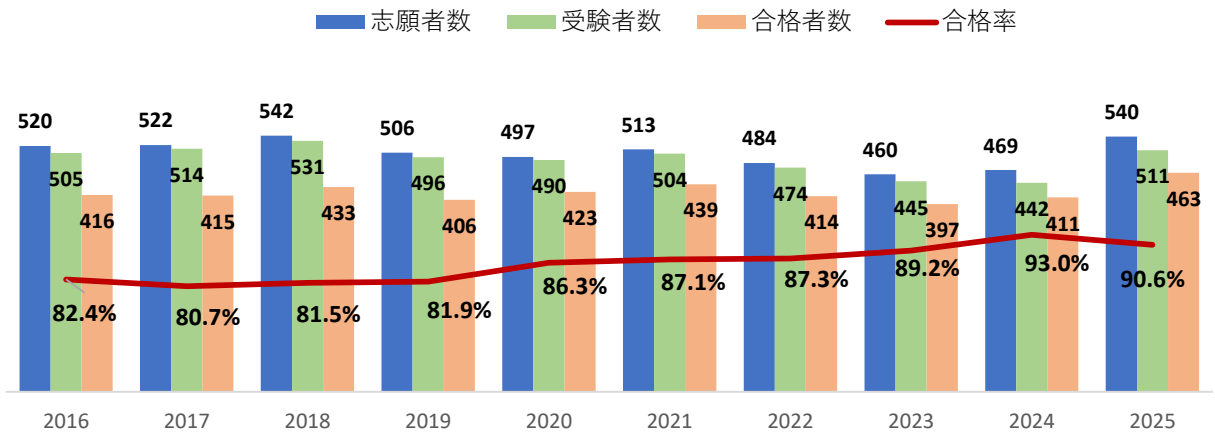


2. 入試・入学状況 (学部)

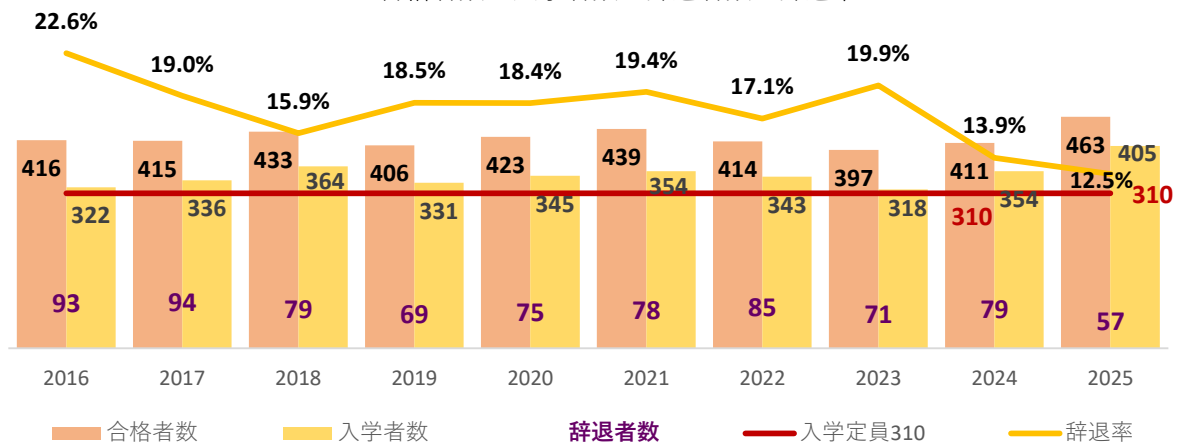
入学試験状況



志願者数・受験者数・合格者数推移



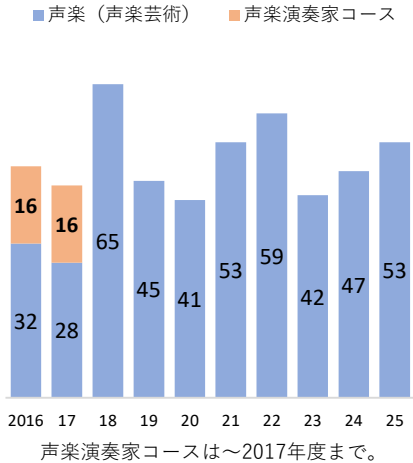
合格者数・入学者数・辞退者数・辞退率



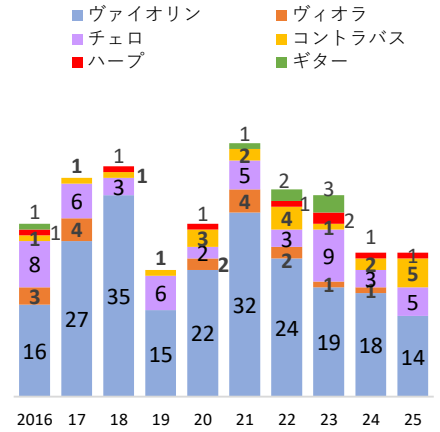
2. 入試・入学状況 (学部)

専攻・コース・楽器別入学者数

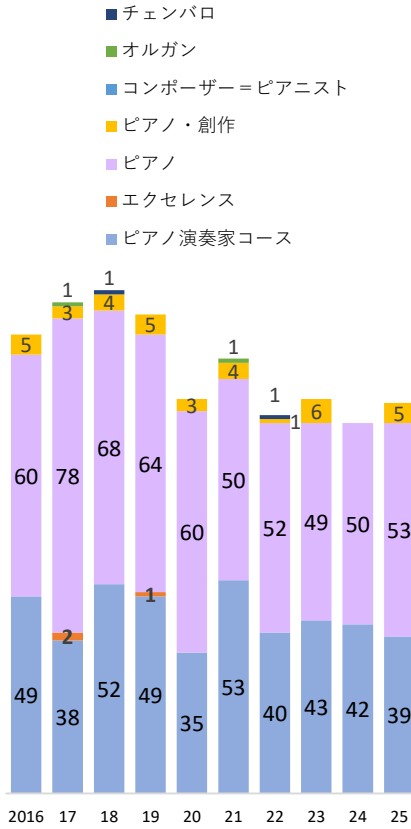
声楽



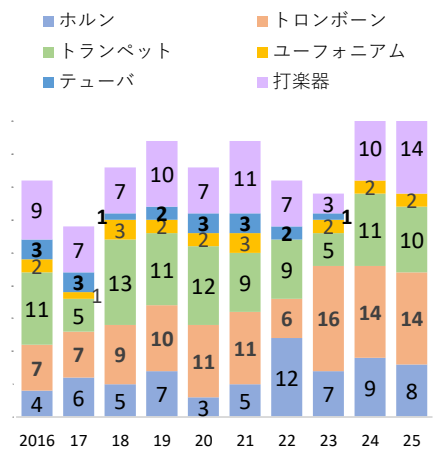
弦楽器



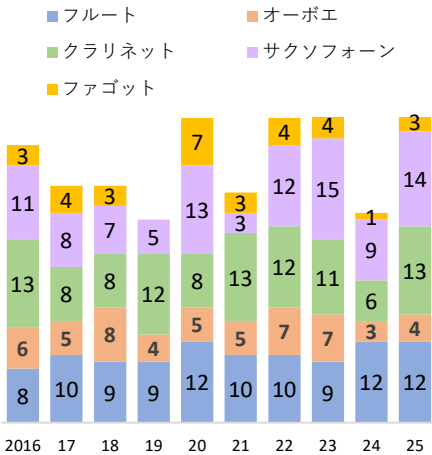
鍵盤楽器



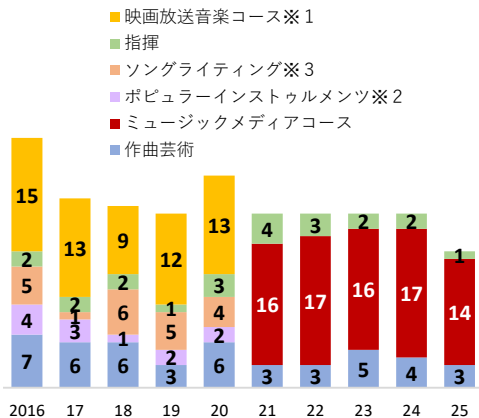
金管・打楽器



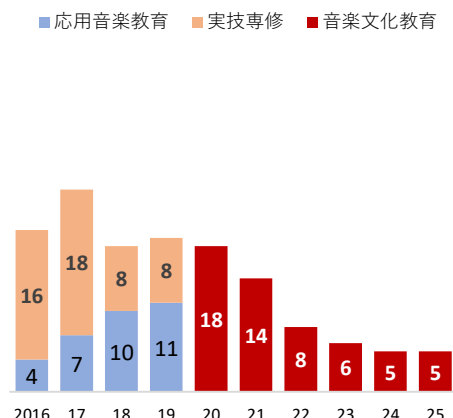
木管楽器



作曲指揮



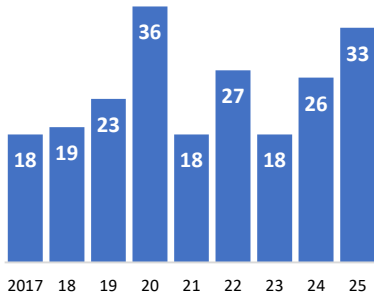
音楽文化教育



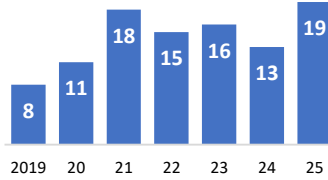
21年度改編により※1, 2, 3は
ミュージック・メディアコースに統合。

2. 入試・入学状況 (学部)

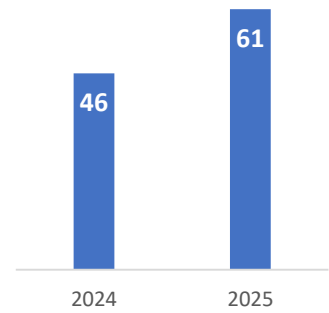
ミュージック・リベラルアーツ



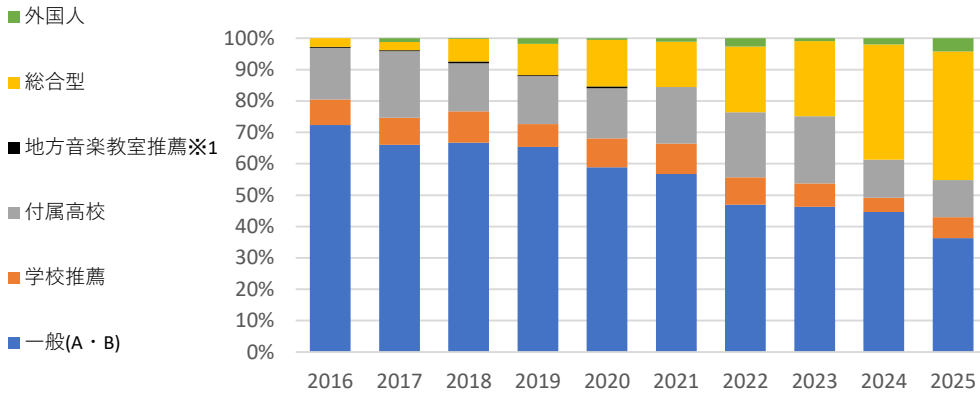
吹奏楽アカデミー



ミュージックビジネス・テクノロジー

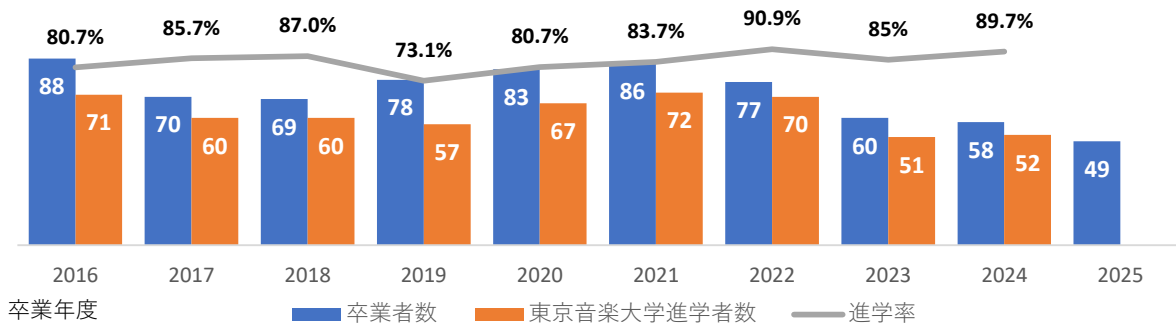


入試区分別入学者の割合



※1は21年度以降実施無し。

付属高校からの本学進学者数・率



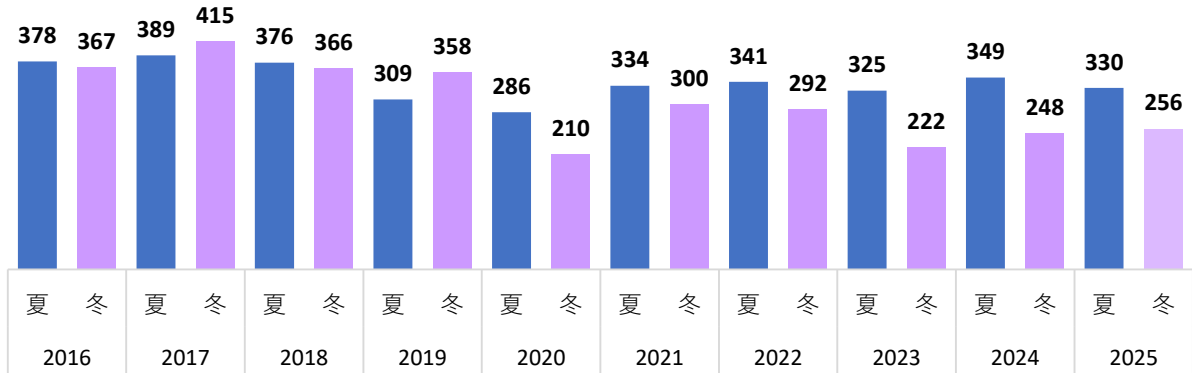
一般入学試験で入学したのものも含む。

編入学者数推移

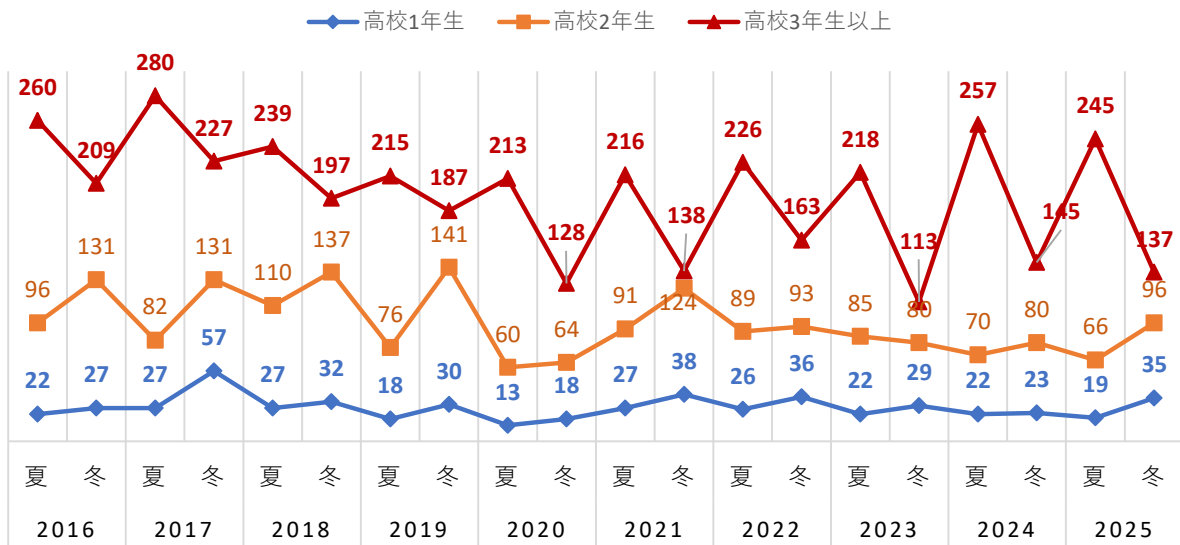


2. 入試・入学状況 (学部)

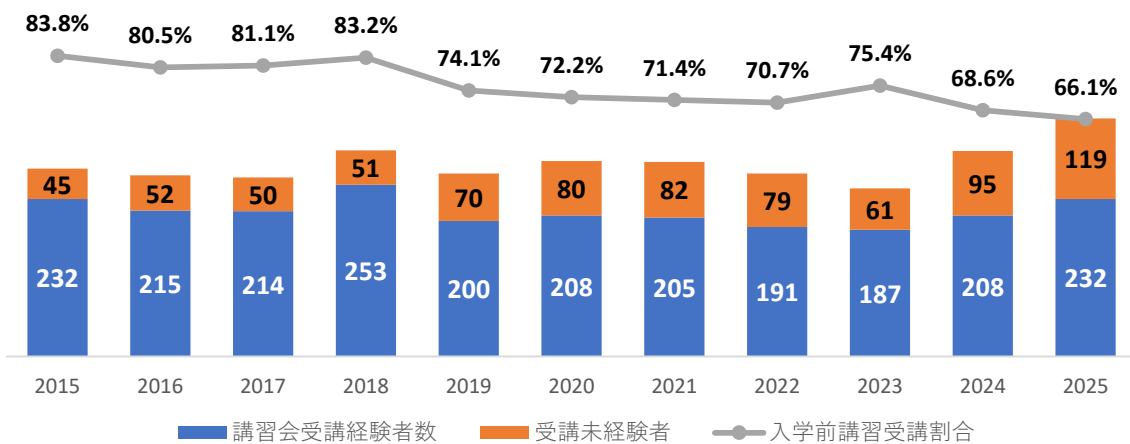
受験講習会受講者数推移



学年別受講者数推移



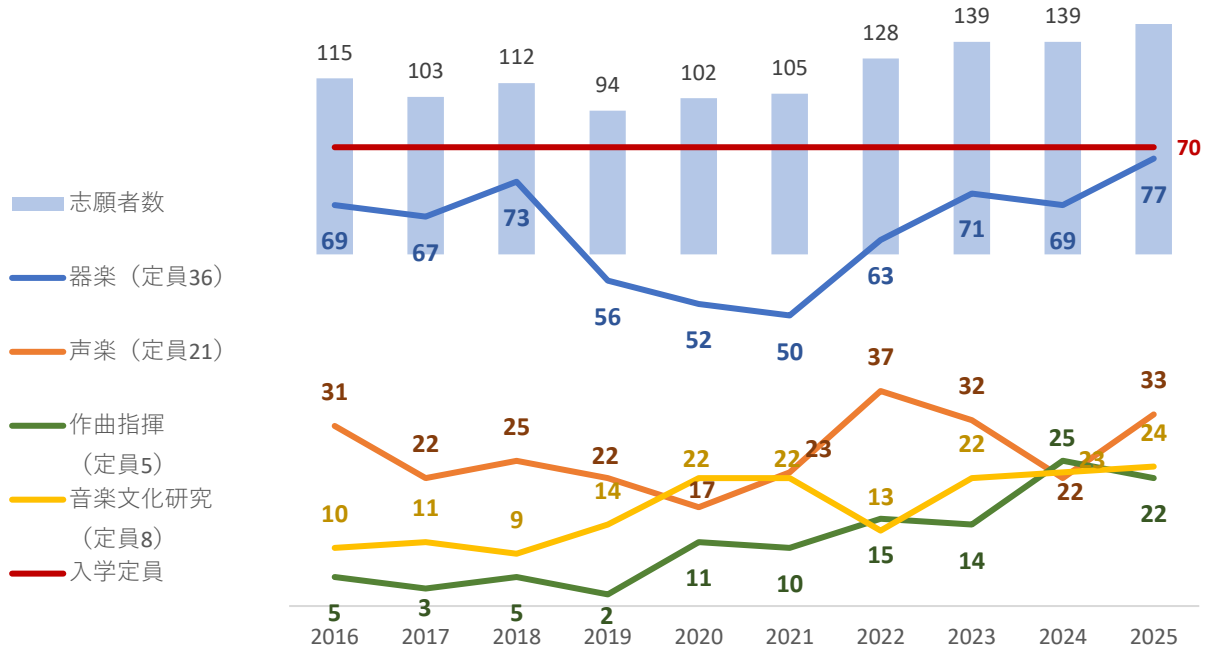
入学者の入学前受講経験者数（1～6回）と受講未経験者の割合



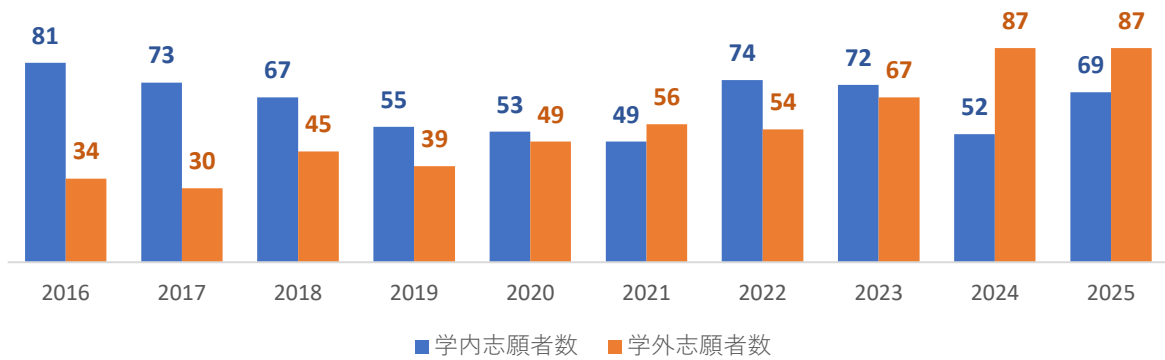
※付属高校出身者は含まない。

2. 入試・入学状況（修士課程）

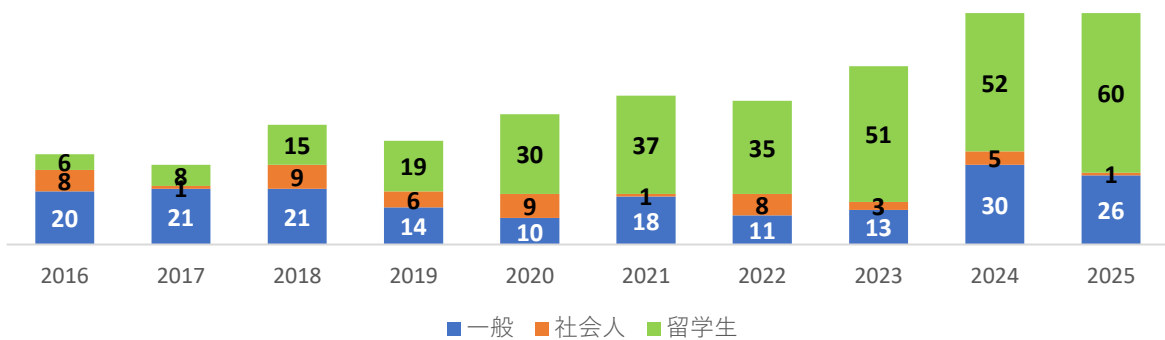
修士課程志願者数推移



志願者数 学内者・学外者の内訳

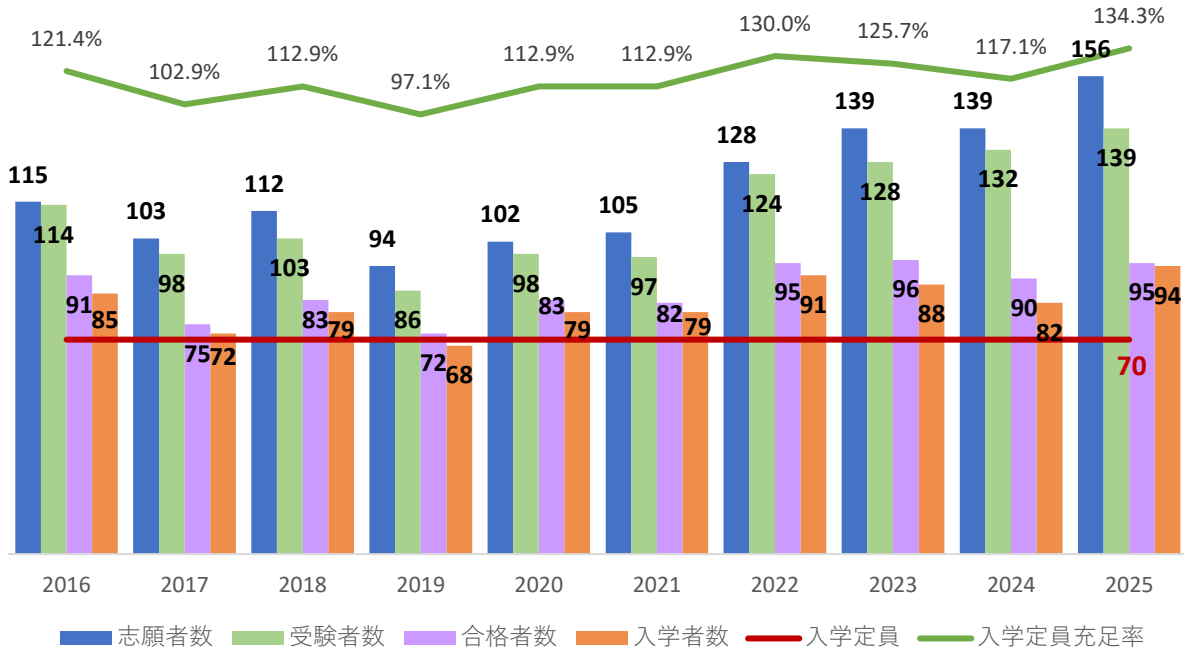


学外志願者の内訳

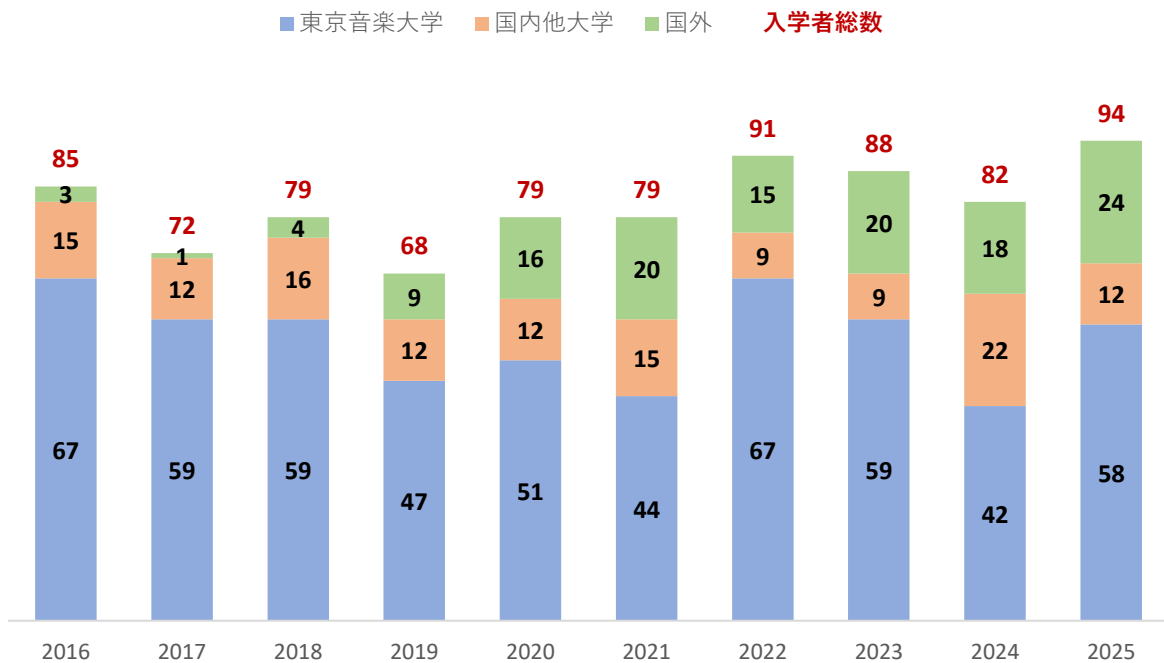


2. 入試・入学状況 (修士課程)

修士課程入学状況

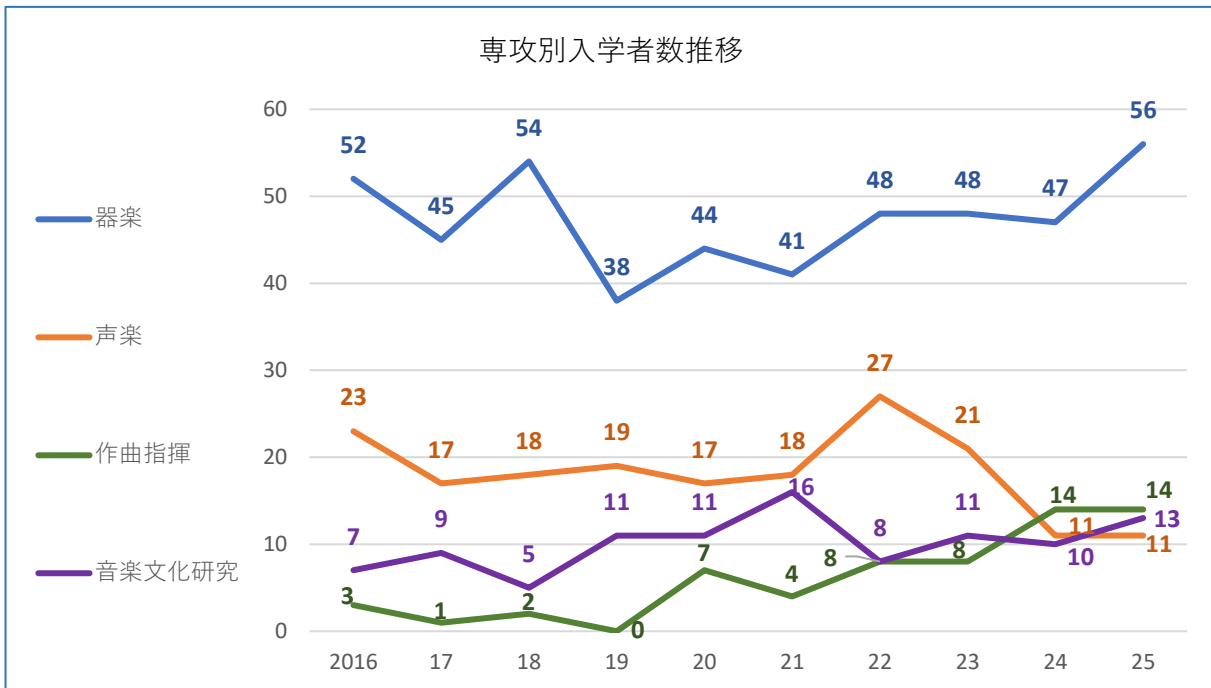


出身大学分類別入学者数

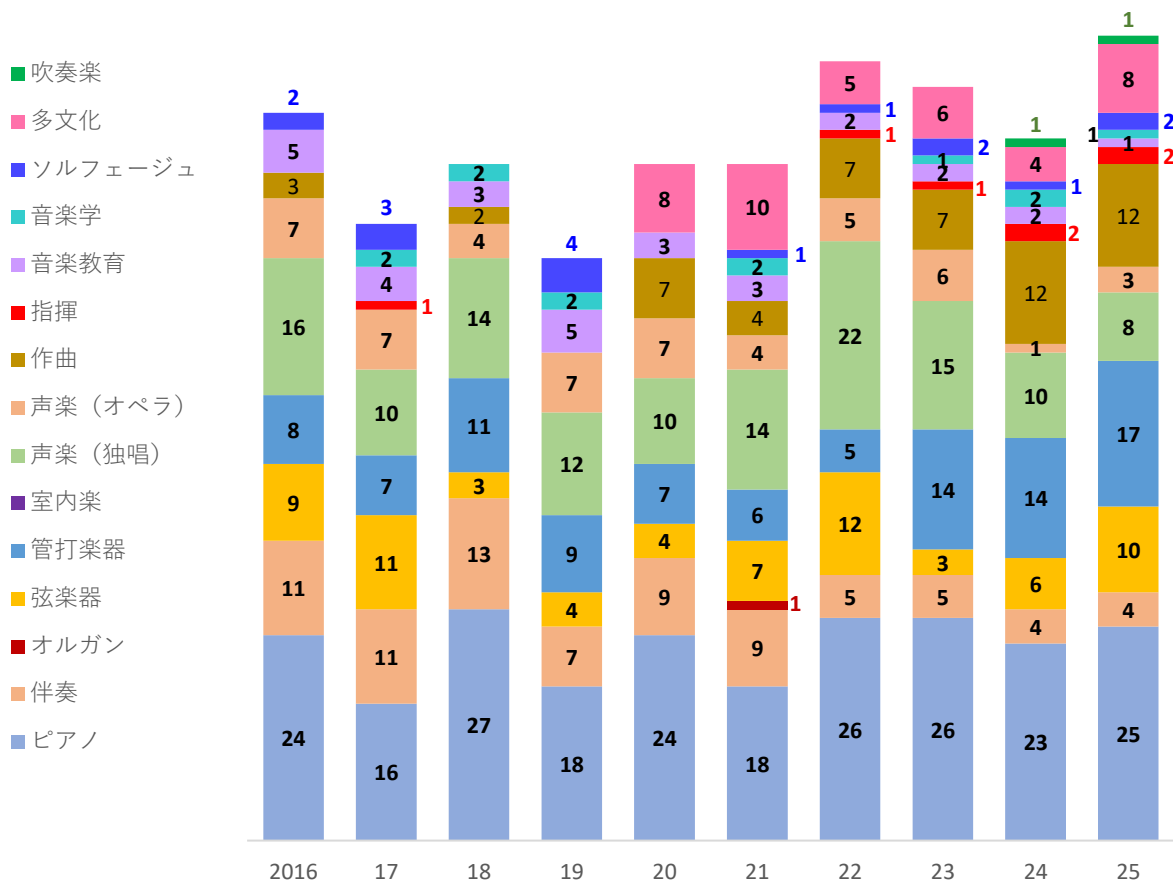


教育

2. 入試・入学状況（修士課程）

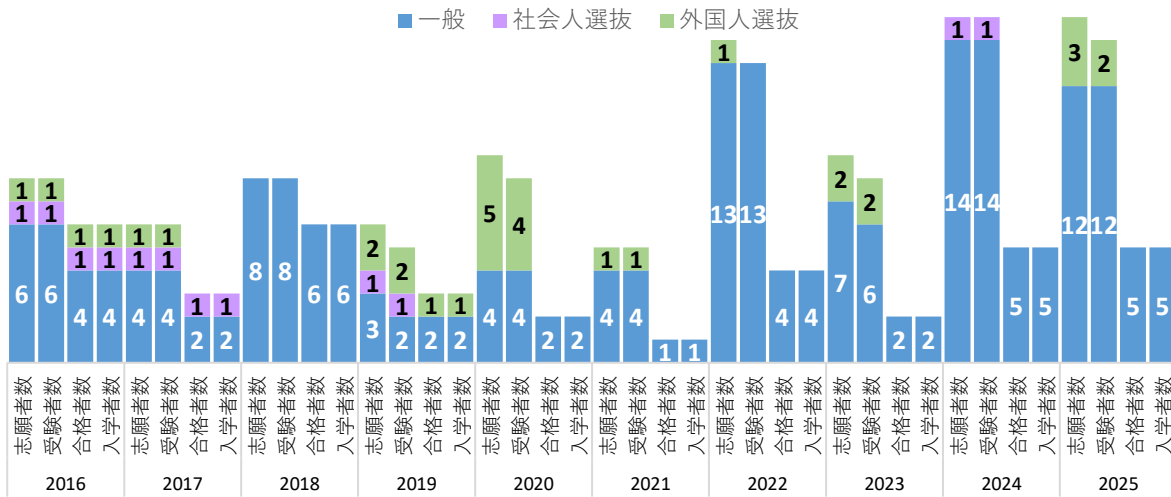


研究領域別入学者数推移

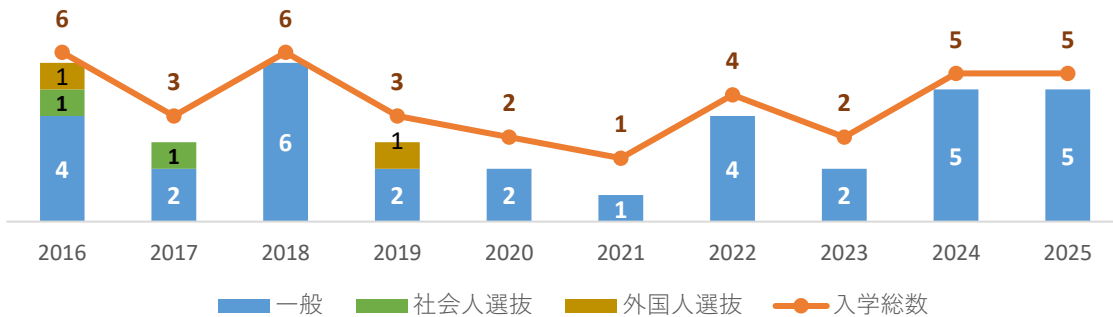


2. 入試・入学状況 (博士後期課程)

博士後期課程入学試験状況

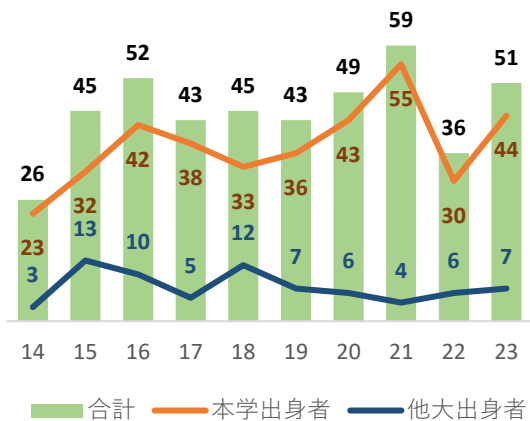


入試区分別入学者数推移

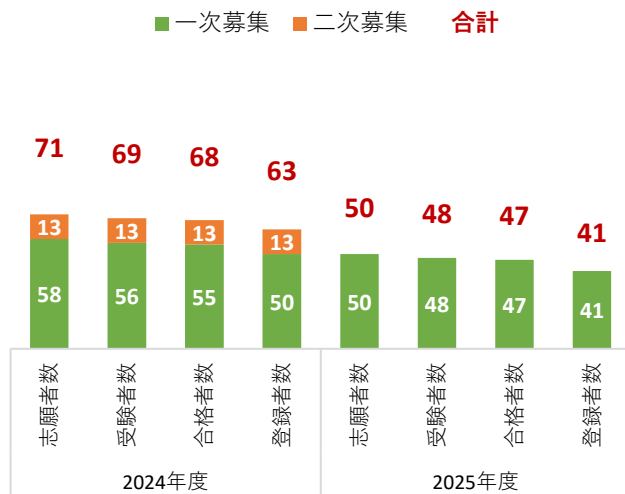


2. 入試・入学状況 (科目等履修生～2023 / 研究生2024)

科目等履修生入学状況 (2014～2023)

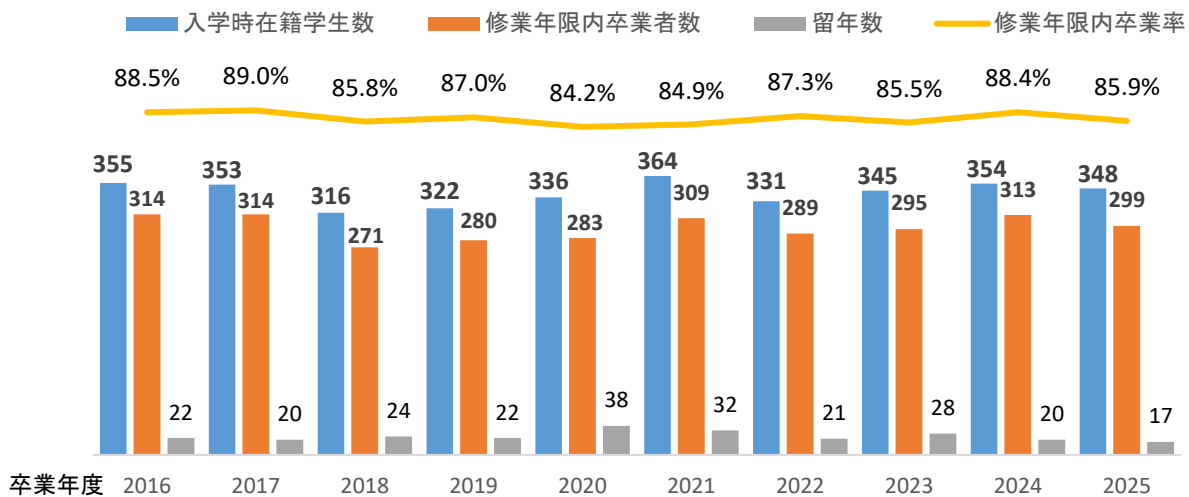


研究生入学試験状況



3. 卒業・修了(学部)

修業年限(4年)内卒業率(学部)



※編入学生数は含まない。 退学(等)数は表示していない。

専攻別最高学年在籍学生(過年度生・編入学生含)の卒業生数と卒業率

専攻	年度	2016	2017	2018	2019	2020	2021	2022	2023	2024	2025
声乐	最高学年在籍学生数	46	48	48	42	52	73	52	45	56	62
	卒業生数	39	39	43	36	43	63	45	40	48	54
	卒業率(%)	84.78%	81.25%	89.58%	85.71%	82.69%	86.30%	86.54%	88.89%	85.71%	87.10%
器楽(鍵盤)	最高学年在籍学生数	157	164	131	116	124	132	136	112	114	92
	卒業生数	145	159	125	110	108	110	119	102	108	84
	卒業率(%)	92.36%	96.95%	95.42%	94.83%	87.10%	83.33%	87.50%	91.07%	94.74%	91.30%
器楽(弦)	最高学年在籍学生数	43	42	29	34	40	48	23	32	43	37
	卒業生数	39	36	23	31	33	45	20	30	38	31
	卒業率(%)	90.70%	85.71%	79.31%	91.18%	82.50%	93.75%	86.96%	93.75%	88.37%	83.78%
器楽(管打)	最高学年在籍学生数	65	65	73	83	65	80	73	83	83	80
	卒業生数	64	58	63	80	58	77	71	74	79	76
	卒業率(%)	98.46%	89.23%	86.30%	96.39%	89.23%	96.25%	97.26%	89.16%	95.18%	95.00%
作曲・指揮	最高学年在籍学生数	35	34	33	36	29	23	28	36	31	22
	卒業生数	26	26	26	30	22	14	16	24	29	21
	卒業率(%)	74.29%	76.47%	78.79%	83.33%	75.86%	60.87%	57.14%	66.67%	93.55%	95.45%
音楽文化教育	最高学年在籍学生数	24	15	18	15	23	17	14	21	16	10
	卒業生数	21	14	16	11	20	15	11	19	14	7
	卒業率(%)	87.50%	93.33%	88.89%	73.33%	86.96%	88.24%	78.57%	90.48%	87.50%	70.00%
ミュージック・リベラルアーツ	最高学年在籍学生数				2	14	20	24	34	22	33
	卒業生数				2	12	18	23	27	18	28
	卒業率(%)				100%	85.71%	90.00%	95.83%	79.41%	81.82%	84.85%
吹奏楽アカデミー	最高学年在籍学生数							8	10	16	14
	卒業生数							8	10	14	14
	卒業率(%)							100%	100%	88%	100%
全体	最高学年在籍学生数	370	368	332	328	347	393	358	373	381	350
	卒業生数	334	332	296	300	296	342	313	326	348	315
	卒業率(%)	90.27%	90.22%	89.16%	91.46%	85.30%	87.02%	87.43%	87.40%	91.34%	90.00%

※最高学年在籍学生数は各年度5月1日時点

※2019年度早期卒業生3名は含まない。

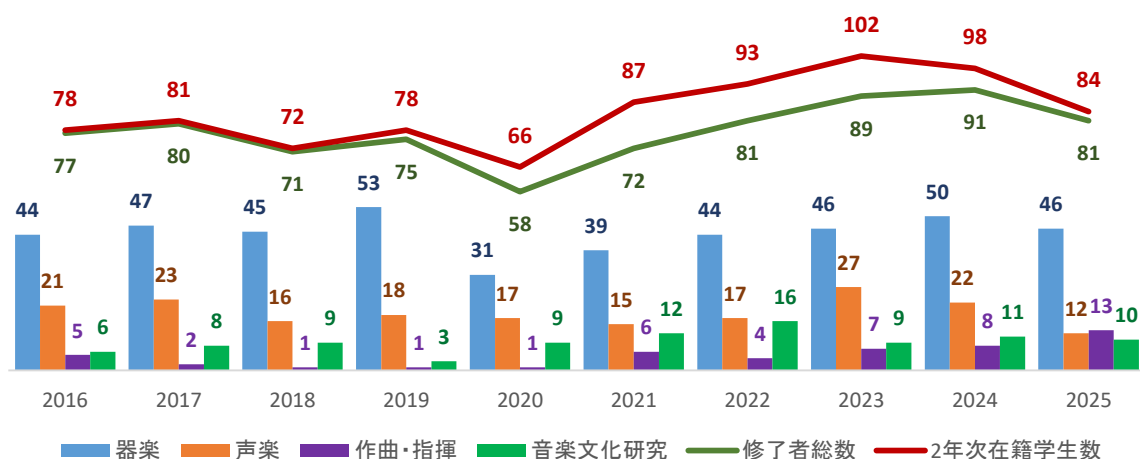
※各年度9月卒業生数を含む。

3. 卒業・修了 (大学院)

大学院修士課程修業年限(2年)内修了者数・率

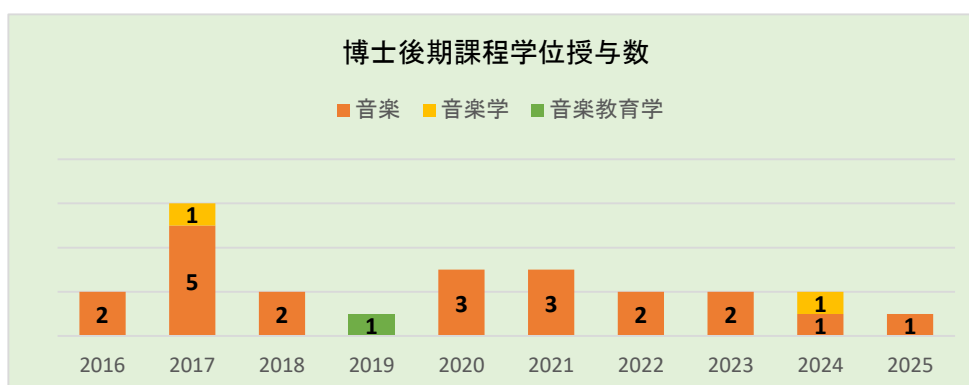
入学年度	2015	2016	2017	2018	2019	2020	2021	2022	2023	2024
入学数	80	85	72	79	68	79	79	91	88	83
中途退学数	2	4	0	4	4	2	0	3	1	1
中途退学率	2.5%	4.7%	0.0%	5.1%	5.9%	2.5%	0.0%	3.3%	1.1%	1.2%
修了年度	2016	2017	2018	2019	2020	2021	2022	2023	2024	2025
修業年限内修了者	77	79	68	72	55	65	72	82	87	79
留年数	1	3	4	3	9	12	7	6	0	3
修業年限内修了率	96.25%	92.94%	94.44%	91.14%	80.88%	82.28%	91.1%	90.1%	98.9%	95.2%

修士課程修了者数



※過年度生・9月修了生を含む。

博士後期課程学位授与数

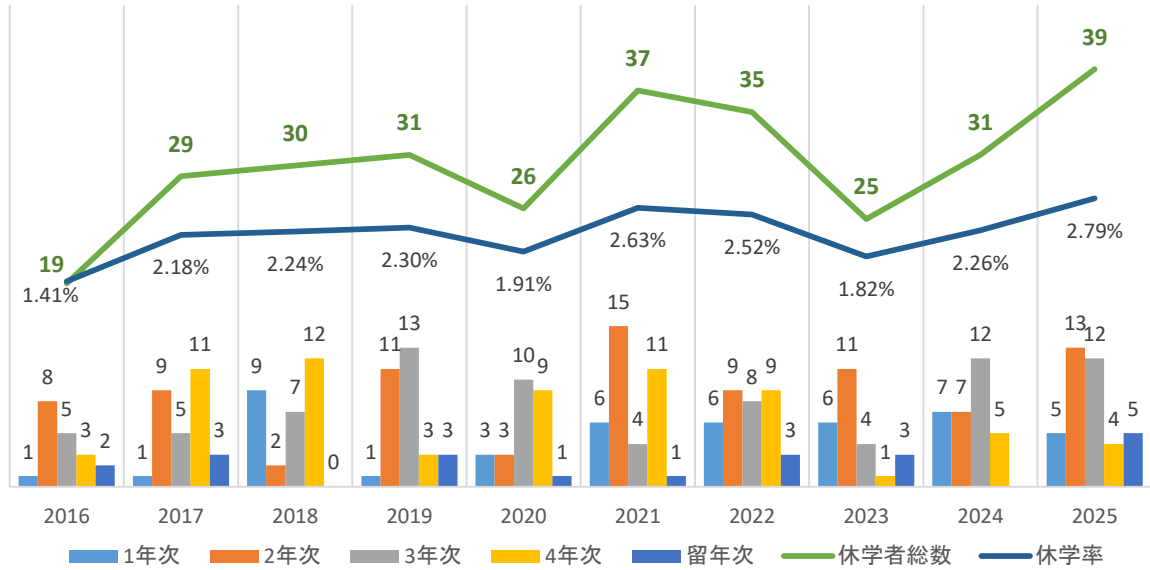


4. 休学・退学 (学部)

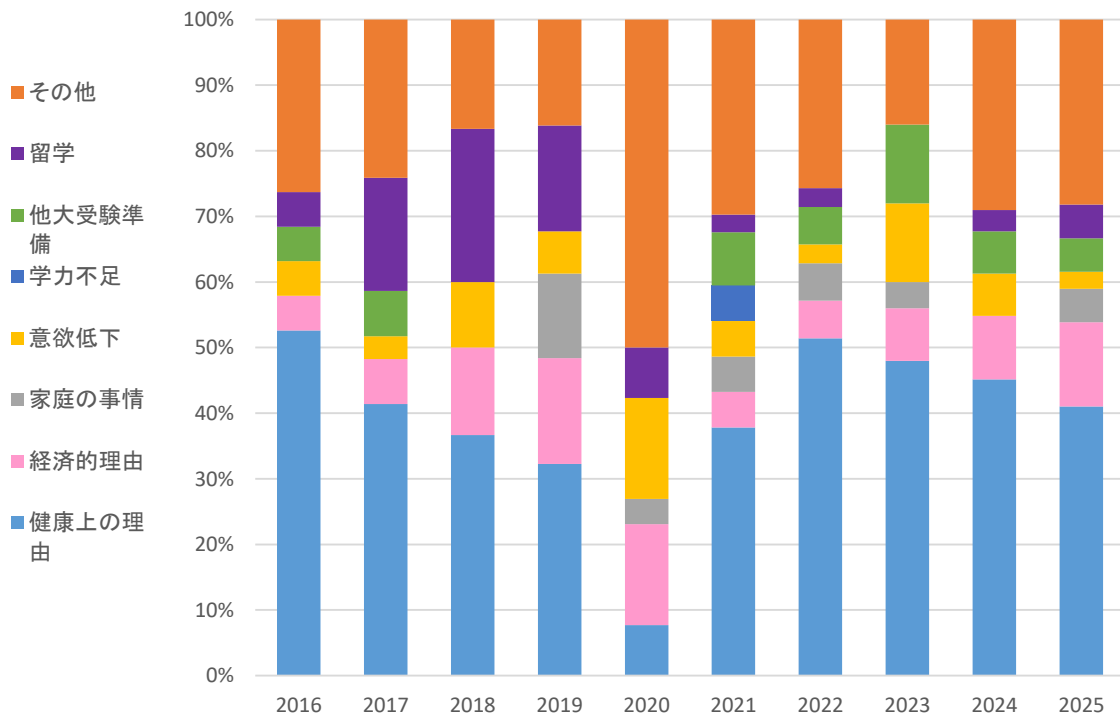
休学

※休学率 = 休学者数 ÷ 在籍学生数 (各年度5月1日付)

年度・年次別休学者数・休学率(学部)



休学理由の内訳



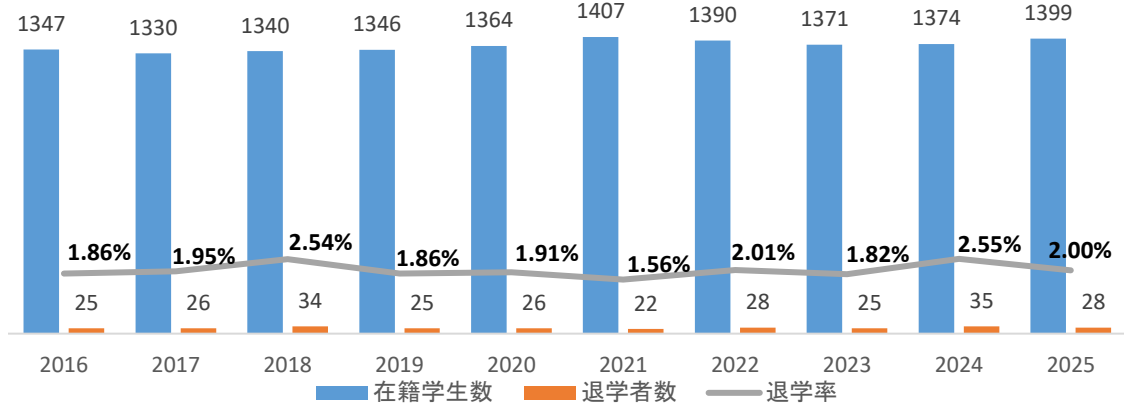
※2020,21,22年度の休学者の内「その他」には、コロナ禍を理由に休学した計17名を含む。

※「その他」には進路変更再考者を含む。

4. 休学・退学(学部)

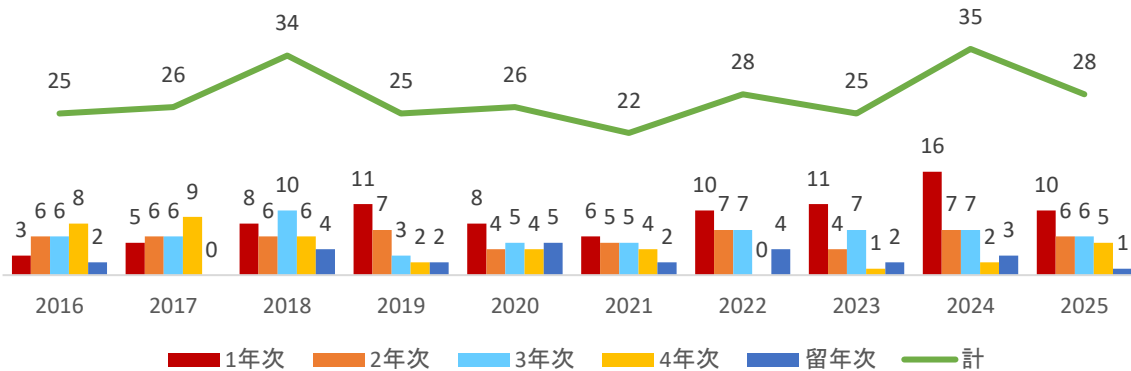
退学

退学者数・退学率推移



※除籍者数を含む。

退学年次別退学者数



※除籍者数を含む。

退学年次別退学理由の内訳 2016~2025

- 進路変更
- 留学
- 再入学
- 就職
- 健康上の理由
- 経済的理由
- 意欲低下・学力不足
- その他

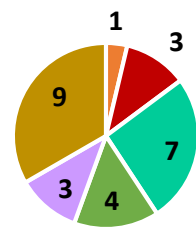
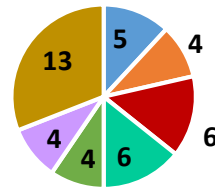
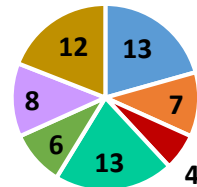
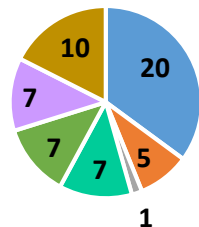
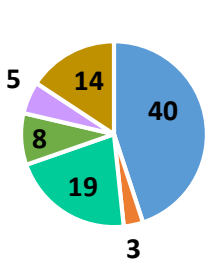
1年次 89名

2年次 57名

3年次 63名

4年次 42名

留年次 27名

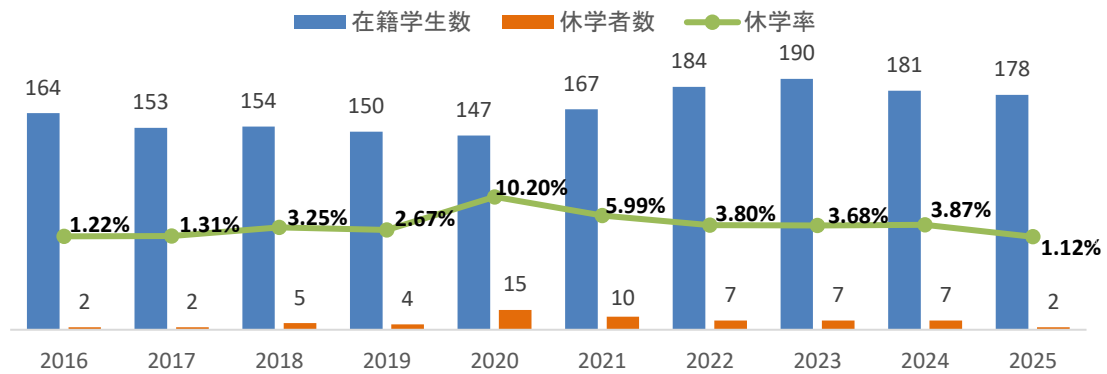


※進路変更・留学・就職については検討中を含む。 除籍者はその他に含む。

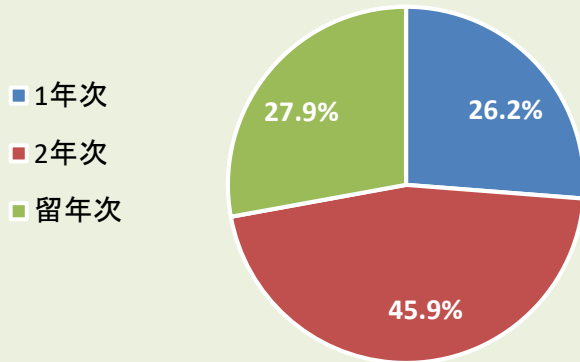
4. 休学・退学（修士課程）

休学

修士課程休学者数・休学率

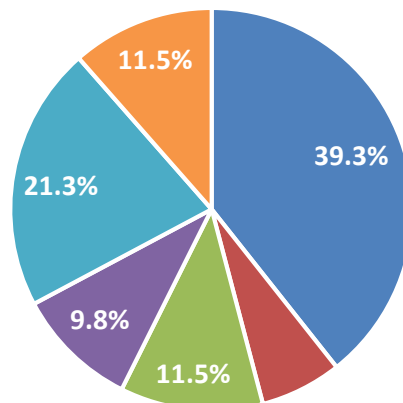


修士課程 2016～2025年度 年次別休学数割合



休学理由の割合2016～2025年度

■ 健康上の理由 ■ 経済的理由 ■ 留学（準備等含む） ■ 家庭の事情 ■ コロナの影響 ■ その他

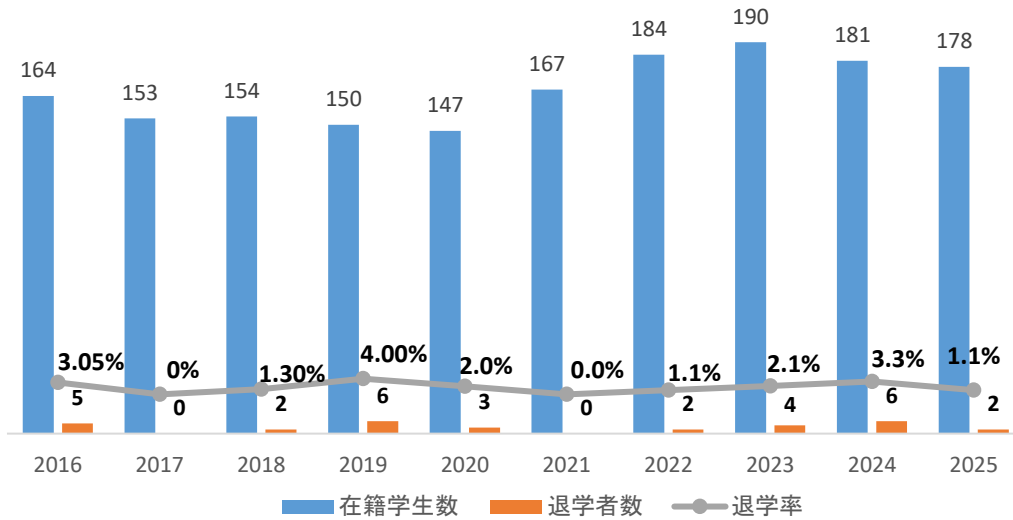


※コロナの影響による休学者は2020～21年度のみ。

4. 休学・退学（修士課程）

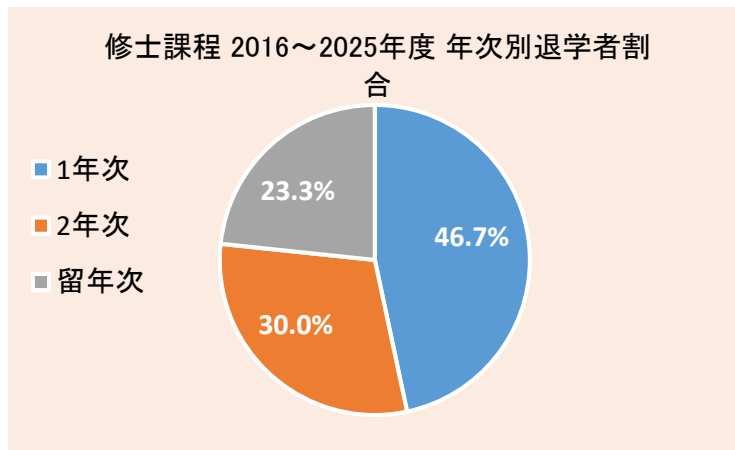
退学

修士課程 年度別退学者数・退学率



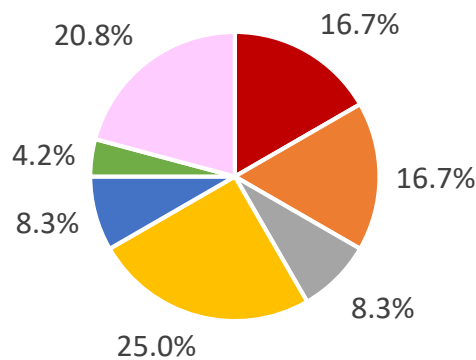
※除籍者数を含む。

修士課程 2016～2025年度 年次別退学者割合



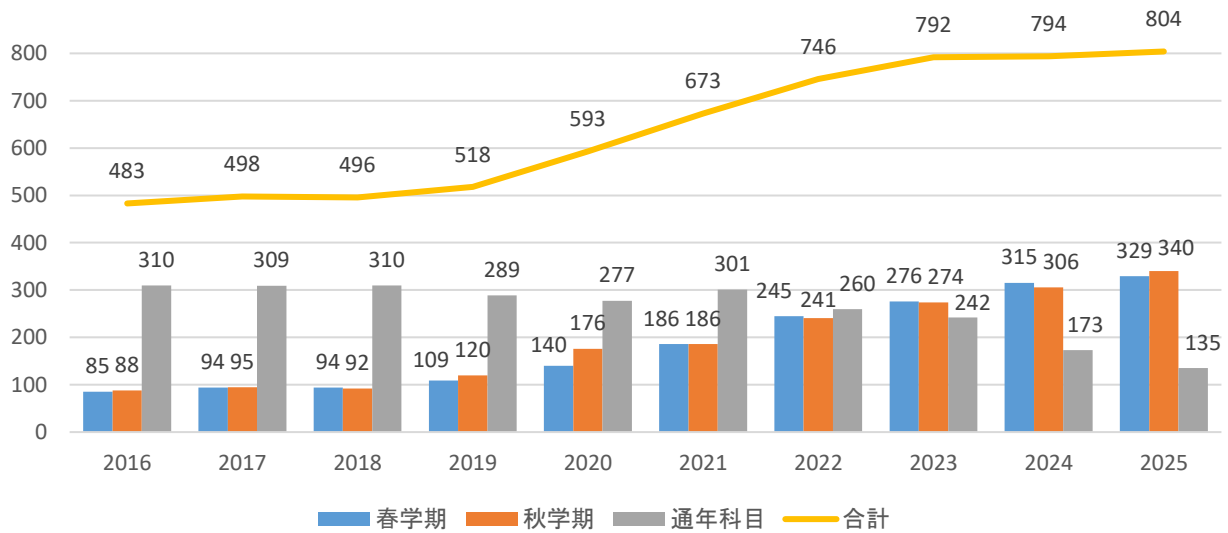
修士退学理由の割合 2016～2025年度

■ 経済的理由 ■ 留学 ■ 就職 ■ 健康上の理由 ■ 進路変更 ■ 意欲低下 ■ その他



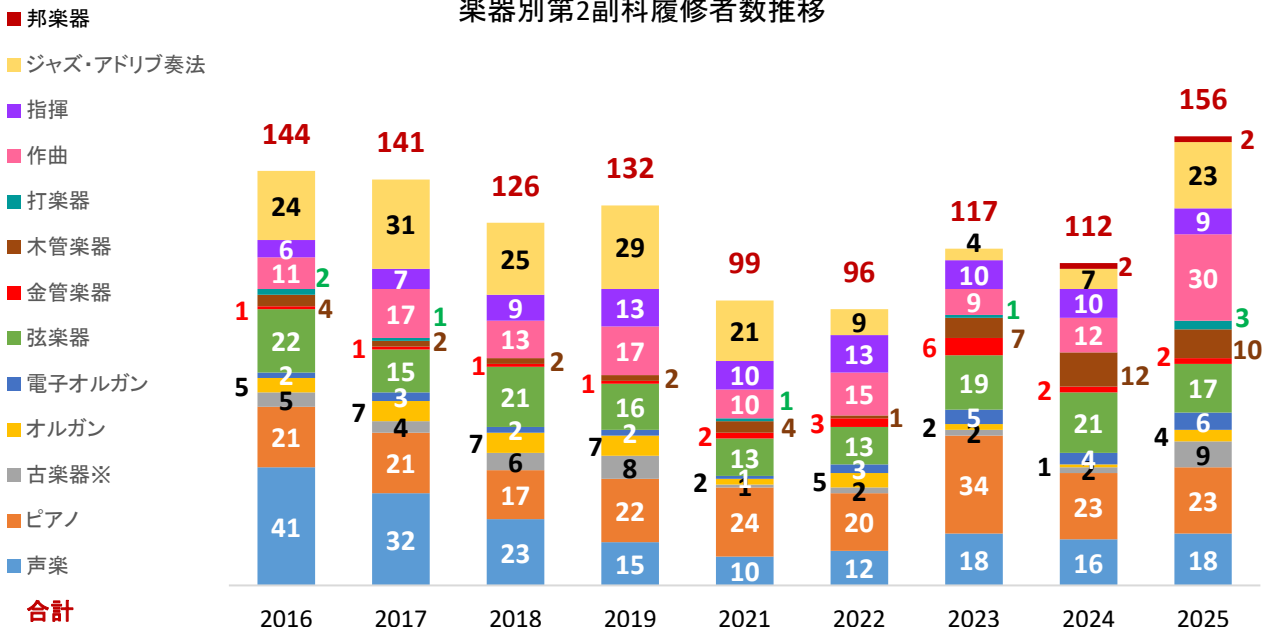
5. 開講科目数 (学部)

学期区分別開講科目数



- 2016年度： 教養科目・語学科目・その他の科目の一部に前期・後期科目が配置される。
- 2017年度： ミュージック・リベラルアーツ専攻 (MLA) が新設されセメスター制が導入される。
- 2019年度： 吹奏楽アカデミー専攻新設されセメスター制が導入される。
- 2020年度： 音楽教育専攻改編。音楽文化教育専攻がセメスター制でスタートする。
語学科目が全て半期制になる。
- 2021年度： 映画放送音楽コース改編。ミュージック・メディアコースがセメスター制でスタートする。
教養科目も全て半期制になる。
- 2024年度： 音楽文化教育再改編 ミュージックビジネス・テクノロジー専攻 (MBT) 新設。
2024年度生から全専攻でセメスター制開始。
- 2025年度： 学部1・2年生が全専攻でセメスター制となる。
(2026年度に3学年、2027年度に初めて全ての学年・専攻がセメスター制となる)

楽器別第2副科履修者数推移

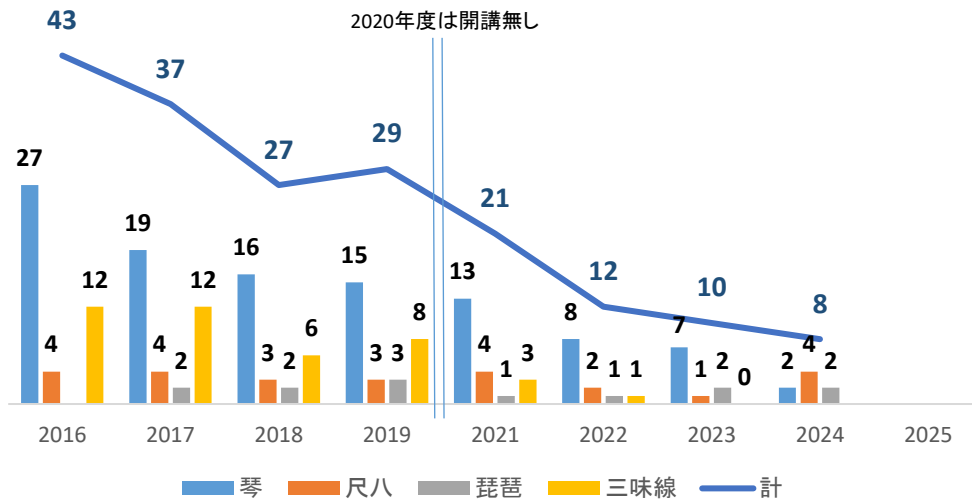


※古楽器(チェンバロ・フォルテピアノ・リュート)

2020年度はコロナ禍のため開講無し。

5. 開講科目数 (学部)

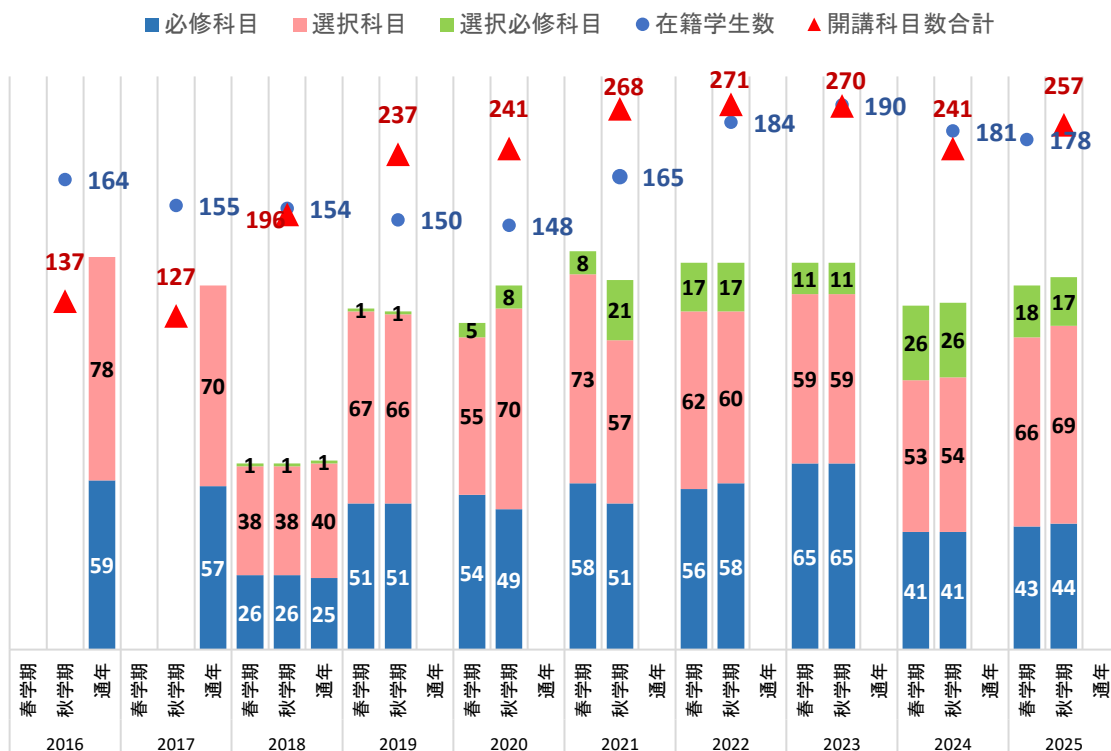
特別実技(邦楽演奏実技)楽器別履修者数(学部)



※2020年度はコロナ禍のため特別実技科目開講無し ※2024年度生より第2副科に統一

5. 開講科目数 (修士課程)

修士課程開講科目数



6. 単位修得・学修成果 (学部)

卒業要件 (卒業に必要な単位数: 2024年度入学生)

専攻(コース)	教養科目	外国語科目	必修科目	選択必修	選択科目	計
声楽(声楽芸術・声楽特別演奏家コース)	12	14	64	4	30	124
器楽(ピアノ演奏家コース)	12	8	50	4	50	124
器楽(ピアノ)	12	8	50	4	50	124
器楽(ピアノ・創作コース)	12	8	62	4	38	124
器楽(チェンバロ/オルガン)	12	8	58	4	42	124
器楽(弦楽器)	12	8	64	4	36	124
器楽(弦楽器:ハープ/クラシックギター)	12	8	62	4	38	124
器楽(管打楽器)	12	8	66	4	34	124
作曲指揮(作曲「芸術音楽コース」)	16	8	60	4	36	124
作曲指揮(作曲「ミュージック・メディアコース」)	12	8	84	8	12	124
作曲指揮(指揮)	12	8	72	4	28	124
音楽文化教育	12	8	28	24	52	124
ミュージック・リベラルアーツ	0	0	57	30	37	124
ミュージック・リベラルアーツ(専門実技:指揮)	0	0	75	30	19	124
吹奏楽アカデミー	12	8	84	4	16	124
ミュージック・ビジネス・テクノロジー	12	8	66	18	20	124

成績評価 GPA (Grade Point Average)

点数	評語	判定	GPA
90～100点	A+	合格	4
80～89点	A	合格	3
70～79点	B	合格	2
60～69点	C	合格	1
単位認定された科目及び 合格と認められた科目の評価	P	合格	
59点以下	F	不合格	0
評価外	X	不合格	0

GPAの種類と算出方法: 「学期GPA」「年度GPA」「累積GPA」に区分し、次の各号の定める方法により算出する。
算出された数値の小数点第3位以下は切捨てる。

(1) 学期GPAの計算式

$$\frac{(\text{当該学期の「A+」の単位数} \times 4 + \text{「A」の単位数} \times 3 + \text{「B」の単位数} \times 2 + \text{「C」の単位数} \times 1)}{\text{当該年度の総履修登録単位数}}$$

(2) 年度GPAの計算式

$$\frac{(\text{当該年度の「A+」の単位数} \times 4 + \text{「A」の単位数} \times 3 + \text{「B」の単位数} \times 2 + \text{「C」の単位数} \times 1)}{\text{当該年度の総履修登録単位数}}$$

(3) 累積GPAの計算式

$$\frac{(\text{全在学期間の「A+」の単位数} \times 4 + \text{「A」の単位数} \times 3 + \text{「B」の単位数} \times 2 + \text{「C」の単位数} \times 1)}{\text{全在学期間の総履修登録単位数}}$$

GPA非対象科目: 1. 卒業要件に算入しない教育の基礎的理解に関する科目等

2. 卒業要件に算入しない特別実技科目

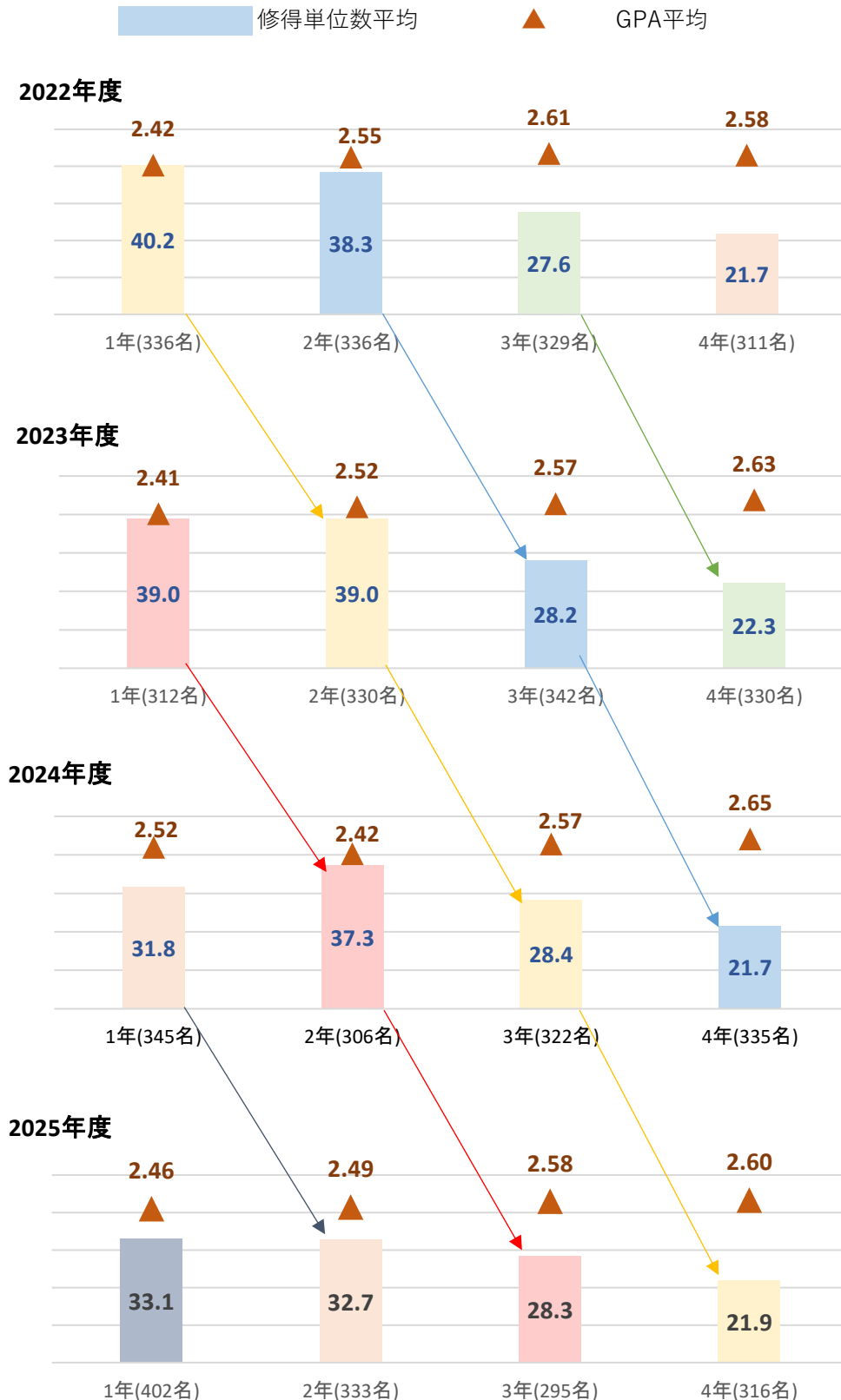
3. 成績評価が「P」と付く科目

4. 所定の期間に履修登録取り消し手続きをした科目

※2025年度学生便覧より

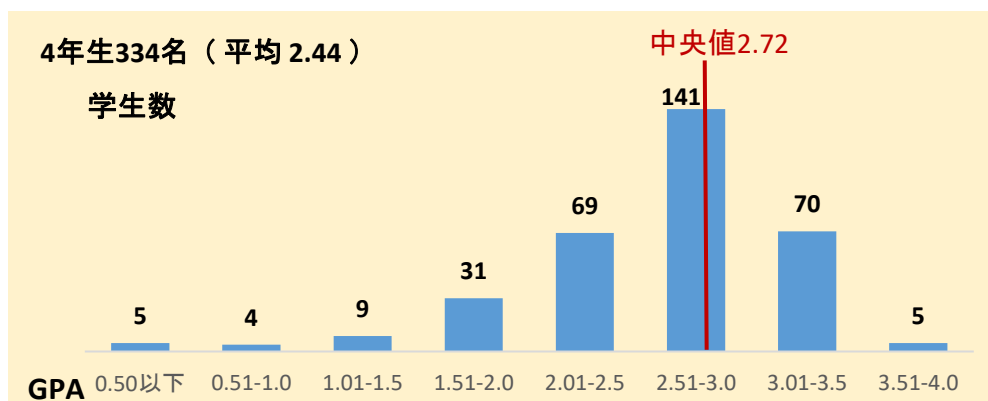
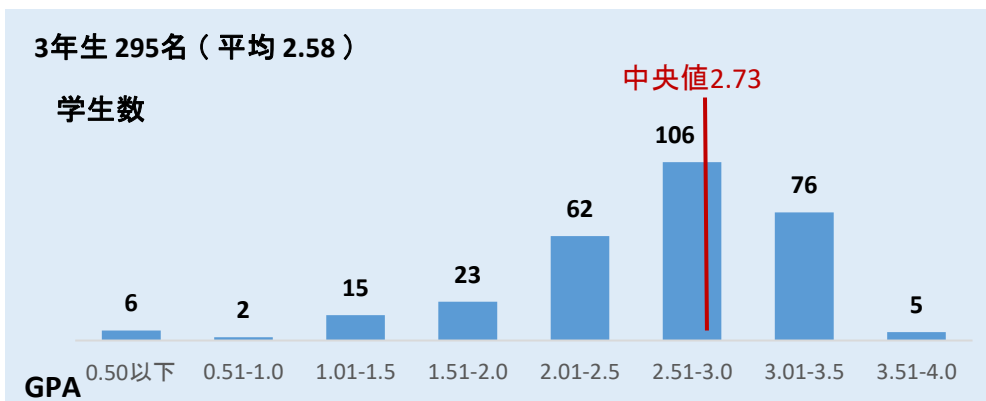
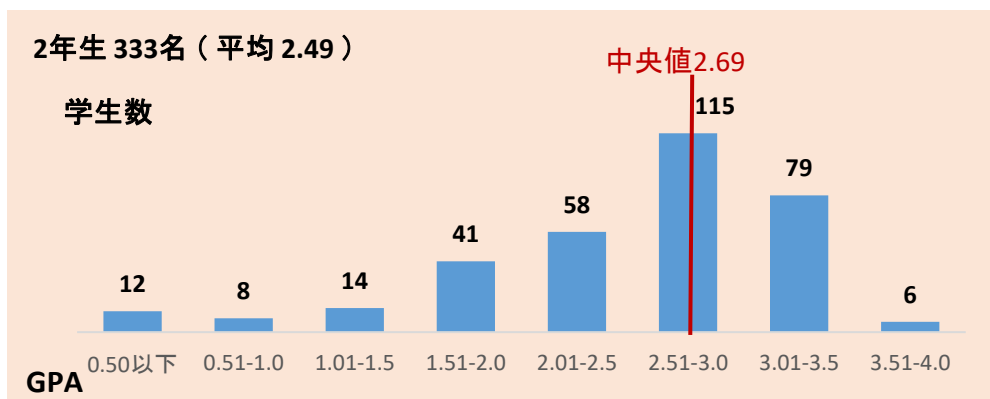
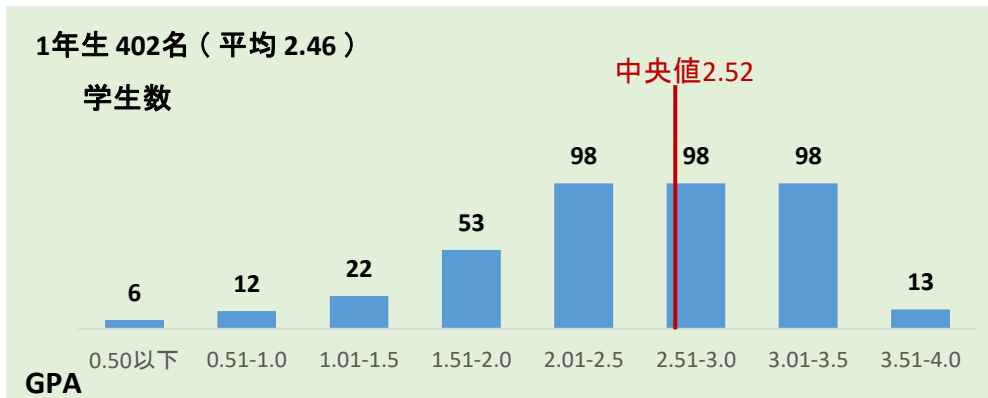
6. 単位修得・学修成果（学部）

単位の過剰登録を防ぎ、効果的な学修時間（予習復習を含む自主的な学修時間）を確保するために本学では1年間に履修登録できる単位数の上限を2024年度生からは44単位、その後は48単位と定めている(CAP制)。下のグラフは2021年度～2024年度の各学年正課授業における修得単位数・GPAの平均を記したものである。※認定単位及び休学者・4年次の過年度生は除外する。



6. 単位修得・学修成果 (学部)

2025年度 学年別「学年GPA」の分布



※過年度生を含む。

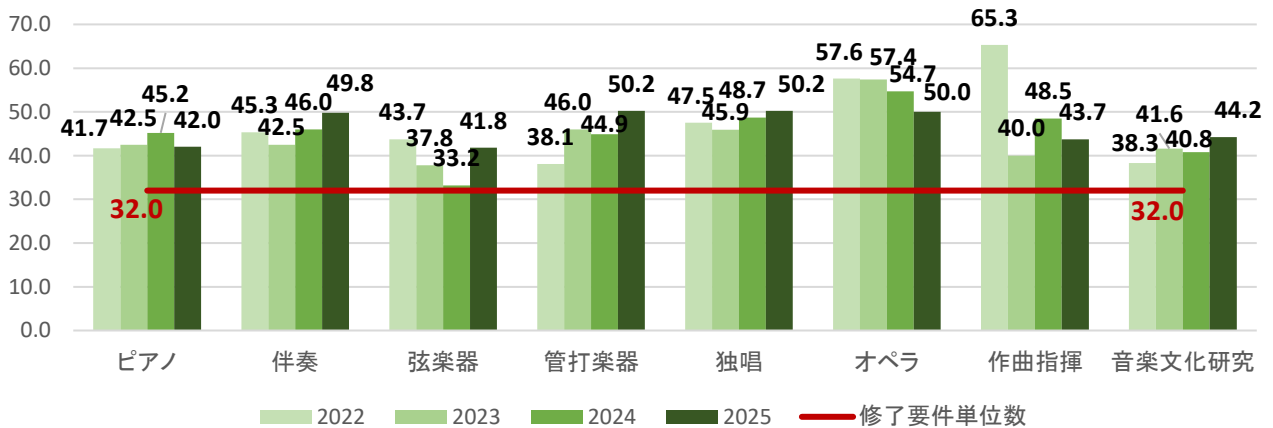
6. 単位修得・学修成果 (修士課程)

大学院(修士課程)専攻(研究領域)別修了要件単位数

専攻		必修科目	選択科目	修了要件単位数 32
器楽	鍵盤楽器(ピアノ・伴奏)	28	4	
	鍵盤楽器(オルガン・チェンバロ)	24	8	
	弦楽器	20	12	
	管打楽器	20	12	
	室内楽	20	12	
声楽	独唱	12	20(8)	
	オペラ	12	20	
作曲指揮	作曲芸術	24	8	
	作曲応用	24	8	
	指揮	20	12	
音楽文化研究	音楽教育	16	16(4)	
	音楽学	20	12	
	ソルフェージュ	24	8(4)	
	多文化	8	24(8)	

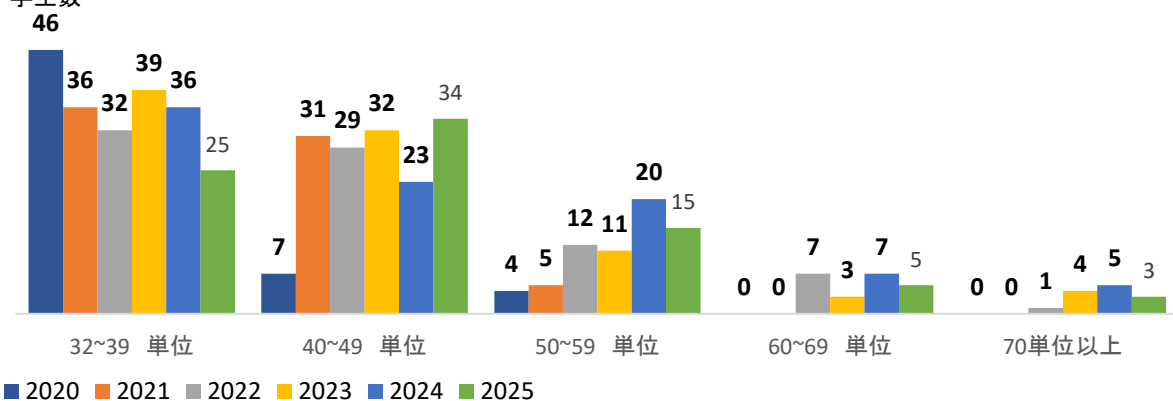
※ () 内の数字は選択必修科目の単位数。

修得単位数 修士課程修了時修得単数 研究領域別平均



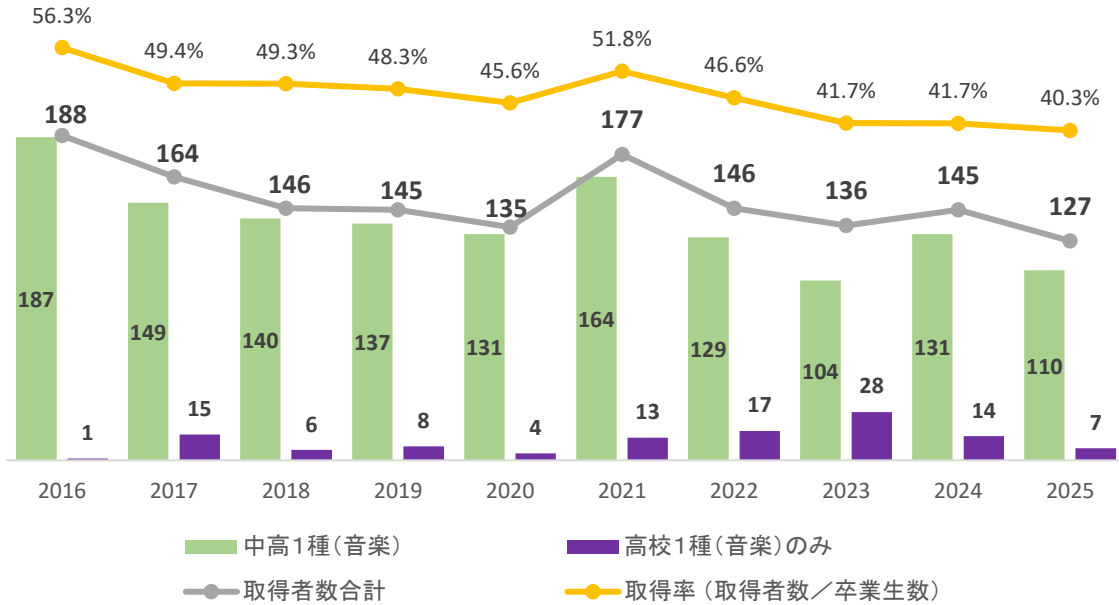
※ 「作曲指揮」及び「音楽文化研究」については専攻の平均。

学生数 修士課程 修了時修得単位数分布



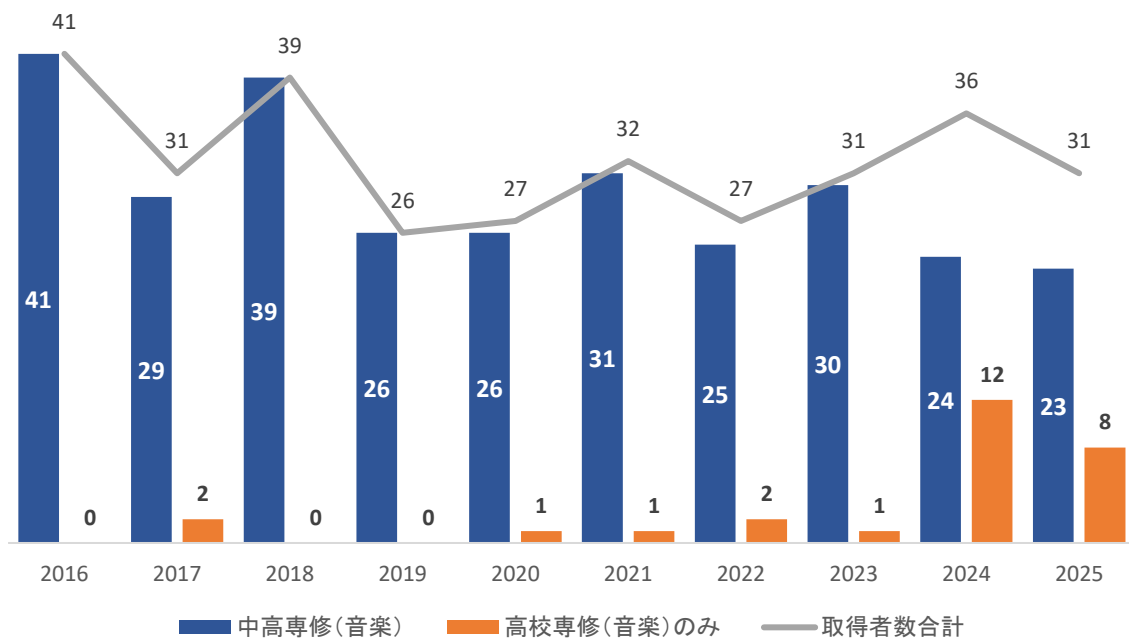
7. 教職課程

教育職員免許状 中高1種(音楽)取得者数



※個人申請者は含まない。

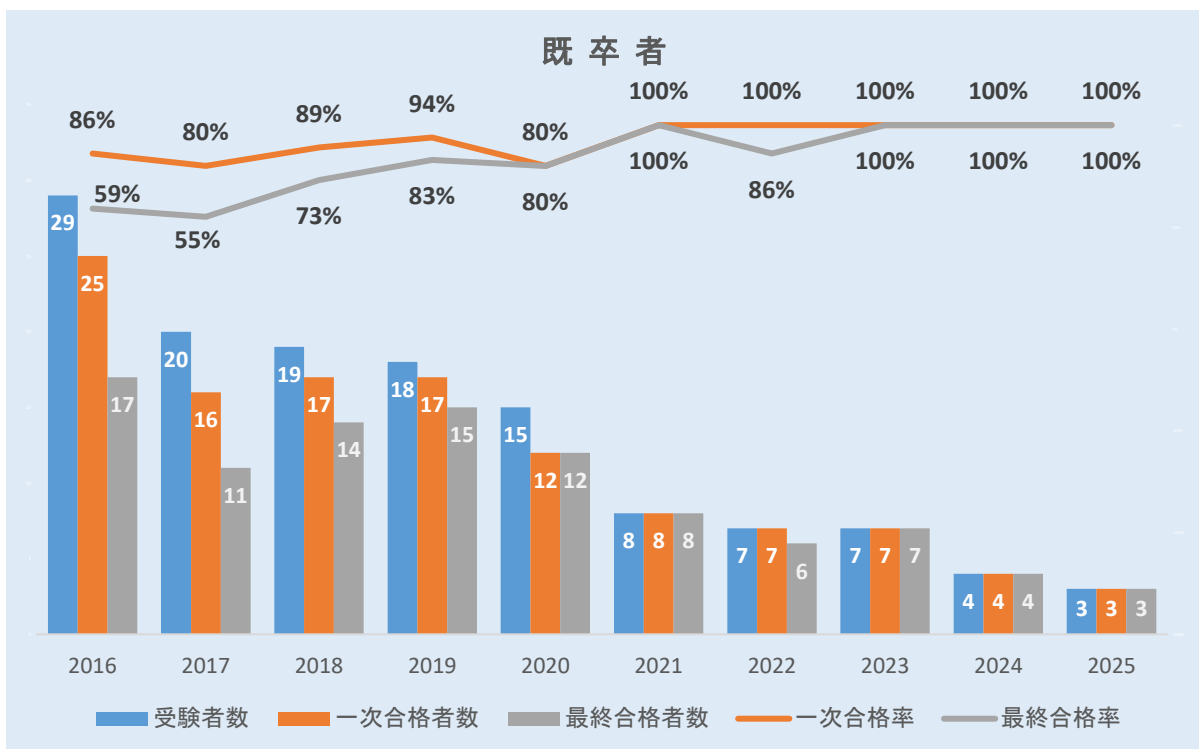
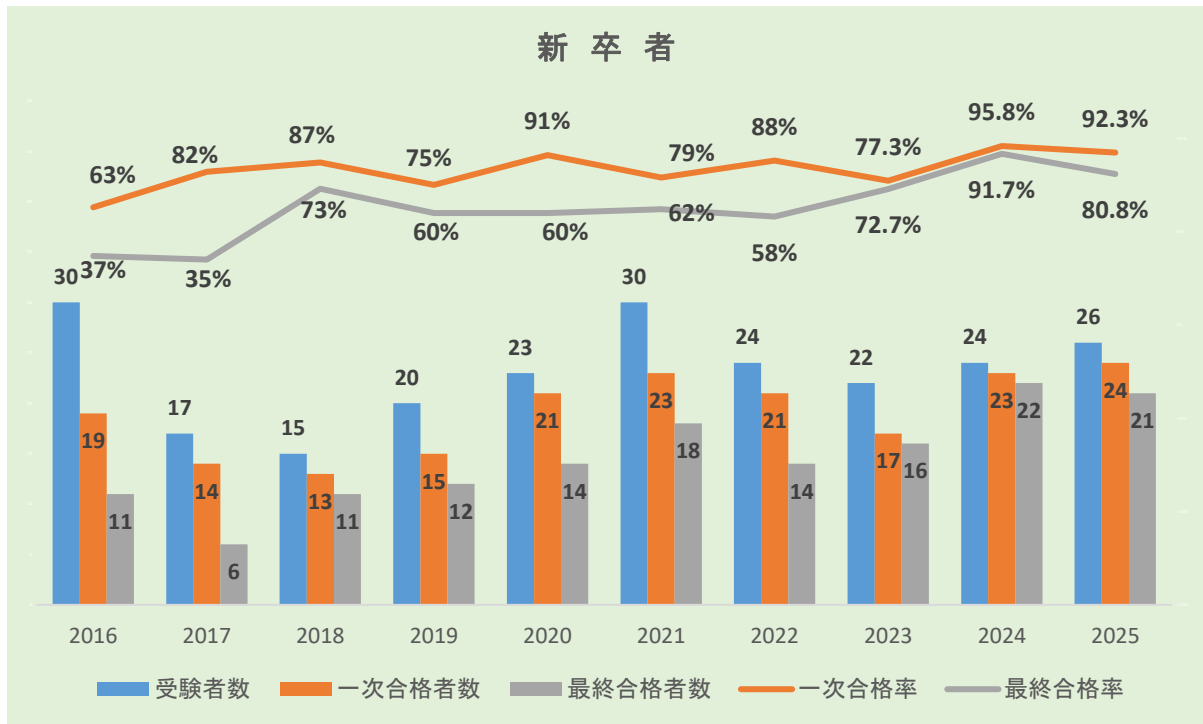
教育職員免許状 中高専修(音楽)取得者数



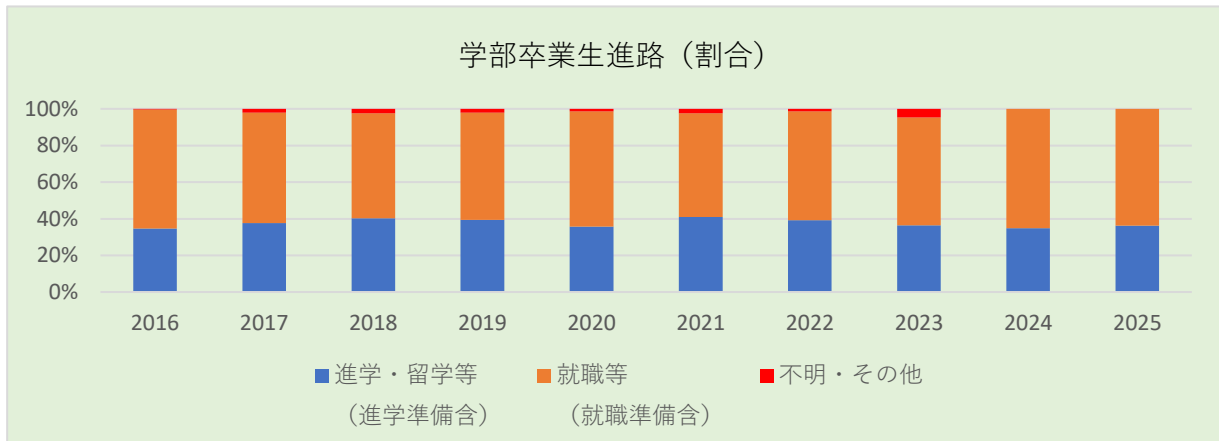
※個人申請者は含まない。

7. 教職課程

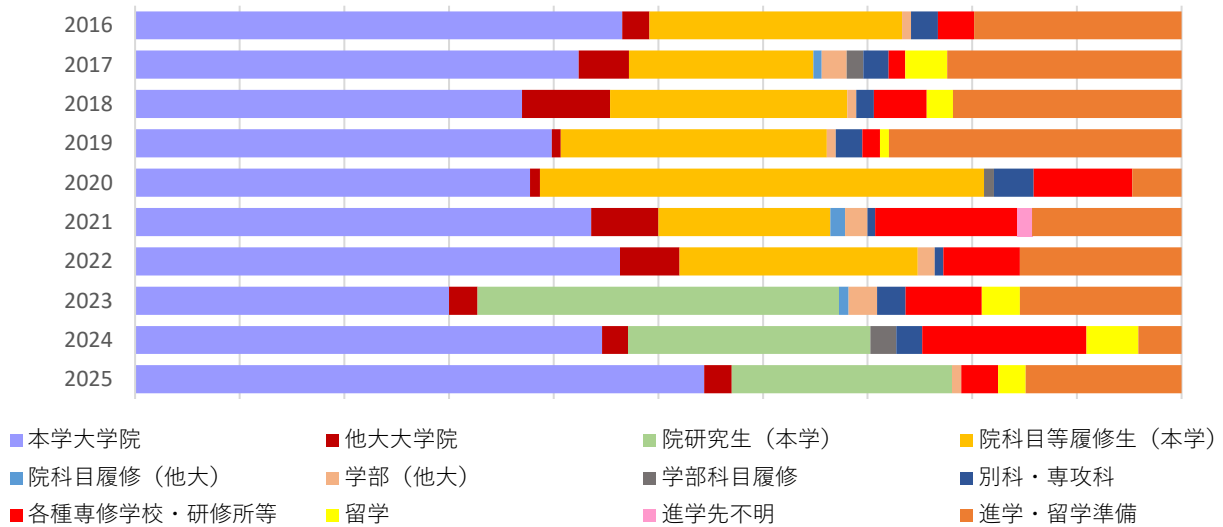
教員採用試験結果 2016～2025



8. 進路 (学部)

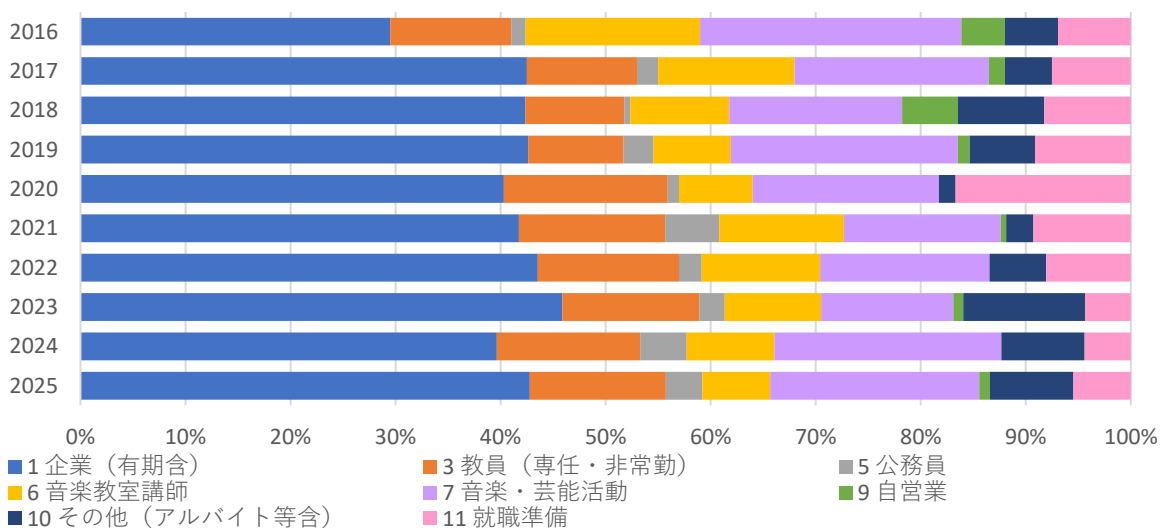


進路区分の構成比(進学・留学等)

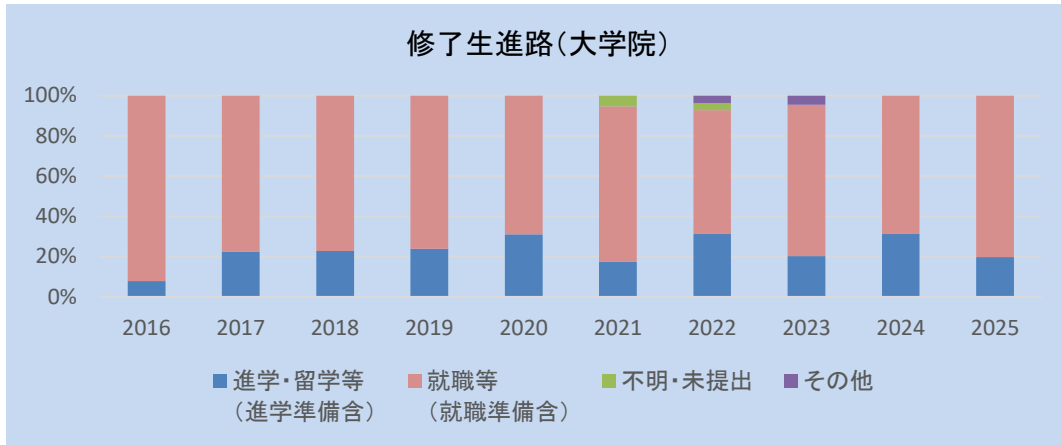


※本学修士課程科目等履修生は2022年度より募集停止

進路区分の構成比(就職等)

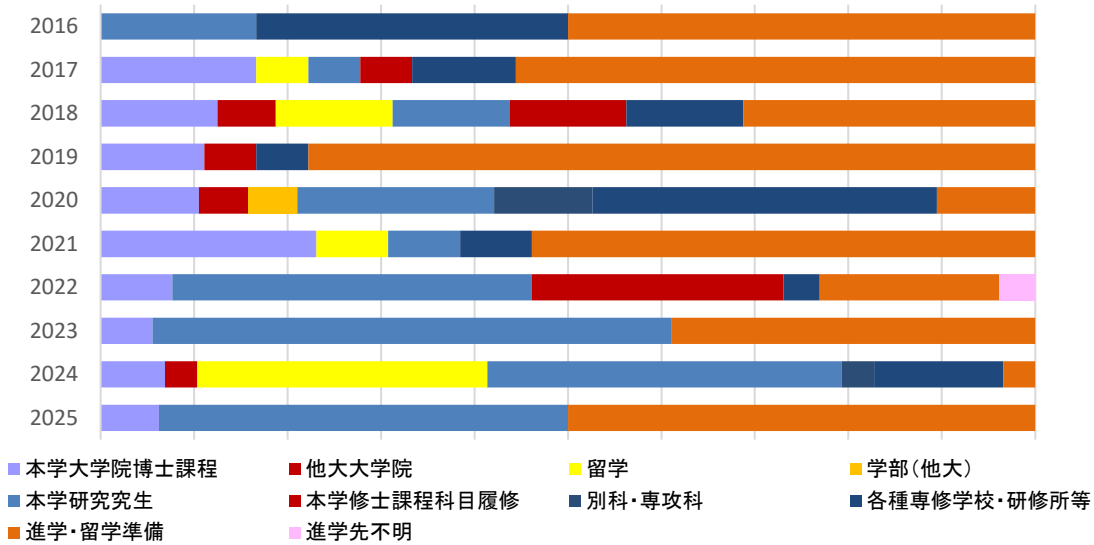


8. 進路 (大学院)

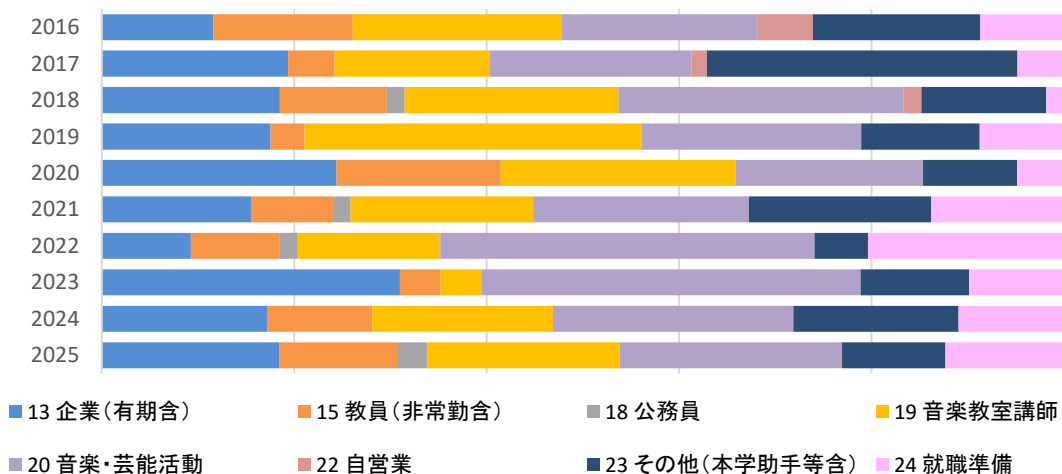


※博士後期課程修了生を含む。

進路区別の構成比(進学・留学等)



進路区分の構成比(就職等)



9. 公開講座・演奏会

特別招聘演奏家公開講座・レッスン 過去5年間

開催年度	開催日	招聘者氏名	内容
2025	4月8日	アンサンブル・アンテルコンタンポラン	コンサート・作曲ワークショップ
	4月15, 16日	トマーシュ・ヤムニーク	チェロ公開レッスン
	4月18日	クリストス・マラントス	ピアノマスタークラスとワークショップ
	5月19日	マテュー・プティジャン	オーボエ公開レッスン
	6月9日	ボリス・ベルギン	指揮公開レッスン
	6月17日	ルイス・クラレット	チェロ公開レッスン
	6月30日	ジュゼッペ・サッパティエーニ	声楽公開レッスン
	7月17日	アンドリュウ・ペイン	ホルン公開レッスン
	7月26日	アクセル・ブノウ	ファゴット公開レッスン
	9月27日	ラース・ムレクシュ	サクソフォーン公開レッスン
	10月6日	ドミニク・フリースハウワースシャ・ユアン	打楽器公開レッスン
	11月5日	ジークムント・イェルセット	声楽公開レッスン
	11月20日	アダカ・シムチェフスカ	ヴァイオリン公開レッスン
	12月12, 13日	アウフヴィント	韓国の伝統楽器公開レッスン
12月16日	ファブリス・モレッティ	サクソフォーン公開レッスン	
2024	4月10日	アンサンブル・アンテルコンタンポラン	作曲部会主催ワークショップ
	6月17日	デビッド・チャイルズ	ユーフォニアム公開レッスン
	7月8日	バーバラ・ドブレツベルガー	音楽学特別セミナー 「シェーンベルク《月に憑かれたピエロ》について」
	7月10日		「ブーレーズ《ピアノソナタ第一番》の分析」
	11月10日、11日	アウフヴィント	韓国伝統楽器ワークショップ「韓国の伝統楽器 未来を創造するプロジェクト コネクテッド・アジア・サウンド・ネクサス (CASN)」
	11月15日	ニコラ・バルディルー	クラリネット公開レッスン・ミニコンサート
	11月21日、22日	宮田大	チェロ公開レッスン
	11月25日	サボルチ・ゼンプレーニ	ホルン公開レッスン・ミニコンサート
	11月26日	レ・ヴォルク弦楽三重奏団	弦室内楽公開レッスン
	11月27日	アーミン・ザナー	声楽公開レッスン
	11月30日	イングリット・フックス	音楽学特別講演会 「ブルックナーと同時代の交響曲指揮者―芸術的創造者と後見人たち―」
	12月5日	ファブリス・モレティ	サクソフォーン公開レッスン・ミニコンサート
	12月16日	松井康司	声楽公開講座「日本歌曲について」
	12月17日	クラウディア・タンデル	声楽・ピアノ公開レッスン
	12月18日	杉山康人	チューバ公開レッスン
	1月10日	ニコラ・モッタラン	声楽公開レッスン
1月14日	ルーカ・ゴルラ	声楽公開レッスン	
2月28日	大前匠	声楽講座・公開レッスン	

9. 公開講座・演奏会

特別招聘演奏家公開講座・レッスン 過去5年間

開催年度	開催日	招聘者氏名	内容
2023	4月10日	アドリアン・エレート	声楽公開レッスン
	4月19日	ローナン・オホラ	ピアノ公開レッスン
	5月24日	顧鈞豪	作曲公開講座
	6月6日	イ・キョンソン	ヴァイオリン公開レッスン
	6月7日	エリソ・ヴィルサラアゼ	ミニコンサート・ピアノ公開レッスン
	6月19日 6月20日	ルイス・クラレット	チェロ公開レッスン
	9月8日	白井光子	声楽公開レッスン
	9月11日	カルロ・コロンバーラ	声楽公開レッスン
	11月8日	プジェミスル・ヴォイタ	ホルン公開レッスン
	11月21日	セプトウーラ	金管7重奏ミニコンサート・公開レッスン
	11月21日	ジョン・アクセルロッド	指揮公開レッスン
	11月24日	フランツ・シンドルベック	打楽器公開レッスン
	1月9日	大前匠	声楽公開講座
	1月19日	木下牧子	声楽公開レッスン
	2月15日	ジャン＝ルイ・ポーマディエ	ピッコロ公開レッスン
	3月4日	高野二郎	ミュージカル公開レッスン
2022	5月25日	ザール・ベルガー	ホルン公開レッスン
	6月8日	ボリス・ベルキン	指揮公開レッスン
	6月21日	高島勲／大森万歳／近藤保博	指揮特別講座
	7月2日	ドミトリー・シトコヴェツキー	ヴァイオリン公開レッスン
	7月26日	中村陽一	指揮特別講座
	9月20日	ミヒャエル・フラダー	打楽器公開レッスン
	10月31日	マリオ・ブルネロ	チェロ公開レッスン
	11月8日	ジーン・ポコーニ	チューバ公開レッスン
	11月24日	アーノルド・ベズイエン	テノール公開レッスン
	11月30日	エリン・ヴィルサラアゼ	ピアノ コンサート & 公開レッスン
	12月21日	サイモン・ブレンディス	ヴァイオリン公開レッスン
	1月24日	桑田歩	チェロ公開レッスン
	1月30日	宮台真司	指揮特別講座
	2月5日	クロード・ドラングル	サクソフォーン公開レッスン
	2月14日	桑田歩	オーケストラスタディ公開レッスン
	3月1日	ヤーノシュ・パーリント	フルート公開レッスン
3月18日	フローラン・エオー	クラリネット公開レッスン	
2021	9月9, 10日 12月6, 7日	宮崎泰二郎	打楽器公開レッスン
	11月29日	フェデリコ・アゴスティーニ	ヴァイオリン公開レッスン

9. 公開講座・演奏会

2025年度の本学主催演奏会

7月	東京音楽大学シンフォニックウインドアンサンブル第56回定期演奏会 すみだトリフォニーホール 大ホール 1,346名/1,801席
7月	東京音楽大学シンフォニックウインドアンサンブル特別演奏会 ウェスタ川越 大ホール 569名/1,712席
8月	ピアノ演奏会 ～ピアノ演奏家コース成績優秀者による～ 東京文化会館 小ホール 381名/649席
9月	第4回 ピアノ教員による Collaborative Piano Concert 本学TCMホール 186名/422席
9月	第15回 声楽教員によるコンサート 本学100周年記念ホール 162名/806席
9月	第17回 ピアノ教員によるコンサート 本学TCMホール 318名/422席
10月	東京音楽大学コンクール優勝者コンサート 本学TCMホール 227名/422席
10月	学内オーディション合格者によるソロ・室内楽定期演奏会 本学TCMホール 237名/422席
12月	東京音楽大学シンフォニーオーケストラ定期演奏会 東京芸術劇場コンサートホール 1,120名/1,999席
12月	学内「第九」演奏会 本学100周年記念ホール 486名/806席
3月	東京音楽大学 卒業演奏会 サントリーホール ブルーローズ 290名/384席

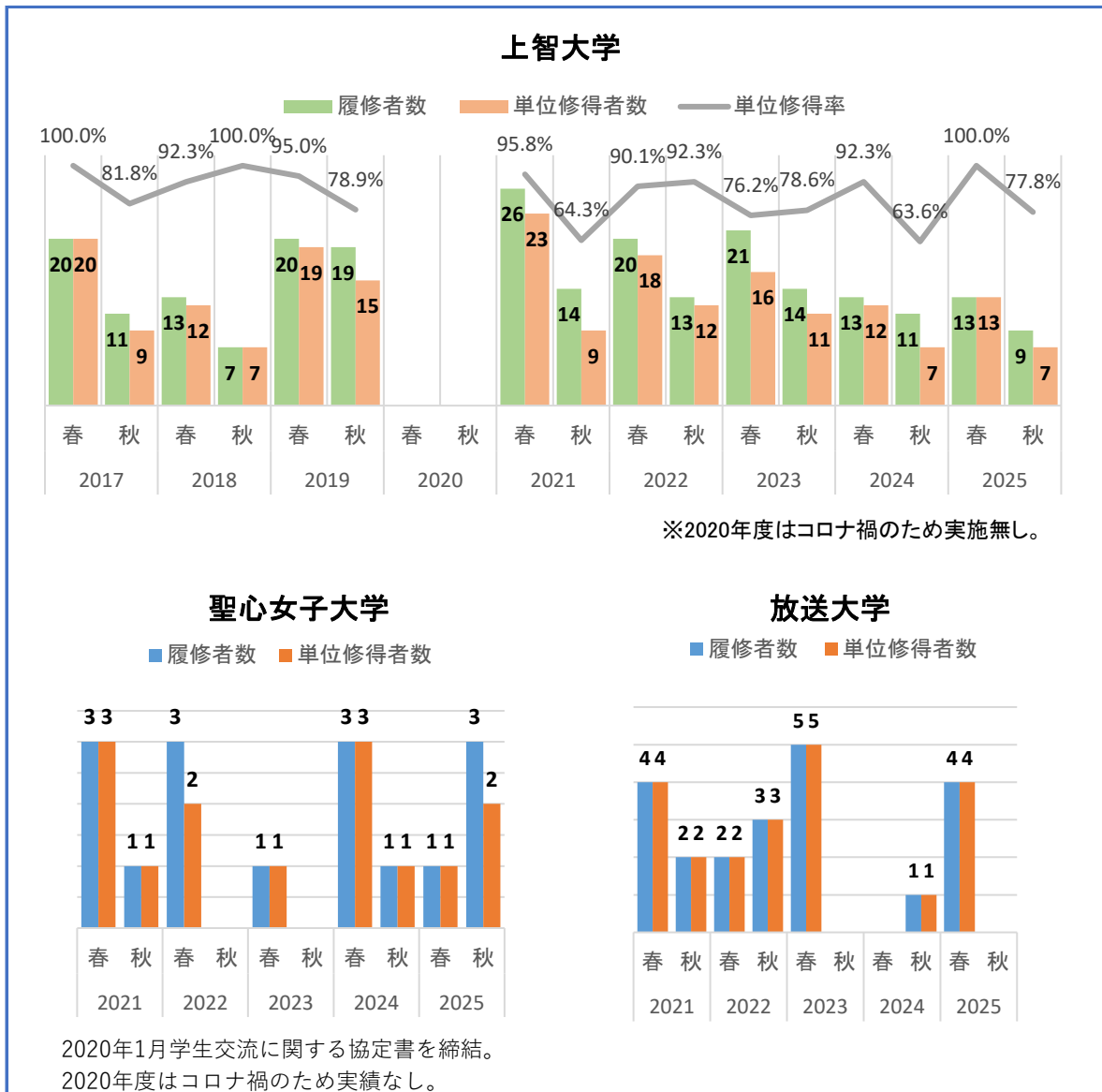
藤田医科大学との共催の演奏会

東京音楽大学×藤田医科大学コラボレーション・セミナー

6月	Vol.13	今こそ音楽大学×医科大学 ふたつの力を社会に！	本学TCMホール	金管五重奏
8月	Vol.14	今こそ音楽大学×医科大学 ふたつの力を社会に！	Hall Runde	弦楽四重奏
10月	Vol.15	学ぶ知る 備える 2025 認知症アップデート！	本学TCMホール	木管五重奏
12月	Vol.16	一人ひとりに響く がんゲノム医療を学ぶ	本学TCMホール	ピアノ
2月	Vol.17	腸内にも良いリズムを腸活と推し菌の話	Halle Runde	声楽

10. 大学間連携

1. 交流大学単位認定制度



2. 明星大学との教育業務提携

2015年に明星大学通信教育学部と教育業務提携を締結。小学校教諭二種免許状が取得可能になる。

2025年度受講生

4年生	2名
3年生	3名
2年生	0名

3. 音楽系2大学連携事業

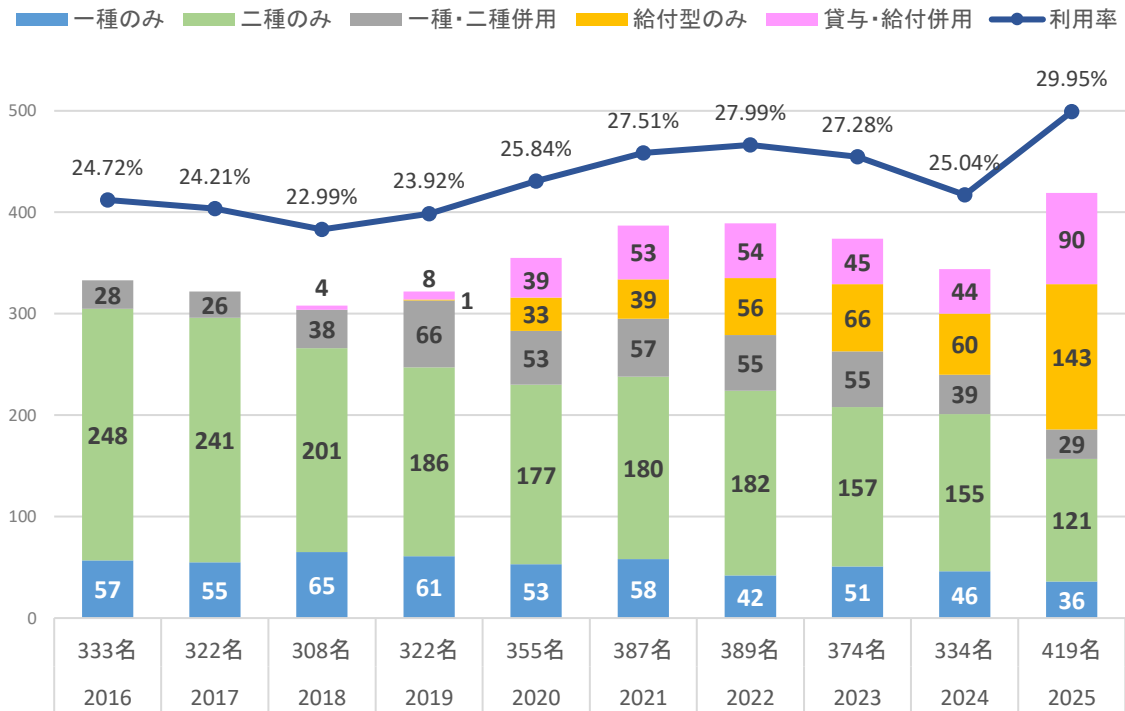
「ミュージック・コミュニケーション講座」

平成21年度に、文部科学省「大学教育充実のための戦略的大学連携支援プログラム」に選定された「音大連携による教育イノベーション 音楽コミュニケーションリーダー養成に向けて」として3大学、東京音楽大学・昭和音楽大学・神戸女学院大学で開始。

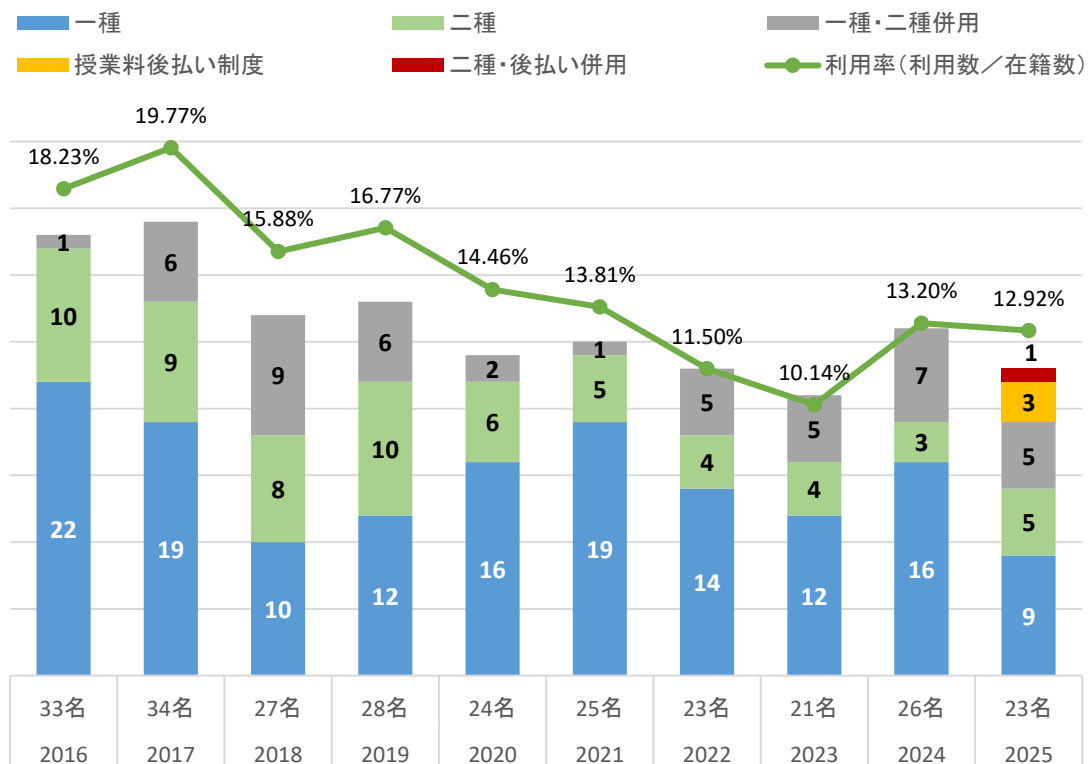
現在は、東京音楽大学と神戸女学院大学音楽学部が継続・展開している。インターネット配信による同時中継授業を通じて、教育・地域・福祉の場で音楽を生かす方法を学ぶ。

1. 奨学金・授業料減免

日本学生支援機構奨学金利用者数・利用率(学部)

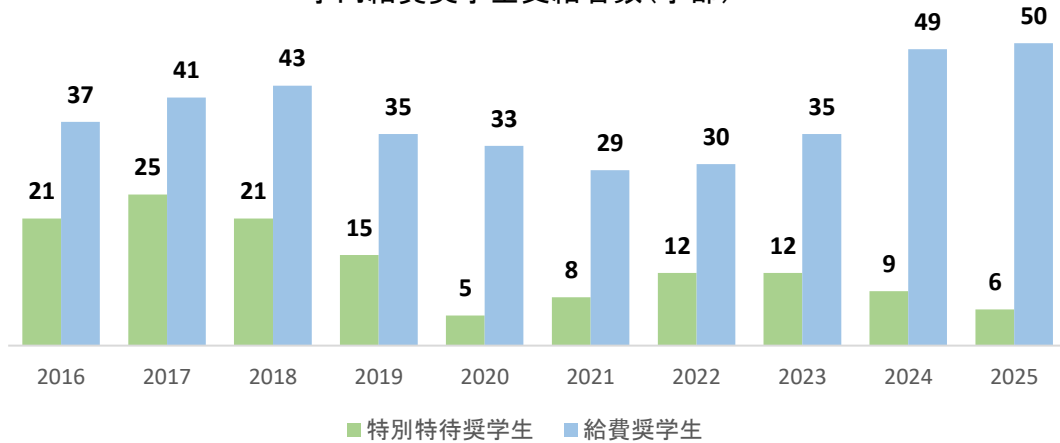


日本学生支援機構奨学金利用者数・利用率(大学院)



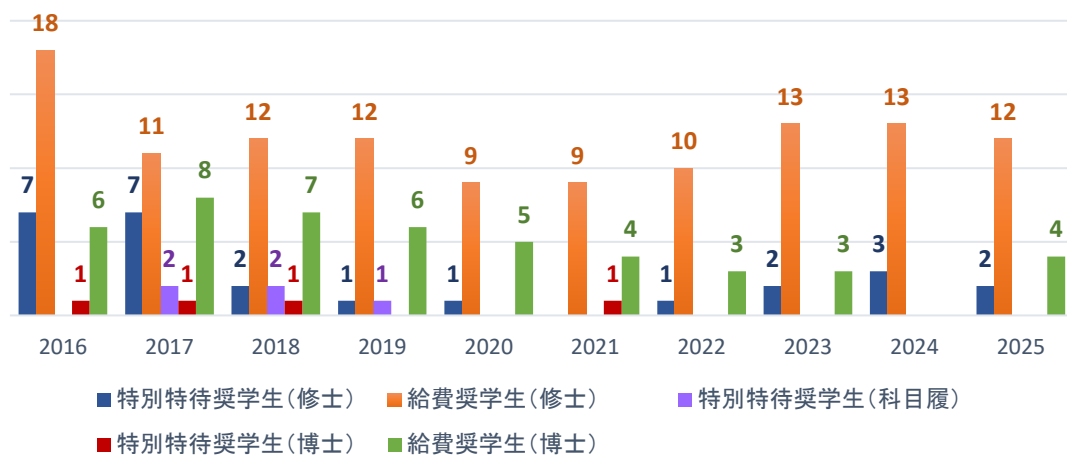
1. 奨学金・授業料減免

学内給費奨学金受給者数(学部)

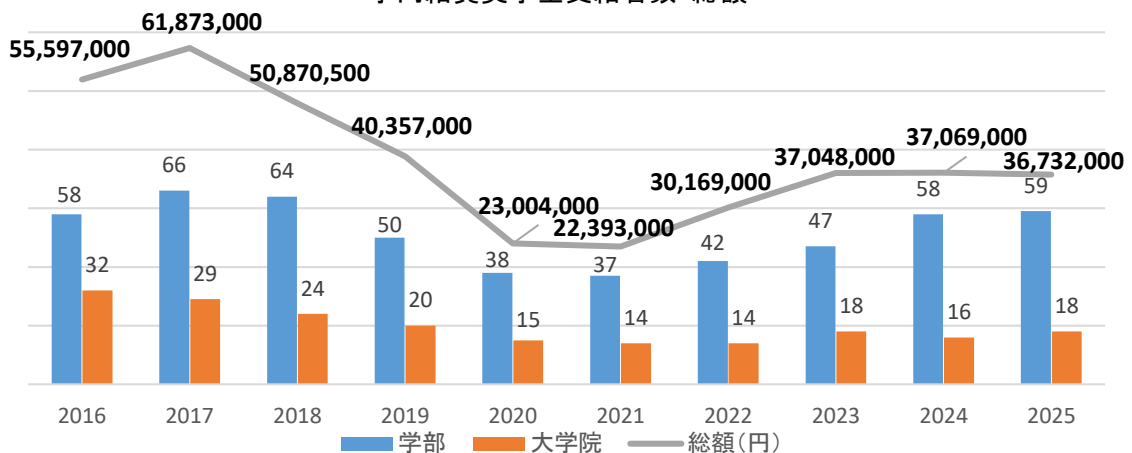


※アーティスト・ディプロマコース含

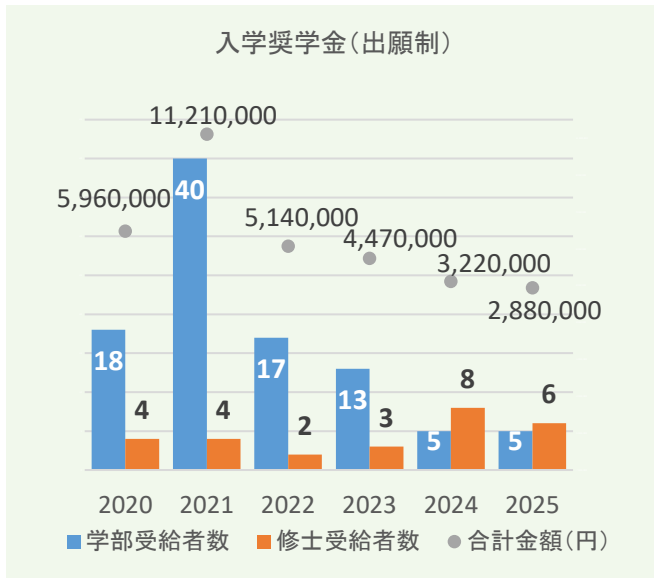
学内給付奨学金受給者数(大学院)



学内給費奨学金受給者数・総額



1. 奨学金・授業料減免



家計急変者奨学金(出願制)

2020年度 2件
 2021年度 1件
 2022年度 2件
 2023年度 1件

6件=4,063,400円

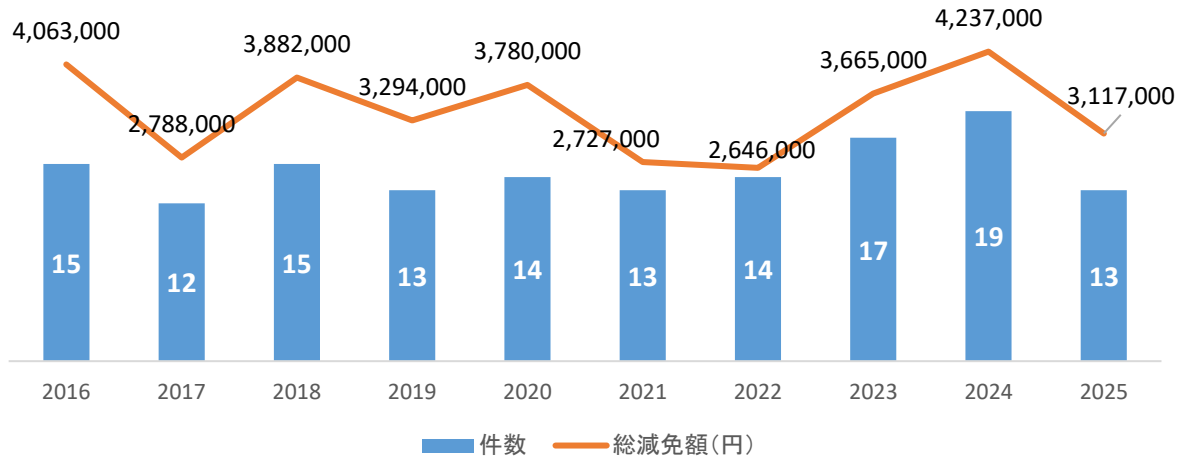
大規模自然災害被災学生への授業料減免 2011~2021

	延べ件数	総減免額(円)
東日本大震災	97	85,520,850
熊本地震	8	7,626,100
西日本豪雨	3	4,089,250
令和元年台風19号	1	446,100

新型コロナウイルス感染拡大に伴う家計急変者への授業料減免措置(出願制)

年度	件数	金額(円)
2020	16	1,600,000
2021	3	300,000
2022	5	500,000
2023	0	0

複数就学者授業料減免2016~2025



1. 奨学金・授業料減免 (外部団体奨学金)

よんでん文化振興財団奨学金(給付型) 四国電力株式会社

対象： 四国出身者で、財団の選考委員会で選択された芸術大学に在学し、大学から推薦された者。学力、技能ともに優秀であり、芸術に深い理解と関心を持ち、将来芸術家を志す者。経済的に奨学援助を必要とする状況にある者。援助開始年度において、原則として3年生以上で音楽専攻学科の在籍者。 **金額：** 月額5万円、最長2年間(在学期間)

本学採用件数： 1999～2021年 各年度1名採用 (2013～17、2022～25年募集無し)

公益財団法人 戸田育英財団奨学金(給付型)

対象： 学部1～2学年に在籍し、大学が推薦する日本人学生。 就業経験のない者。1年生：高校評定平均4.00以上 2年生：前年度の成績GPA3.00以上 経済的理由により修学が困難な者。奨学生交流会など、財団の行事に必ず出席できる者。

金額： 大学生：月額3万8千円 (正規の最短修業期間)

本学採用件数： 2006年～2024年 各年度1名 2025年度は2名採用 (2010・11年募集無し)

公益財団法人 山田貞夫音楽財団奨学金(給付型)

対象： 愛知県出身者で、クラシック音楽を専攻する学部、修士課程に在学する声楽・器楽専攻学生。クラシック音楽の演奏家をめざし、学業、人物ともに優秀で、在学する学長の推薦を受けた者。

金額： 月額4万円(1年分一括給付) **給付期間：** 1年間(最長4年まで延長可)

本学採用件数： 2014年～2025年 各年度1～4名 採用

公益財団法人 青山音楽財団奨学金(給付型)

対象： 財団により選定された大学の学部1～4年生として在籍し、大学の推薦を受けた専門分野の成績が極めて優秀な者。(採用された奨学生は、毎年3月開催予定の青山音楽記念館パロックザールにおいて成果披露演奏会に出演することが条件)

金額： 月額5万円(年間60万円) 原則として1年間

本学採用件数： 2015年～2025年 各年度2名 採用

一般財団法人 福島育英会奨学金(給付型)

対象： 東京都に居住し、音楽関係大学に在籍し、学業人物ともに優秀で高い勉学意欲を有し、経済的理由によって修学が困難な者。在籍大学からの推薦を受けた者。

すでに二つ以上の機関から給付型奨学金を受けていない者。

金額： 月額7万5千円 正規の最短修了期間

本学採用件数： 1988年～2025年 各年度1名 採用

公益財団法人 明治安田クオリティオブライフ文化財団奨学金

対象： 声楽・作曲・指揮専攻で学部3年生以上 大学が推薦する者。

金額： 年間30万円/年2回に分けて各15万円支給 2年間

本学採用件数： 1999年～2025年 各年度1名 採用

一般財団法人 藤澤記念財団 音楽奨学金(給付型)

対象： 音楽大学又は音楽学部 に在籍し学業優秀であって、次のいずれにも該当しなければならない。学資の援助をすることが必要であると求められる者。将来の目標とする仕事や夢が明確に描けている者。学業の成績が在学する学部等における上位2分の以上(もしくは評定平均3.5以上)の者。

金額： 年額50万円 月額4.17万円の6か月分(25万円)を年2回

本学採用件数： 2022年～2025年 各年度1名 採用

北の生涯教育振興会音楽奨学生

対象： 学部1・2年生(申請時) 学業人物ともに優秀で高い勉学意欲を有している者。

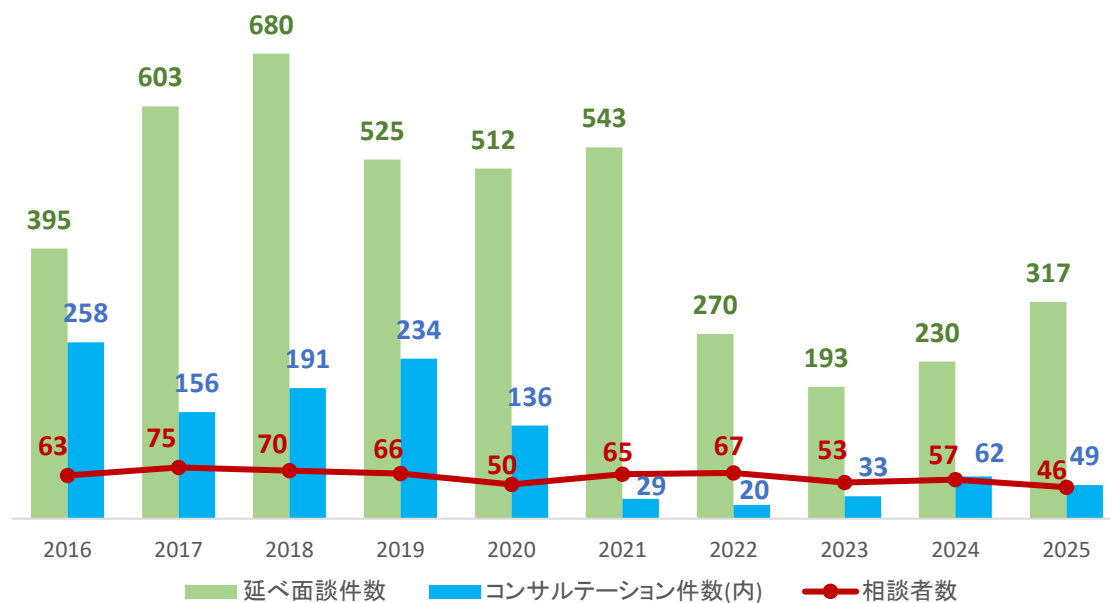
財団が主催する授与式・懇親会、演奏会に必ず出席できる者。

金額： 年額50万円 2年間(4月1日より翌々年3月31日)

本学採用件数： 2025年度 3名 採用

2. 学生相談室

学生相談室 相談件数・面談件数



※保護者や教職員の相談件数を含む。

※2021年8月より「連携活動件数」は「コンサルテーション件数」に変更

3. 学生寮

寮生数推移 2016～2025

(付属高校生分は含まない)

	2016	2017	2018	2020	2021	2022	2023	2024	2025
計	84	90	89	77	89	96	109	108	114
1年生	31	36	24	29	44	37	40	38	43
2年生	18	25	33	10	23	36	29	28	28
3年生	21	14	22	16	6	17	24	21	25
4年生	14	15	10	22	16	6	16	21	18

2015～2021年度は目白台学生寮（旧学生寮）学部生用46室 定員92名

2022年度からはTCM学生寮（新学生寮 池袋キャンパス内）学部生用一人部屋 104室

1. 地域・社会連携

▶ 協定等

災害時における相互協力に関する協定（豊島区） 平成15年4月1日

東京音楽大学と北本市との音楽文化事業の連携に関する協定書 平成22年7月7日

癒しの森協定（信濃町、信濃町森林療法研究会）平成24年2月22日

東京音楽大学と公益財団法人新国立劇場運営財団との連携・協力に関する協定書 平成24年6月19日

東京音楽大学と日本現代音楽協会との連携・協力に関する協定書 平成25年3月26日

上目黒一丁目地区プロジェクト基本協定（目黒区、東京都） 平成27年9月25日

豊島区と区内大学との連携・協働に関する包括協定書 平成27年11月13日

東京音楽大学と株式会社東急文化村との連携・協力に関する包括協定書 平成31年4月23日

災害時における協力体制に関する協定書（目黒区） 令和元年9月10日

「災害時における協力体制に関する協定書」に関する確認書（目黒区） 令和3年10月1日

同確認書（目黒区） 令和4年12月20日

目黒区と東京音楽大学が連携・協力に関する基本協定 令和5年12月26日

東京都教育委員会と東京音楽大学との連携・協力に関する協定 令和7年3月21日

▶ 連携事業

1. 「ナカメ未来ビジョン」

令和6年（2023年）3月6日策定の「ナカメ未来ビジョン」の協議に、エリアプラットフォーム「ナカメをデザインする会議。」のメンバーとして参加した。令和7年度も、この「ナカメ未来ビジョン」が掲げる施策の実施に向けて、区、（一社）中目黒駅周辺地区エリアマネジメント、地元事業者等と連携して各種活動を行った。

2. 「なかなか中目黒」

（一社）中目黒駅周辺地区エリアマネジメントが運営する「なかなか中目黒」公開編集会議に、昨年度に引き続き参加し、5回目（9月25日開催）から中目黒・代官山キャンパスのクリエイティブラボで開催することとした。その後、10月16日、11月20日、12月18日に開催し、年8回行われている。なお、この編集会議は、「ナカメ未来ビジョン」が掲げる施策「ローカルメディア」として位置付けられ、東京都市大学末繁研究室のゼミとして実施されている。

3. 中目黒駅周辺帰宅困難者対策協議会 令和7年度の活動

昨年度に引き続き「帰宅困難者用備蓄品」を購入し、帰宅困難者の受け入れ環境を整備した。

また、以下の中目黒駅周辺帰宅困難者対策協議会へ参加し、訓練結果に基づく課題の洗い出し、ルール・行動計画・マニュアルの更新、来年度の活動内容について確認した。

①令和7年度第1回中目黒駅周辺帰宅困難者大作協議会（8/26）

②第2回 同 協議会（10/28）

③第3回 同 協議会（12/18）

④第4回 同 協議会（2/17）

1. 地域・社会連携

▶ 連携事業

4. 目黒区公民連携プラットフォーム

目黒区が、「公民連携の推進」のために設置した「目黒区公民連携プラットフォーム」に、キックオフセッション（令和5年12月12日）から参加している。令和7年度は、5回のセッションが開催された。本学は、推進施策の①子育て・教育、②まちづくり、③産業振興の3分野のグループのうち、②まちづくりに参加し、中目黒駅周辺の企業団体と、このエリアの施策立案を行った。

5. 中目の黒本

一般社団法人中目黒をさらに良くする連絡会が制作する「中目の黒本Vol.8」（2026年3月22日発行）に協賛し、広上淳一教授のインタビュー記事と、ACTProject が2022年から実施しているGTオータムフェスティバルでの公演記録の記事を掲載した。

6. としまコミュニティ大学

豊島区と区内大学が協働して区民に学習の場を提供する「としまコミュニティ大学」において、令和7年度は本学教員による一般公開講座を3回開講した。実演を交えた音楽大学ならではの専門的な講座を実施し、生涯学習の推進および地域文化の発展に貢献した。

7. 豊島区庁舎ランチタイムコンサート

としま未来文化財団が主催する「庁舎ランチタイムコンサート」に、令和7年度は本学学生が4回出演した。幅広い世代の地域住民に対し、上質な音楽を身近に楽しむ機会を提供した。

8. 区民ひろば音楽キャラバン

豊島区が実施する「区民ひろば音楽キャラバン」に、令和7年度は本学学生が5回出演した。乳幼児や保護者、一般区民に対し、質の高い音楽に触れる機会を提供し、子どもたちの豊かな心を育む活動に貢献した。

▶ 受託協力事業・演奏依頼への出演

・ GT Spring Gospel Festa 令和7年4月6日（日）

中目黒GT(ゲートタウン) 全体管理組合からの依頼を受け、オープニング演奏をオーケストラ・アカデミーのメンバーが実施。

・ めぐるパーシモンホール避難訓練コンサート 令和7年4月26日（土）

東日本大震災後の防災意識の高まりを受けて、客と演奏者が参加し、実際のコンサートに近い状況で避難訓練を実施。2012年より実施。

・ GT オータムフェスティバル2025 令和7年10月19日（日）

毎年10月頃、中目黒ゲートタウンで実施。

・ 令和7年度 得意な才能を伸ばす教育（芸術）

令和7年9月28日（日）開講式～令和7年12月21日（日）閉講式

東京都教育委員会からの依頼により、上記教育プログラムにおいて、基調講演（服部洋一教授）

音楽指導プログラム（作曲：梅津絵里専任講師、ソングライティング：石川晃士郎講師、吹奏楽：木村圭太専任講師、声楽：服部洋一教授）を実施。

・ 中目黒駅前商店街振興組合 令和8年3月29日（日）目黒桜まつりに協力。

社会貢献

2. 外部依頼演奏会

管弦楽・吹奏楽・合唱

1. 「第14回 めぐるパーシモンホール 避難訓練コンサート」 4月26日（土） めぐるパーシモンホール 大ホール
主催：目黒区芸術文化振興財団 出演：シンフォニックウインドアンサンブル
2. 広上淳一&日本フィル「オペラの旅」Vol.1 ヴェルディ：オペラ《仮面舞踏会》4月26日（土）27日（日）
主催：日本フィルハーモニー交響楽団 出演：合唱団 サントリーホール 大ホール
3. 京都・国際音楽学生フェスティバル2025 5月30日（金）31日（土） 京都府立府民ホール アルティ
主催：ロームミュージックファンデーション 出演：本学選抜学生（国内外の学生と合同オーケストラ）
4. 日本フィルハーモニー交響楽団「第772回 東京定期演奏会」7月11日（金）12日（土）
主催：日本フィルハーモニー交響楽団 出演：合唱団 サントリーホール 大ホール
5. 「癒しの森コンサート2025」 9月5日（金） タングラム斑尾東急リゾート ホテルタングラム
主催：東京音楽大学・信濃町 出演：シンフォニックウインドアンサンブル
6. 「マエストロの白熱教室2025 「指揮者・広上淳一の音楽道場」 9月7日（日）フィリアホール
主催：フィリアホール 出演：指揮学生、指揮教員、器楽学生有志オーケストラ
7. 「第24回みないけコンサート」 10月25日（土） 本学100周年記念ホール
主催：豊島区立南池袋小学校 出演：シンフォニックウインドアンサンブル
8. 日本フィルハーモニー交響楽団「第776回東京定期演奏会」11月28日（金）29日（土） サントリーホール 大ホール
主催：日本フィルハーモニー交響楽団 出演：合唱団
9. 第16回 音楽大学オーケストラフェスティバル 11月30日（日） ミューザ川崎 シンフォニーホール
主催：音楽大学オーケストラ・フェスティバル実行委員会 出演：シンフォニーオーケストラ
(共演：武蔵野音楽大学、洗足学園音楽大学)
10. 日本フィルハーモニー交響楽団「第413回横浜定期演奏会」12月13日（土） 横浜みなとみらいホール
主催：日本フィルハーモニー交響楽団 出演：合唱団
11. 日本フィルハーモニー交響楽団「第九」交響曲特別演奏会2025 主催：日本フィルハーモニー交響楽団
12月20日（土） サントリーホール、21日（日） 横浜みなとみらいホール 出演：合唱団
12. 「赤坂茜彩 お江戸演奏会」 2026年3月8日（日） ミTBS赤坂BLITZスタジオ
主催：赤坂茜協議会 出演：シンフォニックウインドアンサンブル
13. 「第15回 音楽大学フェスティバルオーケストラ」 2026年3月28日（土）3月29日（日）
主催：音楽大学オーケストラフェスティバル実行委員会 出演：8音楽大学選抜学生
28日：東京芸術劇場 コンサートホール 29日：ミューザ川崎 シンフォニーホール

アンサンブル、ソロ

1. 「ラ・フォル・ジュルネTOKYO 2025マスタークラス」 5月4日（日）5日（祝）
東京国際フォーラム ホールB5 主催：運営委員会 ピアノ・指揮・ギター・チェロ・ヴァイオリン
2. 「第26回新人演奏会」 5月8日（木） 東京文化会館 小ホール
主催：日本ピアノ調律師協会関東支部 出演：ピアノ

社会貢献

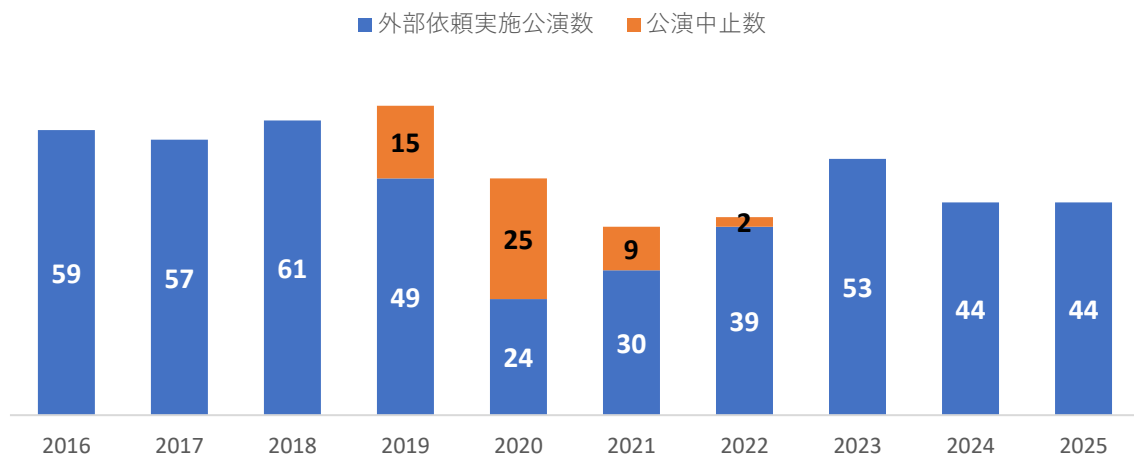
2. 外部依頼演奏会

3. 「読売中部新人演奏会」 5月24日（土）電気文化会館 ザ・コンサートホール
主催：読売新聞社 出演：ピアノ
4. 「ヤマハ管楽器新人演奏会」 6月13日（金）、14日（土）ヤマハホール
主催：ヤマハミュージックジャパン 出演：ファゴット クラリネット
5. 「第32回 めぐろ童謡コンサート」 10月12日（日）めぐろパーシモンホール 大ホール
主催：童謡の里めぐろ保存会 出演：声楽学生
5. 「音楽大学卒業生演奏会」 2026年3月9日（月）桃華楽堂
主催：宮内庁 出演：フルート

アンサンブル、ソロ [連続企画]

1. 「庁舎ランチタイムコンサート in としま区民センター」 としまセンタースクエア
主催：としま未来文化財団・豊島区
5月21日（水）弦楽四重奏 7月16日（水）ピアノ 2026年1月21日（水）声楽 3月19日（木）ファゴット四重奏
2. 「北本市文化センターコンサート」 北本市文化センター ホール 主催：北本市文化センター
5月22日（木）木管五重奏 9月18日（木）声楽 2026年1月22日（木）打楽器三重奏 3月26日（木）ピアノ
3. 「区民ひろば音楽キャラバン」 主催：豊島区 区民ひろば南池袋
6月4日（水）サクソフォーン四重奏 7月2日（水）ヴァイオリン 10月3日（金）木管五重奏
2026年2月26日（木）弦楽四重奏 3月4日（金）金管五重奏
4. 「東京音楽大学 表参道 サロンコンサート」 カワイ表参道 コンサートサロン 「パウゼ」
主催：カワイ音楽振興会 6月5日（木）10月29日（水）12月17日（水）2026年2月5日（木）ピアノ

外部からの依頼演奏会 公演回数推移



社会貢献

3. 社会人講座

1. 附属民族音楽研究所主催 実技と講義で学ぶ社会人のための音楽講座（有料）

※[民族音楽研究所] P.88~89ページ参照。

2. 社会人講座 ピアノ個人レッスン（有料）

東京音楽大学ピアノ実技担当教員による初心者から上級者、プロフェッショナルな方々までを対象にした個人レッスン形式の社会人講座。本学ピアノ、ピアノ演奏家コースの専攻実技の指導、研究にあたっているピアノ教員が、それぞれの目標と課題に沿って適切な指導を行う。

受講料 1回40分 事前にレッスンチケット5回分をご購入。

レッスンチケット 5回分/40,000円（税込み）※発行日から1年間有効。

	2017年度	2018年度	2019年度	2020年度	2021年度	2022年度	2023年度	2024年度	2025年度
新規受講者数	29名	24名	29名	募集無し	募集無し	48名	54名	34名	37名

※2020、21年度はコロナ禍のため開講無し。2022年7月再開。

3. 東京音楽大学指揮研修講座（有料）

指揮にかかわる技術や知識を体系的かつ実践的に修得することを通して、創造性に満ちたリーダーを育てる東京音楽大学作曲指揮専攻の独創的な教育を、社会人などを対象に広く一般に公開。

内容 ①指揮レッスンの受講（半期15回程度） ②指揮マスタークラスへの参加（不定期）

	2021年度		2022年度		2023年度		2024年度		2025年度	
	春	秋	春	秋	春	秋	春	秋	春	秋
受講者数	50名	55名	65名	70名	79名	82名	80名	98名	88名	99名

※2020年度春期はコロナ禍のため開講無し。

4. 東京音楽大学「社会人の学びの場」公開講座 2025（有料）

音楽大学でより本格的に“学びたい・学び直したい”社会人の方を対象に、中目黒・代官山キャンパスにて“社会人の学びの場”を開講している。

2025年度

期	内容	講師	受講者数
春期	「即興的ピアノ演奏のススメ・初級 ～和音と伴奏付け～」	渚 智佳	19
	「西洋音楽の流れの中で」	坂崎則子	18
	「分析によって得られる解釈からより深い表現へ！ （シリーズV）～形式と表現～」	照屋正樹	17
	「“リズム”はしゃべる事で手に入れよう」	高橋千佳子	20
	「古楽四方山話、その4」	鈴木秀美	9
	「創作への誘い ～自分のピアノ曲を作ってみませんか？～ －初めて曲を作る方の為の－」	喜久邦博	14
	「20世紀における中国音楽の変遷」	王 明君	15

社会貢献

3. 社会人講座

期	内容	講師	受講者数
秋期	「分析によって得られる解釈からより深い表現へ！ シリーズVI) ～ベートーヴェンのピアノソナタ～」	照屋正樹	19
	「即興的ピアノ演奏のススメ・中級 ～伴奏アレンジから即興へ～」	渚 智佳	9
	「ガレージバンドで作曲を！」	土屋真仁	7
	「“リズム” はしゃべる事で手に入れよう」	高橋千佳子	18
	「創作への誘い ～自分のピアノ曲を作ってみませんか？～ －初めて曲を作る方の為の－」	喜久邦博	6
	「西洋音楽の流れを辿って」	坂崎則子	20
	「中国音楽の楽しみ方」	王 明君	17

5. 東京音楽大学付属オーケストラ・アカデミー(TCMオーケストラ・アカデミー)

オーケストラ奏者として国内外で活躍することができる力を身につけ、高度な演奏能力を持つ音楽家を育成することを目的とした、新たなオーケストラ奏者養成機関。

東京音楽大学の教授陣および国内外で活躍する演奏家・指導者による、オーケストラ実習、オーケストラスタディ実習、個人レッスン、室内楽実習、模擬オーディション、演奏会など、オーケストラ奏者としての能力向上に特化したカリキュラムを実施している。

在籍期間：1年～3年（原則最長3年間） 2025年度は31人が在籍。

6. 東京音楽大学国際青少年オーケストラ(IYO at TCM)

「IYO at TCM」は、若い音楽家たちに高いレベルの合奏トレーニングを行うことを通して、子どもたちが演奏活動や社会奉仕活動によって人間的に大きく成長する場を提供することを使命とし、2022年1月から活動。2026年春 semester(2026年1月～4月に活動)には、5つの国と地域にルーツを持つ子どもたち27名が参加しており、英語と日本語で活発な練習を実施。4月26日には、中目黒・代官山キャンパスTCMホールにてスプリングコンサートを開催。

4. SDGs

▷ SDGs推進の歩み

東京音楽大学環境方針の制定 令和4年7月12日

SDGs推進センターの発足 令和4年7月26日

SDGs推進学生委員会の発足 令和4年7月26日

SDGs推進施策の決定 令和4年9月22日

▷ 東京音楽大学環境方針

東京音楽大学は、2015年9月の国連サミットにおいて全会一致で採択されたSDGsが掲げる目標に対し、「地球上の誰一人として取り残さない（leave no one behind）」ことを目指し、教育・研究・社会貢献に係る活動において、持続可能な社会の実現に貢献します。さらに、カーボン・ニュートラル社会の形成を目指し、環境に配慮し、大学の社会的責任として環境負荷の軽減と環境汚染の予防やキャンパス環境の改善に努めます。これらのことを実現するために、次を実施して参ります。

1. 持続可能な社会の実現に係わる教育・研究を意欲的に展開し、社会が必要とする能力の高い人材を養成します。
2. SDGsが掲げる目標に対し、音楽を通じ、地域社会を含むあらゆる人々に対する教育、啓発、普及活動などに取り組みます。
3. 環境負荷の軽減等を踏まえ、環境マネジメントシステムを構築しキャンパス環境の継続的改善を図ります。
4. 環境方針をすべての構成員に周知し、実行するとともに、その結果を広く一般にも公開します。

▷ 2025年度の活動

① 「演奏会での標準的なSDGsの取組」

令和4年9月22日(木)に発表した、「本学の学生・教職員が演奏会の際に、SDGsの3番(健康・安らぎ)、4番(生涯学習)、10番(平等)、11番(まちづくり)、16番(平和)、17番(パートナーシップ)の6つの目標を意識して活動すること」を踏まえ、本学主催演奏会のチラシにこのことを掲載している。

② 「電気貯金」ポスターの掲示

令和7年3月4日(火)開催のSDGs推進センター会議において、昨年度に引き続き「教養演習」で行われた学生の省エネ活動への提案について審議し、「電気貯金」のポスターを教室に掲示した。

③ 備蓄品(東京都寄贈)の学内配布 令和7年4月21日(月)～24日(木)

令和5年度から、東京都で管理している賞味期限間近の備蓄品を寄贈して貰い、学生・教職員に配布した。

④ ペットボトルキャップ回収活動への参加

シャカカチDAY(三井住友銀行)における活動に参加し、世界のこども65人分のワクチンに相当する量(全体で130.2kg)を回収し、感謝状を受領した。

⑤ 目黒川クリーンアップ大作戦 令和7年7月11日(金)・12月12日(日)・令和8年3月13日(金)

「目黒川上中流の会」事務局が主催し、目黒区が共催する「目黒川クリーンアップ大作戦」(年3回実施)に、令和5年7月7日(金)から、学生・教職員で参加している。

1. 国際交流

2025年度 協定校

国名	学校名
イギリス	王立バーミンガム音楽院
	ハダースフィールド大学
	ギルドホール音楽院
	サセックス大学
オーストリア	ザルツブルク・モーツァルテウム大学
ドイツ	ハノーファー音楽・演劇メディア大学
	ミュンヘン音楽・演劇大学※1
フランス	エコールノルマル音楽院
スイス	チューリッヒ芸術大学
スペイン	リセウ高等音楽院
ポーランド	ショパン音楽大学
ハンガリー	リスト音楽院
フィンランド	シベリウス・アカデミー
ロシア	モスクワ音楽院
ジョージア	トビリシ国立音楽院※2
インドネシア	インドネシア芸術大学ジョグジャカルタ校
	インドネシア芸術大学スラカルタ校

※1 学術協力協定・学生交流協定締結（二年間の試行期間）

※2 学術協力協定・学生交流協定締結

国際交流演奏会 2025

11月1日	芸術祭「交換留学生ミニコンサート」 マリオナ・ソコロ・マルティネス（ギター専攻） ガラ・セン・ヒル・コンチェス（ヴィオラ専攻）	クリエイティヴ・ラボ
11月26日	「交換留学生ピアノリサイタル」レティシア・ハーン	TCMホール
11月28日	邦楽演奏会「交換留学生と仲間たち」 ガラ・セン・ヒル・コンチェス レティシア・ハーン	アンサンブル室
1月17日	ヨーロッパ研修旅行2023 メンバー有志によるコンサート	Bスタジオ

1. 国際交流

海外演奏旅行

1978年	管弦楽団・吹奏楽団「創立70周年記念アメリカ親善演奏旅行」 ロサンゼルス／アリゾナ／オレゴン／サクラメント（指揮：森正）
1979年	管弦楽団・吹奏楽団「中国親善演奏旅行」 北京／杭州／上海（指揮：森正）
1981年	管弦楽団・吹奏楽団「東西ドイツ演奏旅行」 カール・マルクス・シュタット／ゲーラ／ベルリン／ボン（指揮：森正）
1983年	管弦楽団・吹奏楽団「オーストリア・ハンガリー演奏旅行」 リンツ／ウィーン／ブダペスト／デブレゼン（指揮：森正）
1984年	管弦楽団「東西ドイツ演奏旅行」 シュタスフルト／西ベルリン／ライプツィヒ／ドレスデン／イエナ／ワイマール／東ベルリン／ホイエルスヴェルダ（指揮：オラフ・コッホ）
1988年	合唱団「ハンガリー・オランダ演奏旅行」 ブダペスト／アムステルダム（指揮：小林研一郎）
1993年	シンフォニーオーケストラ「アメリカ演奏旅行」 シカゴ／ニューヨーク／ワシントンD.C.（指揮：広上淳一）
1998年	合唱団・ピアノ協奏曲ソリスト「オランダ演奏旅行」 ユトレヒト／アムステルダム（指揮：小林研一郎）
2000年	室内楽アンサンブル「ドイツ・オーストリア演奏旅行」 ハノーファー／ベルリン／ケルン／ザルツブルク（指揮：西村朗）
2009年	シンフォニーオーケストラ「ドイツ・チェコ・オーストリア演奏旅行」 ミュンヘン／プラハ／バンベルク／ウィーン（指揮：広上淳一）
2011年	吹奏楽「台湾演奏旅行」 台北／台中／高雄（指揮：汐澤安彦）
2012年	シンフォニーオーケストラ「チェコ・ハンガリー・オーストリア演奏旅行」 テプリツェ／プラハ／ブダペスト／グラーツ（指揮：小林研一郎）

バイエルン州立青少年オーケストラ 合宿・演奏会派遣学生数

楽器	2016		2017		2018		2019		2022		2023		2024		2025		合計
	夏	冬	夏	冬	夏*	冬	夏	冬	夏	冬	夏	冬	夏	冬	夏	夏	
ヴァイオリン	3	1	1	1		1	1	1	1	1	1	4	1				17
ヴィオラ	3	3	1	2		3	3	3	4	3	4	1					30
チェロ		1		1		1	1		1			2				1	8
コントラバス	2	2		1		1	1		2	2	1		1			3	16
指揮の勉強			1														1
合計	8	7	3	5		6	6	4	8	6	6	7	2		4		72

* 2018年夏期は、大学の授業と重なった為、派遣を中止。2020,21は派遣無し。2024年冬は受入無し。

2. 派遣留学生

短期留学奨学生数 2016～2025

	2016	2017	2018	2019	2020	2021	2022	2023	2024	2025	計	声楽	ピアノ	弦	管打	作曲
モーツァルテウム音楽大学 夏期国際音楽アカデミー	8										8	2	2	1	3	
モーツァルトテウム音楽大学									1		1	1				
シベリウス音楽院	1		2	1					1		5		3(1)	1	1	
英国国立音楽院	1	1	1								3		3(1)			
ギルドホール音楽演劇学校	2	4	6	6			7	6	3	2	36	14	16(1)	5		1
ハノーファー音楽演劇メディア大学	1	2	1	1			1	1	1	1	9		8(2)	1		
リュエイク＝マルメゾン地方音楽院	1	2	1								4				4	
リスト音楽院			2	2				1	1		6		6			
ローマ・サンタチェーリア音楽院		2	5								7	7				
Folkwang芸術大学		1									1		1			
国際・ホルンターゲ		2		2							4				4	
国際アンサンブル・モデルン・アカデミー		3	1								4					4
サセックス大学			2								2		1(1)	1(1)		
中国中央音楽院			1								1					1
リセウ高等音楽院				1			1	1	1	1	5	2	2	1		
シヨパン音楽大学				1			1	1	1		4		4			
ロイヤルバーミンガム音楽院				1							1				1(1)	
モスクワ音楽院				1							1		1			
ハダースフィールド大学				2							2		1(1)		1(1)	
アジアアートアンサンブル								1		1	2					2
インドネシア国立芸術大学				3							3				2	1
年度別合計	14	17	22	21	0	0	10	11	9	5	109	26	48	10	16	9

()内はミュージック・リベラルアーツ専攻生。

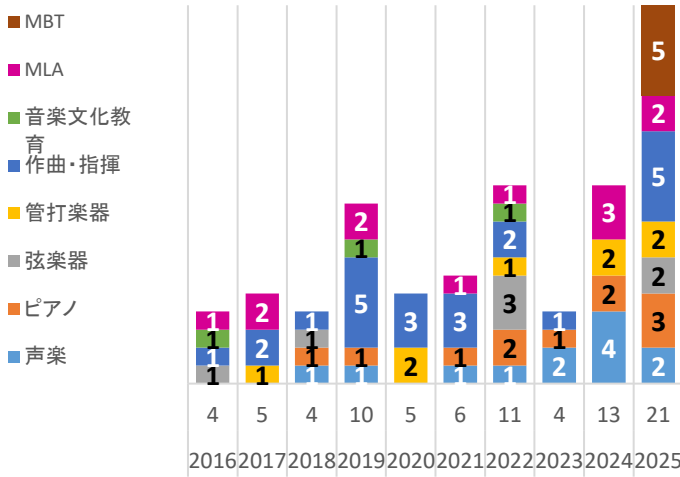
3. 受入留学生(交換留学生)

年度	提携学校名	専門	人数
2016	シベリウス・アカデミー	作曲	1
2016	シベリウス・アカデミー	民族音楽	1
2017	モーツァルトテウム大学	ヴィオラ	1
2017	リスト音楽院	ピアノ	1
2018	リスト音楽院	民族音楽	1
2019	シベリウス・アカデミー	ピアノ	1
2019	リセウ音楽院	ピアノ	1
2019	リセウ音楽院	ギター	1
2022	バーミンガム音楽院	MLA作曲	1
2022	シベリウス・アカデミー	コントラバス	1
2023	シベリウス・アカデミー	ピアノ	2
2023	リスト音楽院	ヴァイオリン	1

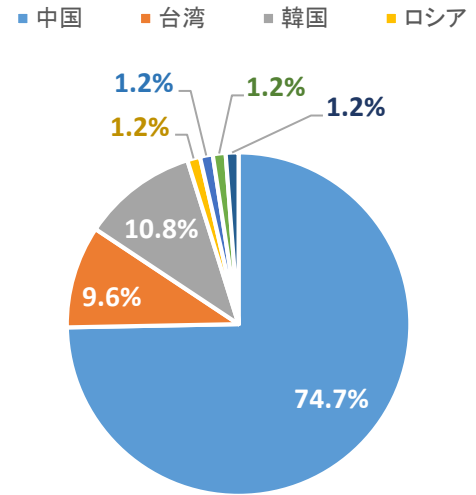
年度	提携学校名	専門	人数
2023	リスト音楽院	作曲	1
2024	シベリウス・アカデミー	ピアノ	1
2024	リスト音楽院	作曲	1
2024	リセウ音楽院	ギター	1
2024	リセウ音楽院	ヴィオラ	1
2024	バーミンガム音楽院	MLA作曲	1
2025	リセウ音楽院	ヴィオラ	1
2025	リセウ音楽院	ギター	1
2025	ハダースフィールド大学	ハーブ	1
2025	ハノーファー音楽演劇 メディア大学	ピアノ	1

3. 受入留学生

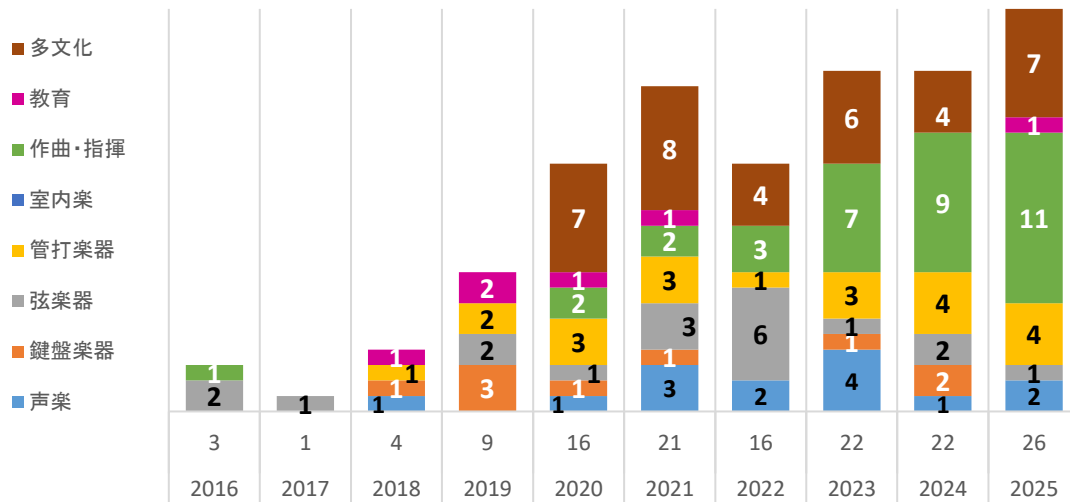
留学生入学者数(学部)



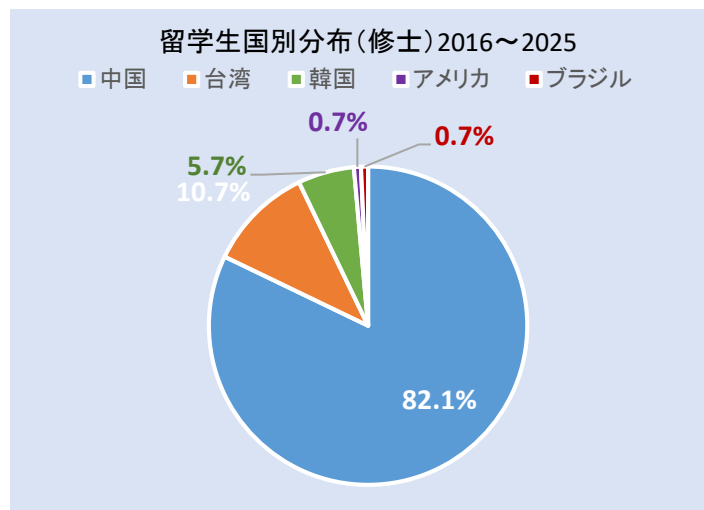
留学生・国籍分布(学部)2016~2025



留学生入学者数(修士)

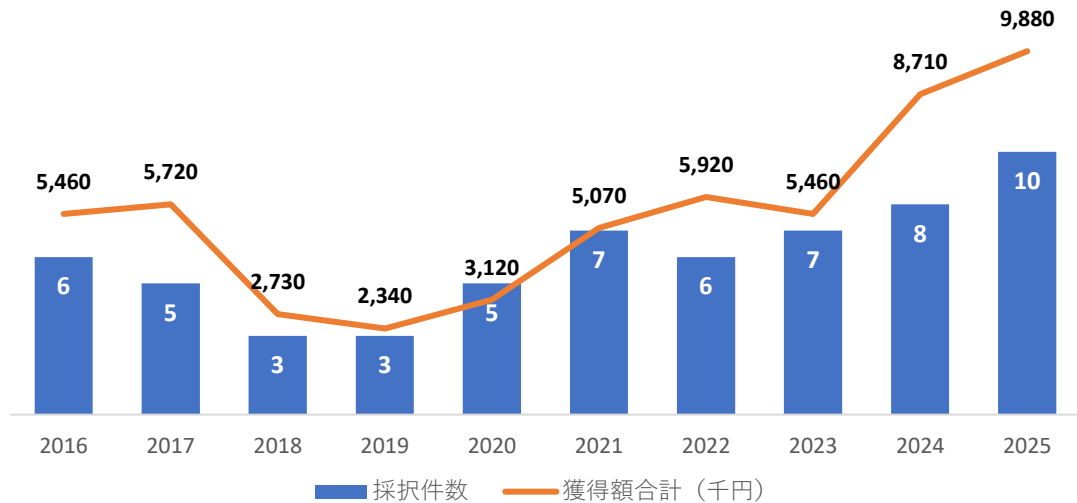


留学生国別分布(修士)2016~2025



1. 研究助成金等

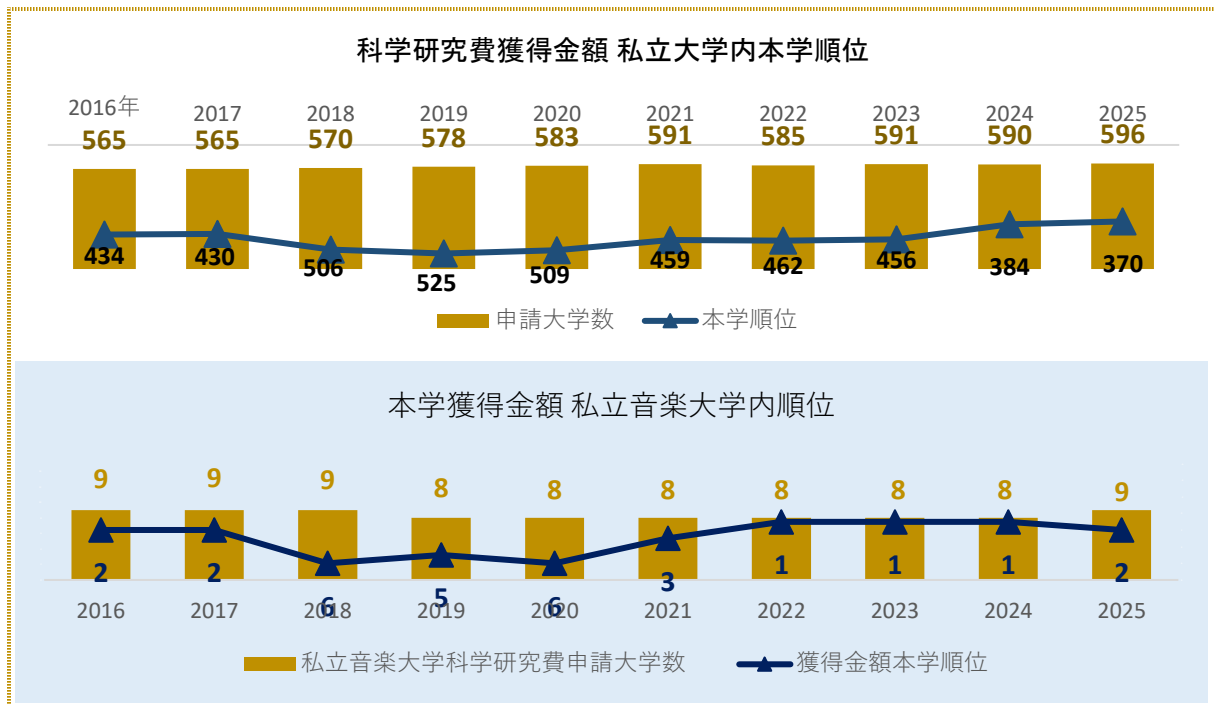
科学研究費採択件数・獲得金額の推移



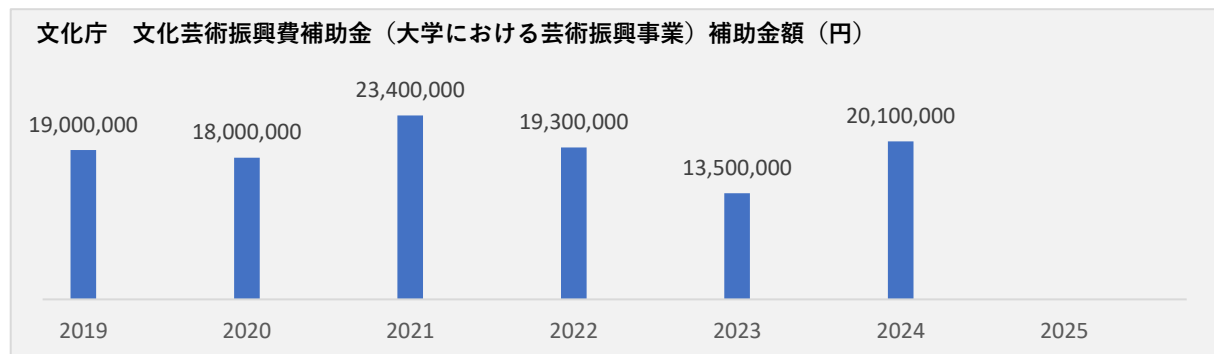
年度	研究代表者	研究課題
2021～2025	太田 暁子	女流義太夫に関する音楽学的基礎研究
2022～2025	武石 みどり	洋楽合奏から交響楽へ ― 明治末期～昭和初期の洋楽受容史再考
2024～2028	福田 裕美	民俗芸能の伝承コミュニティと社会包摂機能に着目したアートマネジメント論の構築
2024～2028	石川 晃士郎	音楽大学におけるアントレプレナーシップ教育の有効性
2024～2026	大竹 紀子	ヘンリー・カウエルに観るアメリカ20世紀前衛音楽と日本人
2024～2026	小日向 英俊	アートマネジメントでつなぐ在日移民コミュニティ-インド・中国・ブラジル
2025～2027	太田 暁子	義太夫節の伝承基盤としての浄瑠璃本（抜き本）に関する音楽学と文献学の基礎的研究
2025～2029	早坂 牧子	三浦環データベースの構築と活用：音楽科研究・地域の音楽振興連携の実践的研究
2023～2027	千葉 伸彦	アイヌ伝統音楽のソーシャルメディアを利用した新たな教授法
2025～2027	河内 春香	舞踏の地方公演がオーケストラ音楽の受容に果たした役割
2025～2028	中川 麗子	モーツァルトのイタリア・オペラにおけるアッコムパニャートの音楽的特徴
2024～2025	保崎 佑	モルツィン伯爵に仕えたアントニン・ライヒェナウアーの協奏曲の様式
2025～2026	山本 澄奈	モーツァルトのアリアにみる声の専門性

研究

1. 研究助成金等



※私立大学等順位は教育学術新聞より。



2019～2021年度

日本とアジアの伝統音楽・芸能のためのアートマネジメント人材育成

～「伝統×伝統」、「伝統×現代」、「伝統×地域」のクロスオーバーによる新たな価値の創出を目指して～

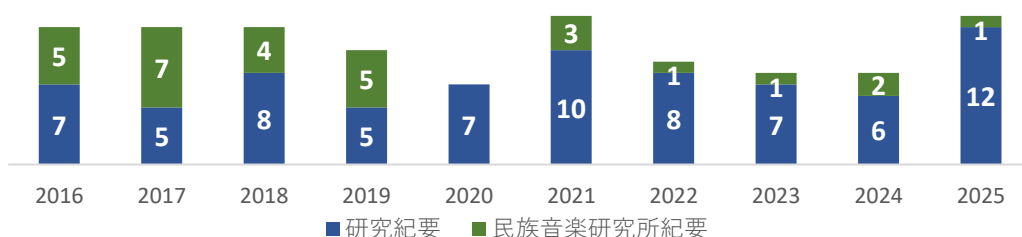
2022年度～ 2024年度

伝承を担うフィールドからまなび、とものつくり、地球へつなぐアートマネジメント人材育成

—伝統音楽・芸能の地域レガシーによる新たな価値創出を目指して— ※2025年度の申請はありません。

2. リポジット

研究紀要掲載論文数



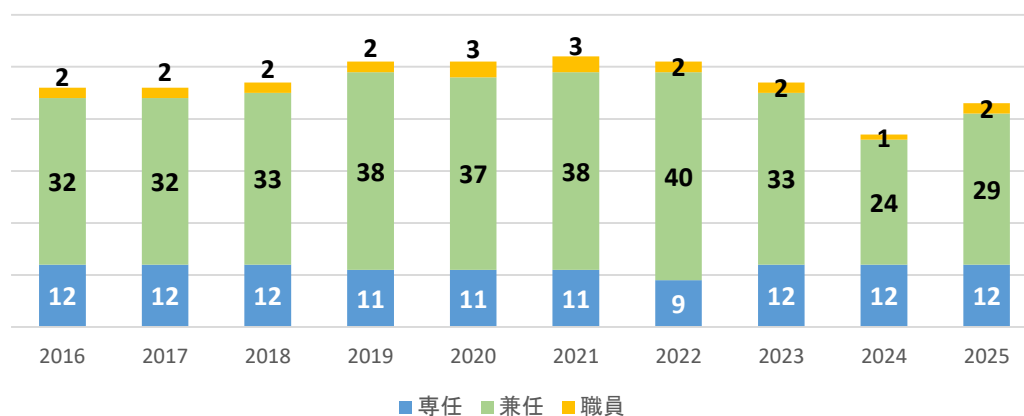
Ⅱ. 付属高等学校

1. 沿革

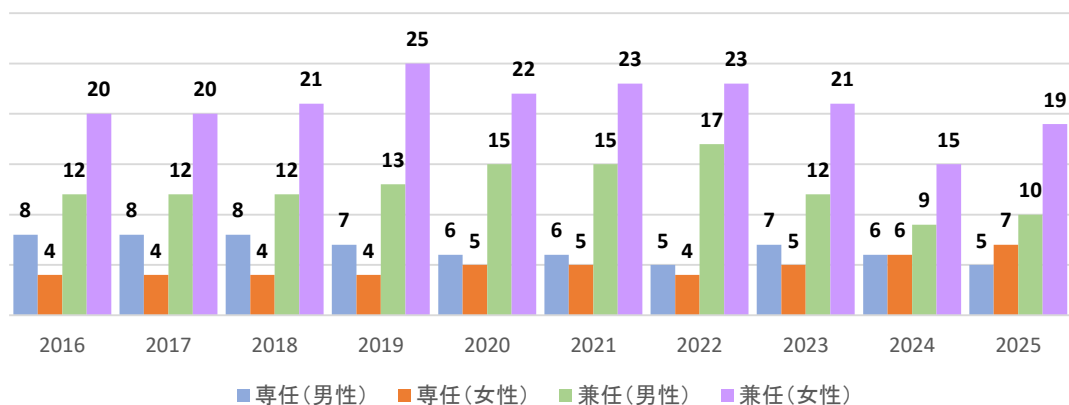
1932年	東洋音楽学校普通科設立
1943年	東洋高等実業女学校開設
1949年	東洋高等学校(音楽科)開設
1963年	大学設置に伴い東洋音楽大学付属高等学校に改称
1969年	東京音楽大学付属高等学校と改称
1977年	文京区関口に移転
2004年	音楽総合コース開設
2021年	豊島区雑司が谷(東京音楽大学池袋キャンパスJ館)に移転

2. 教職員数

教職員数推移

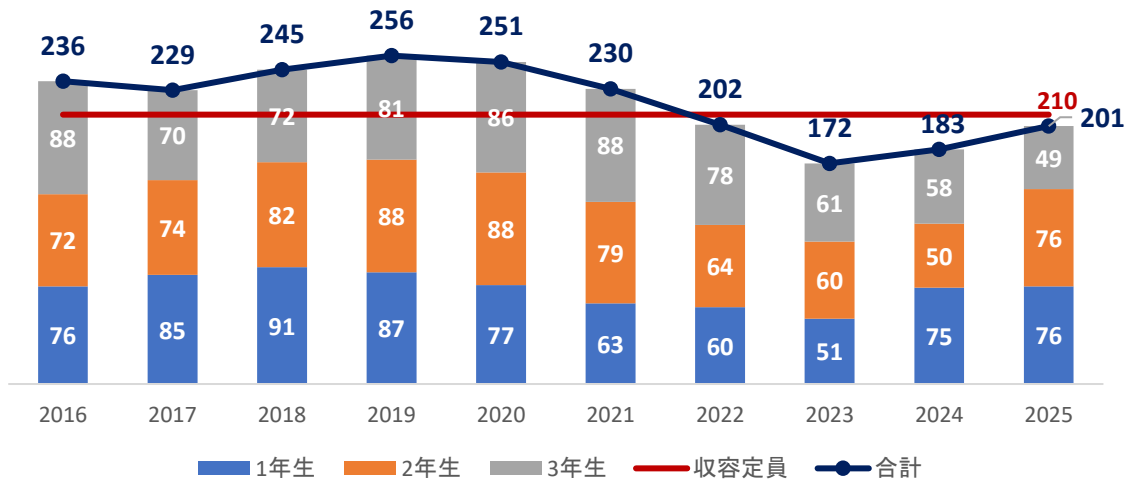


教員数男女比

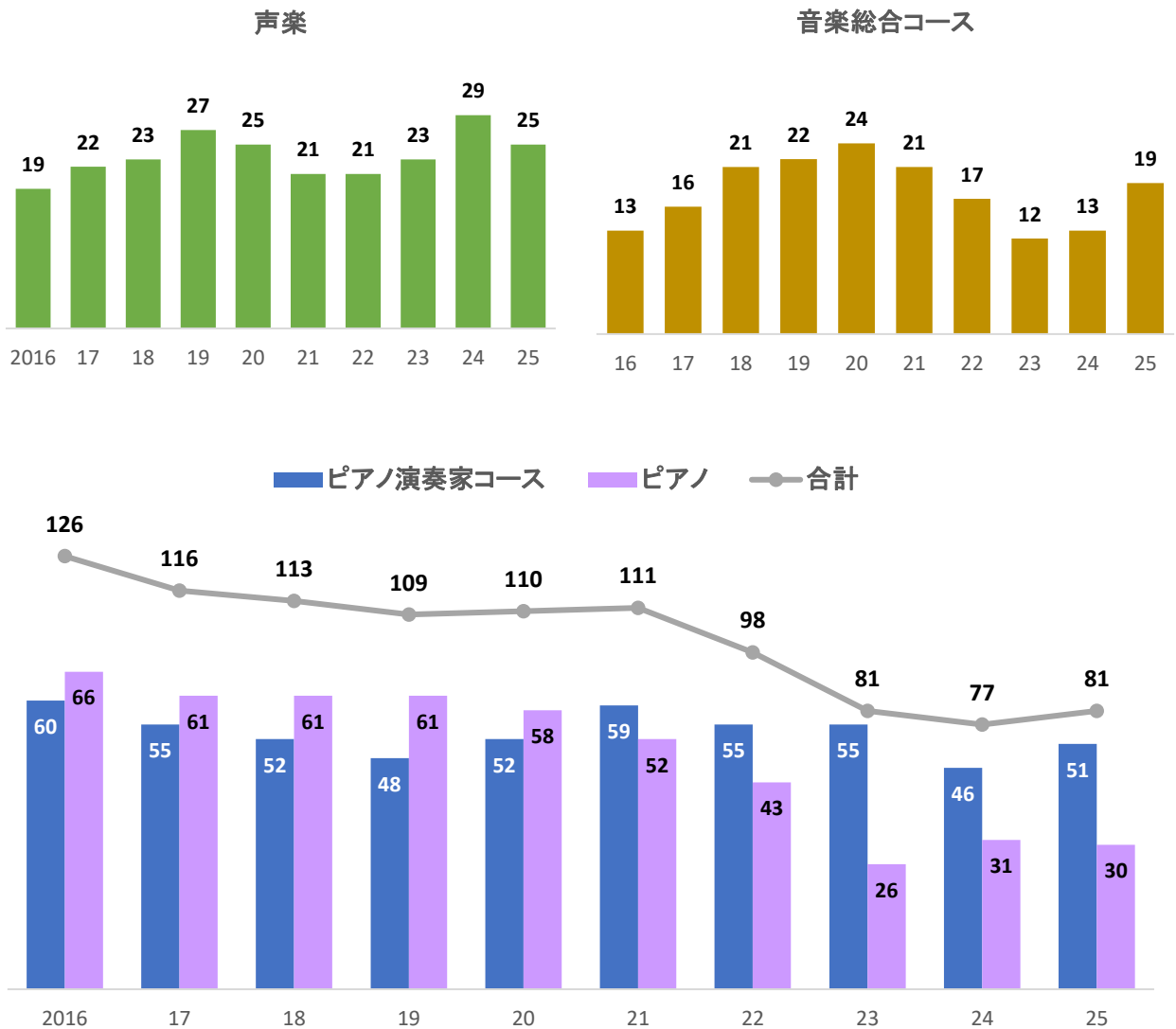


3. 生徒数

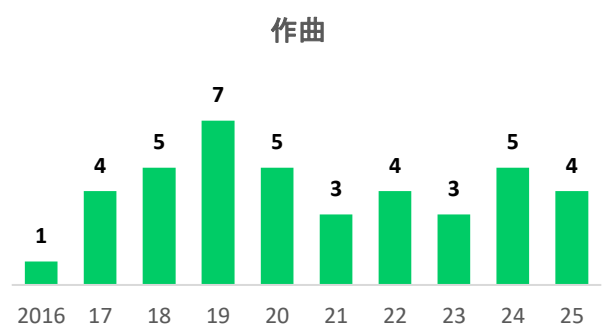
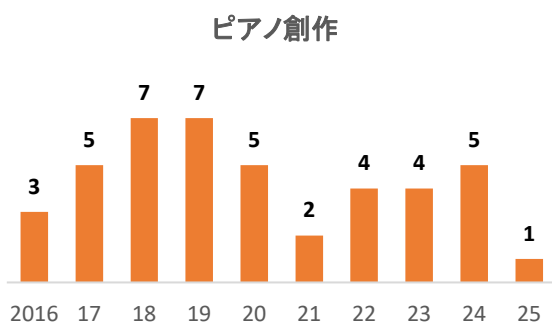
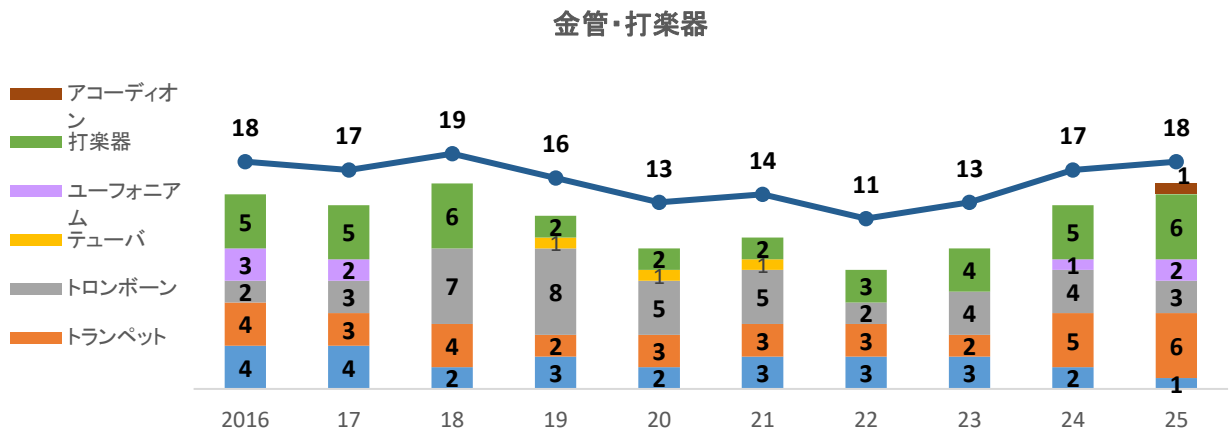
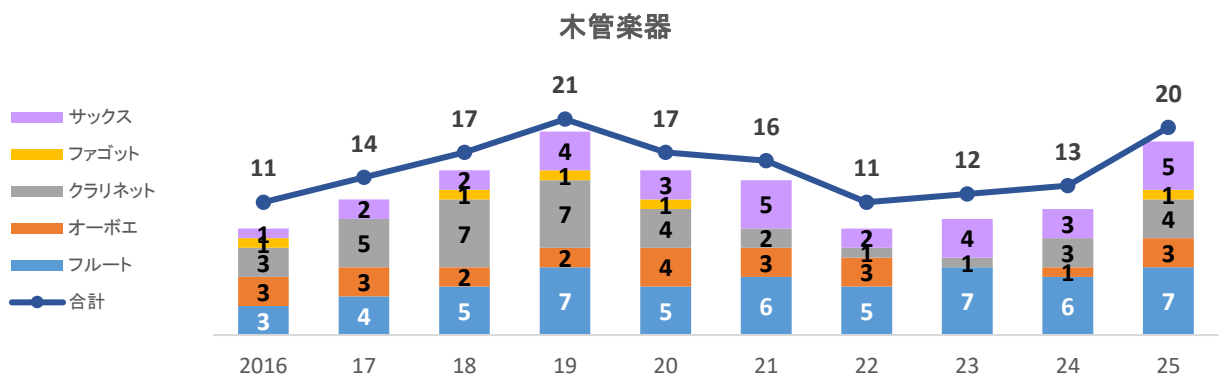
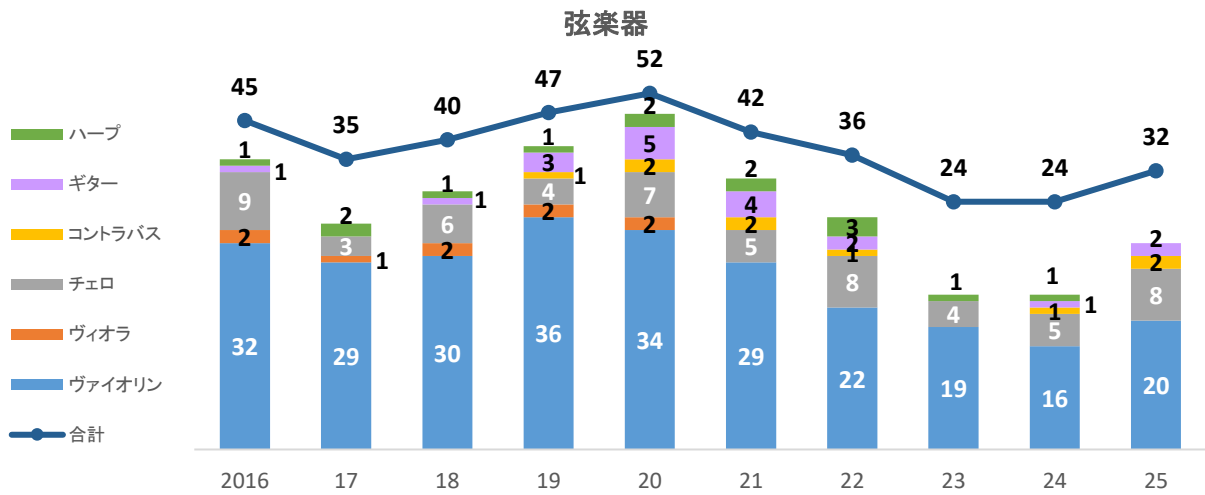
附属高等学校在籍生数推移



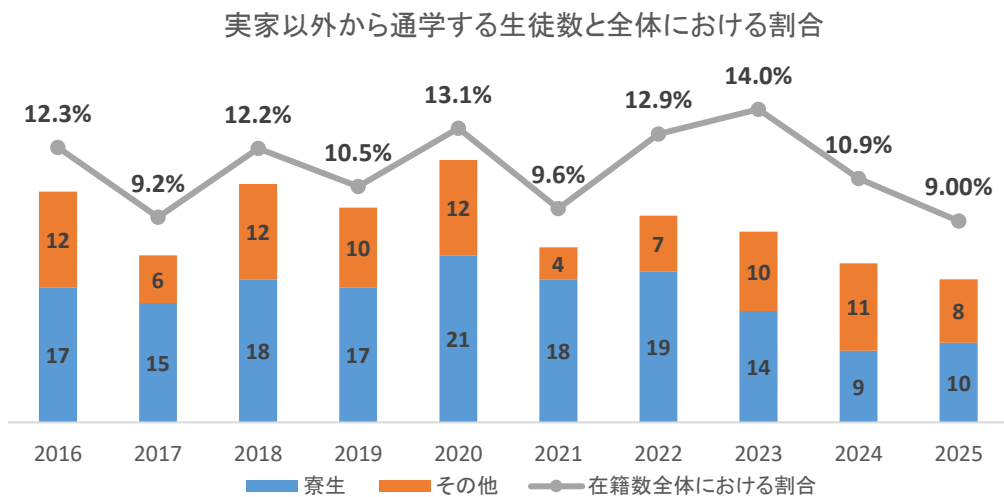
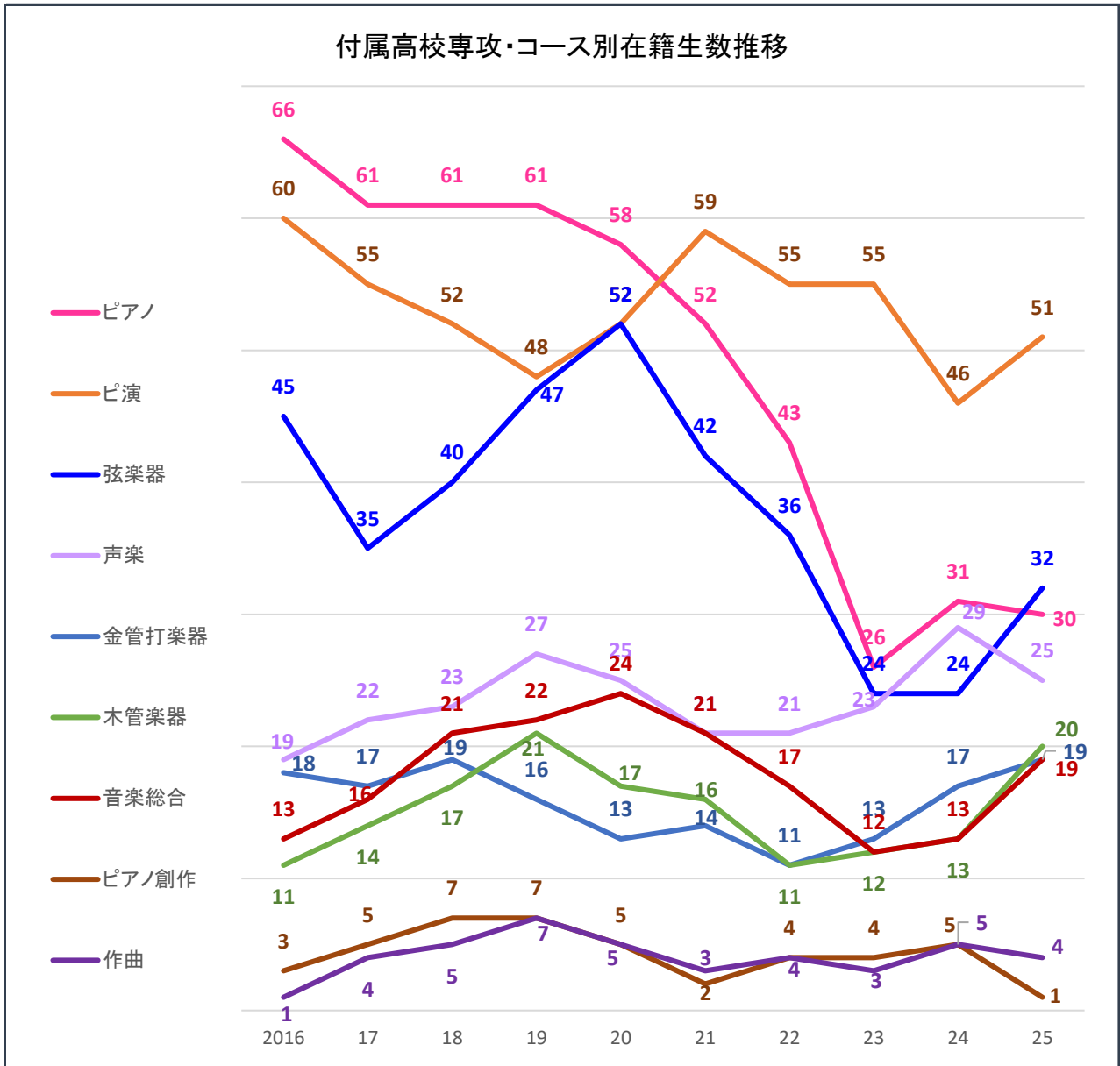
専攻・コース・楽器別在籍数推移



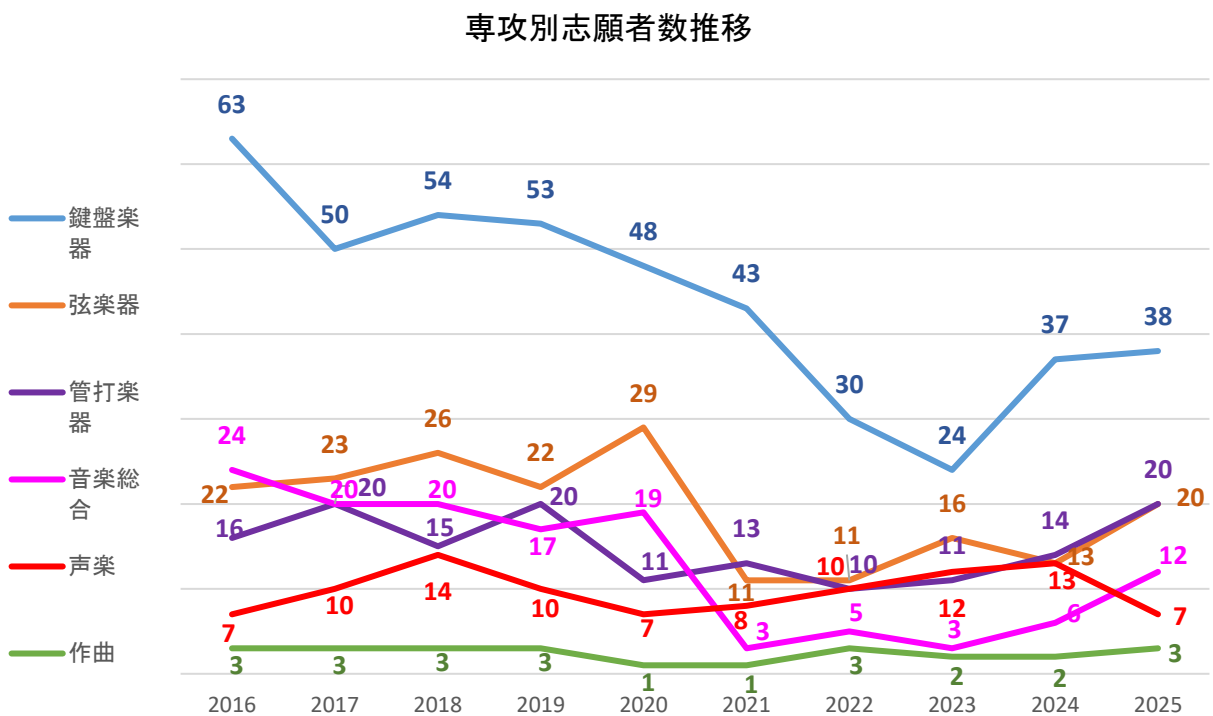
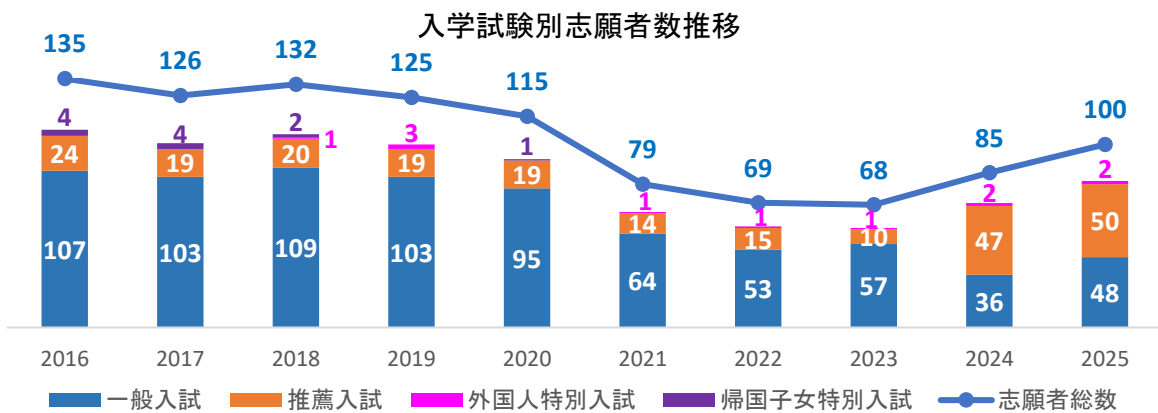
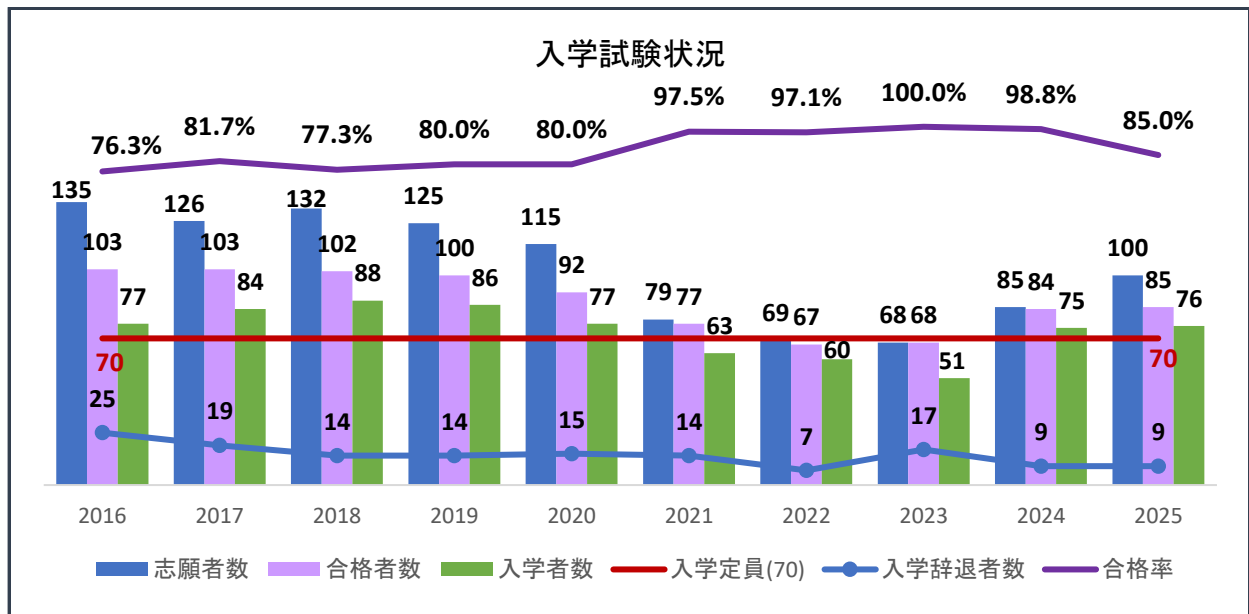
3. 生徒数



3. 生徒数

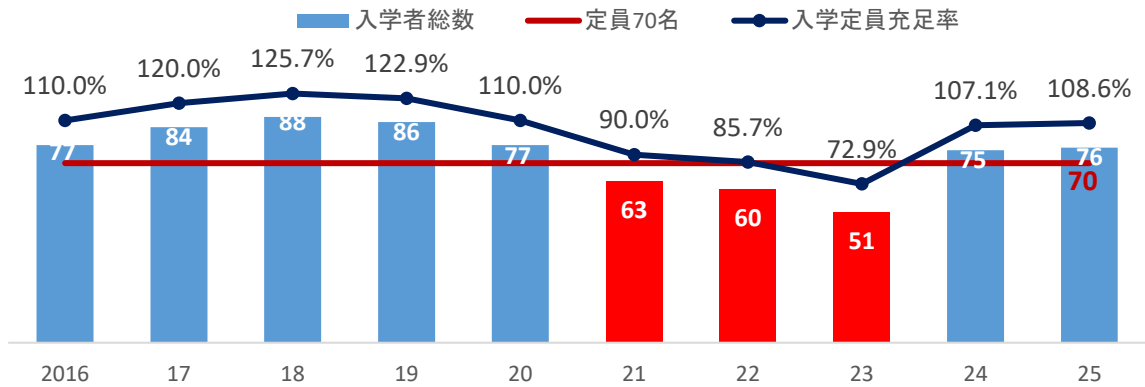


4. 入試・入学状況

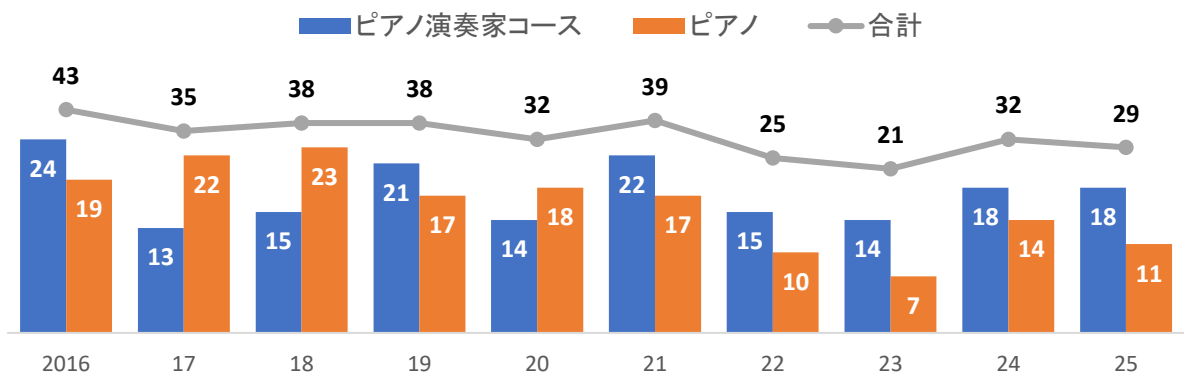


4. 入試・入学状況

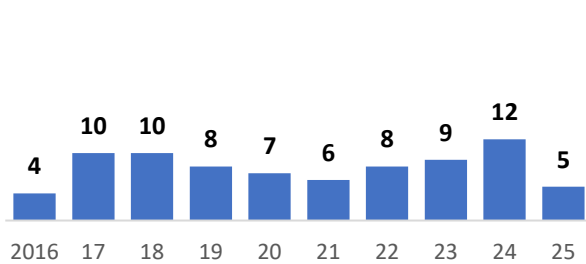
入学者数推移



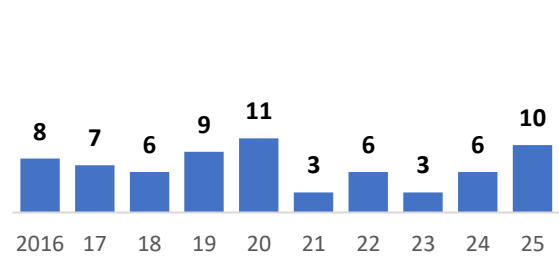
専攻・コース・楽器別入学者数推移



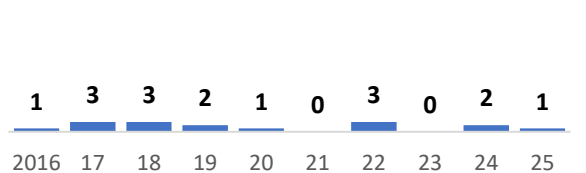
声楽



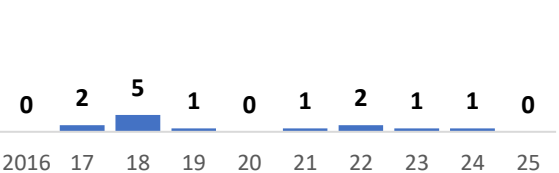
音楽総合コース



作曲

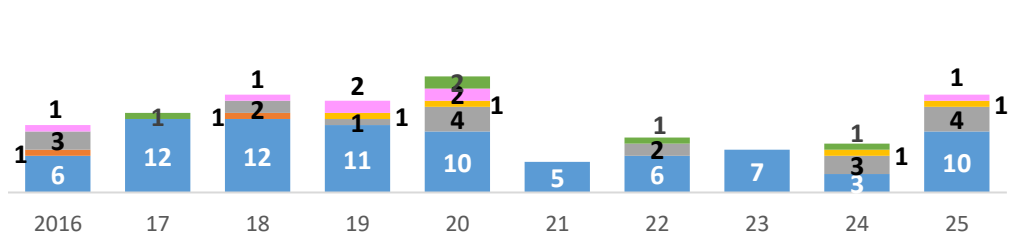


ピアノ創作



弦楽器

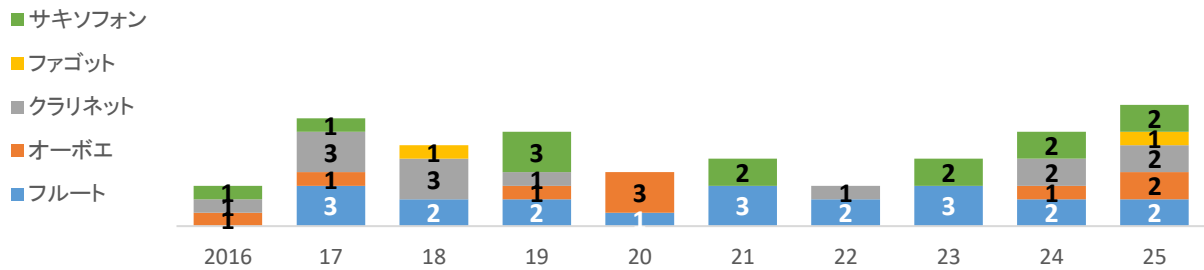
- ハープ
- ギター
- コントラバス
- チェロ
- ヴィオラ
- ヴァイオリン



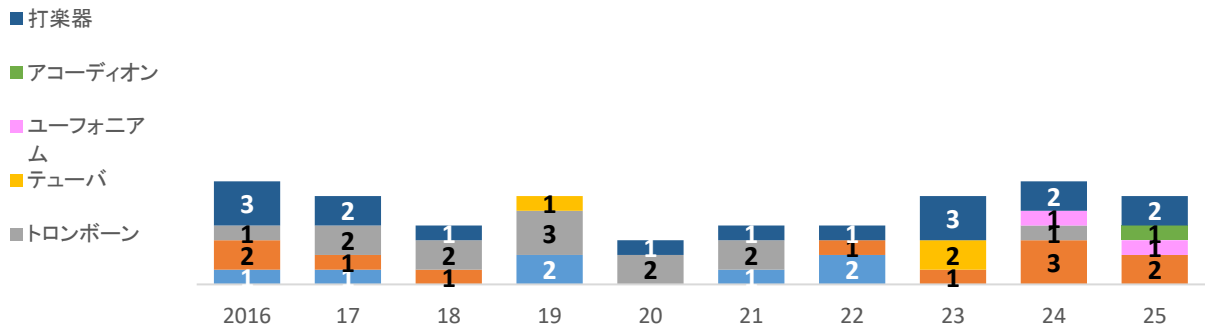
4. 入試・入学状況

専攻・コース・楽器別入学者数推移

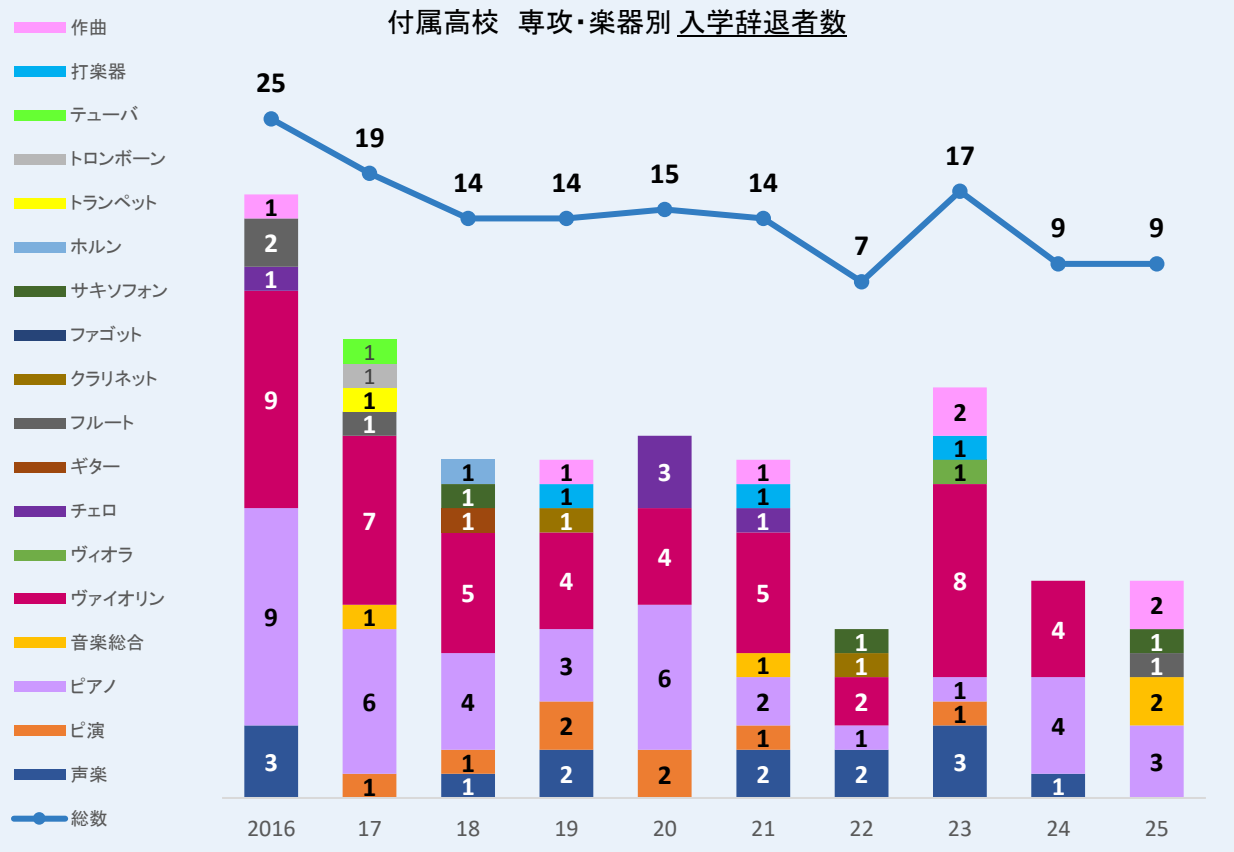
木管楽器



金管・打楽器



付属高校 専攻・楽器別 入学辞退者数

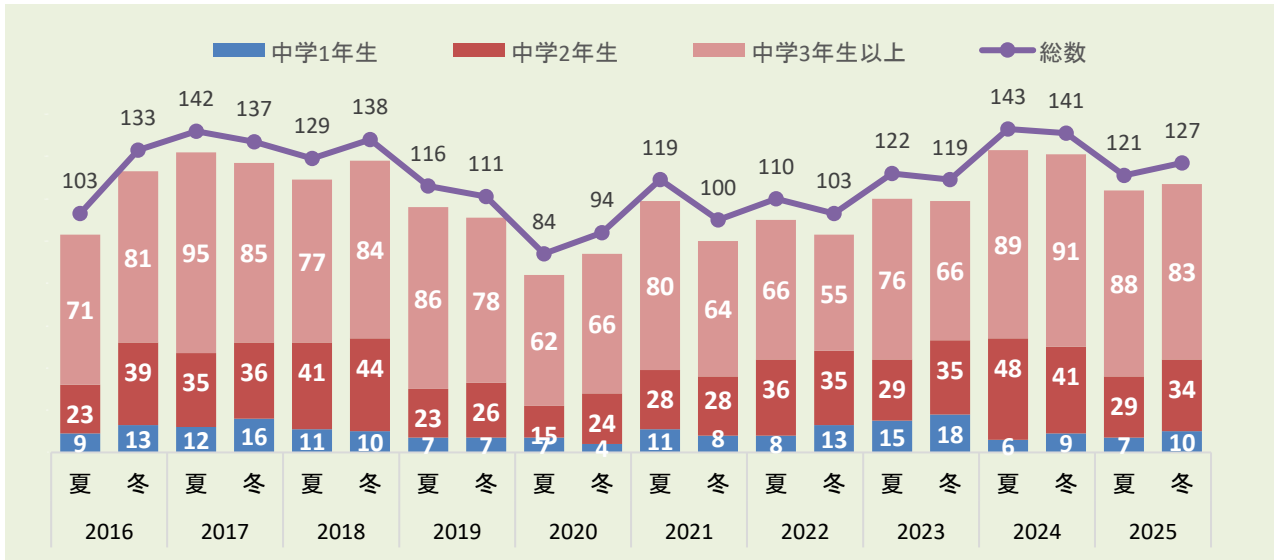


入学辞退者の楽器別割合 2016～2025

ピアノ	27.1%	声楽	9.7%	作曲	4.90%
ヴァイオリン	33.30%	ピアノ演奏家コース	5.6%	その他	19.4%

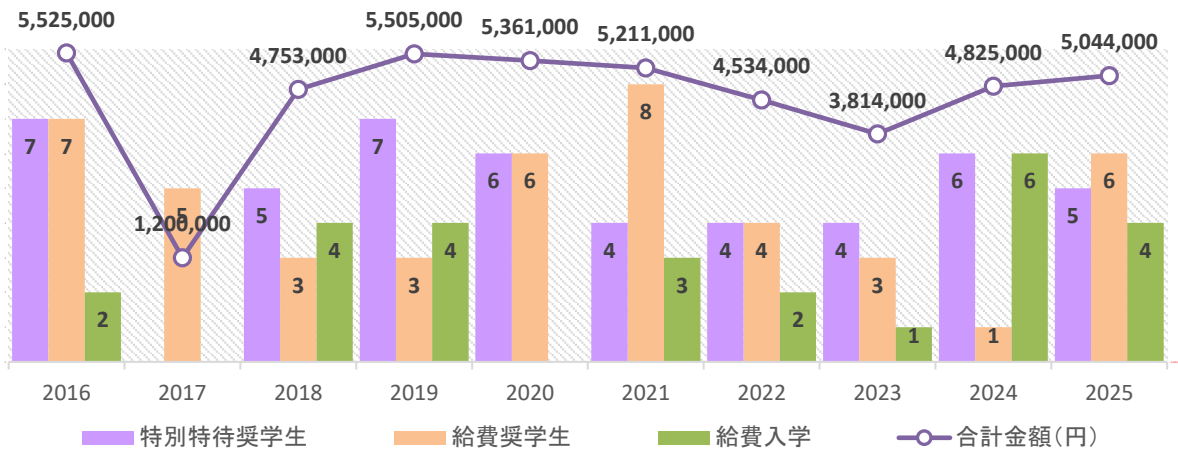
4. 入試・入学状況 (講習会参加者数)

夏期・冬期講習会参加者数



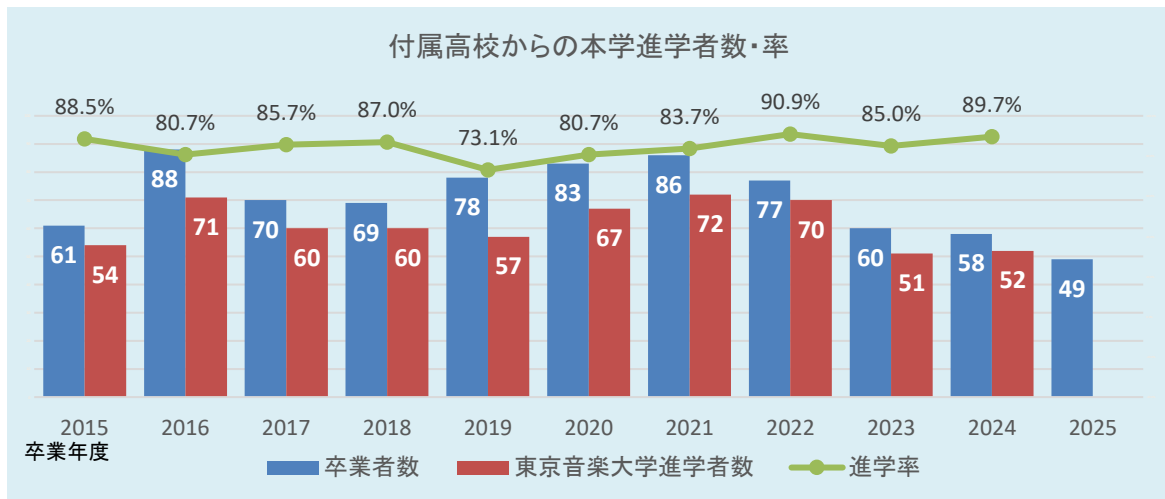
奨学金

各種奨学金受給者数・受給総額

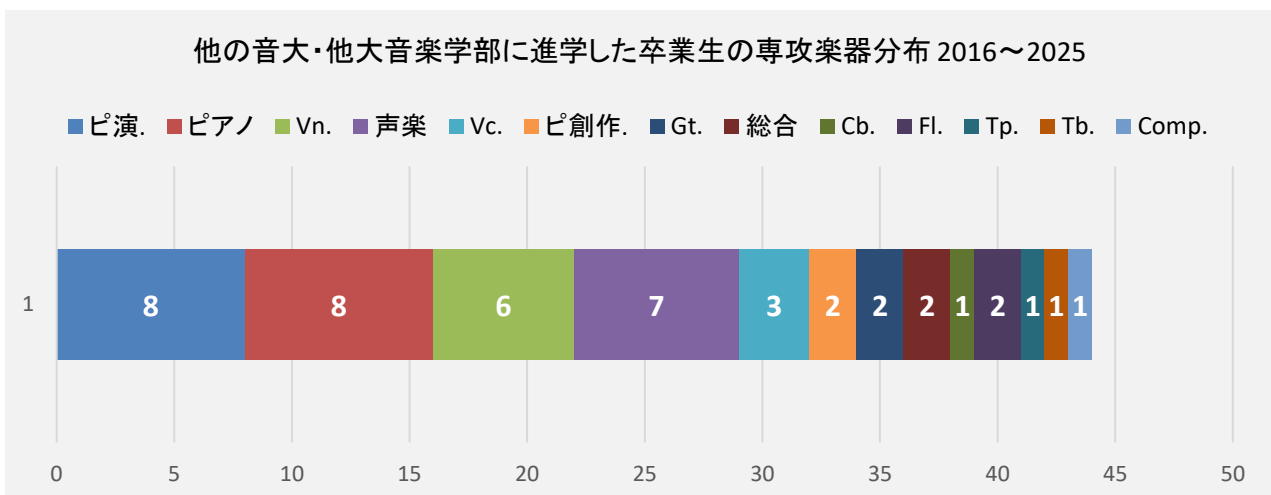
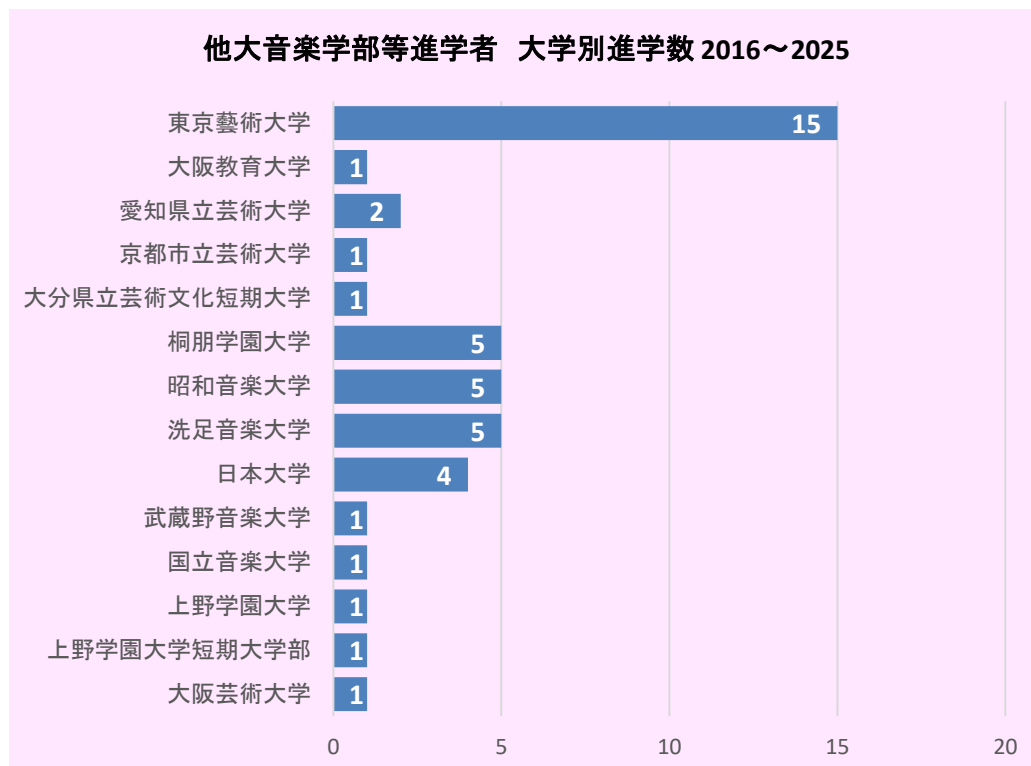
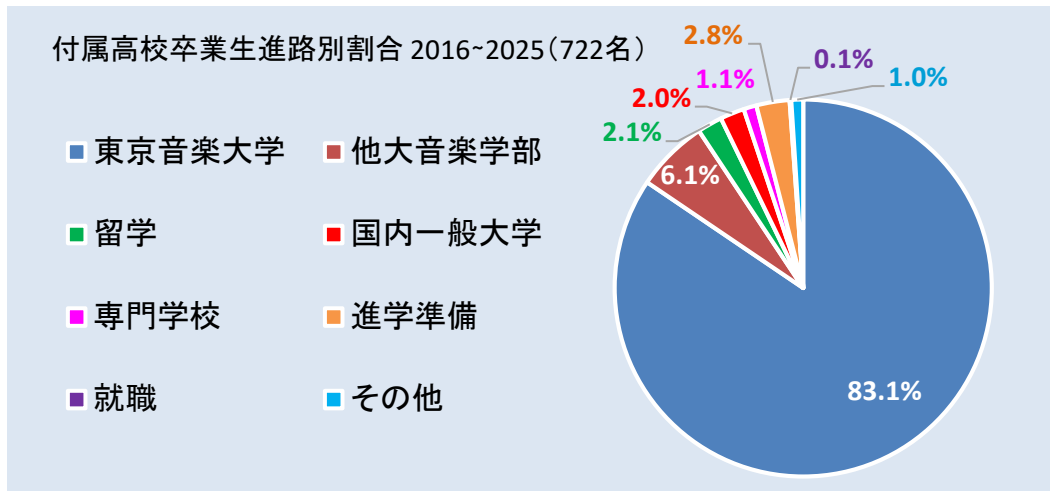


5. 卒業・進路

付属高校からの本学進学者数・率

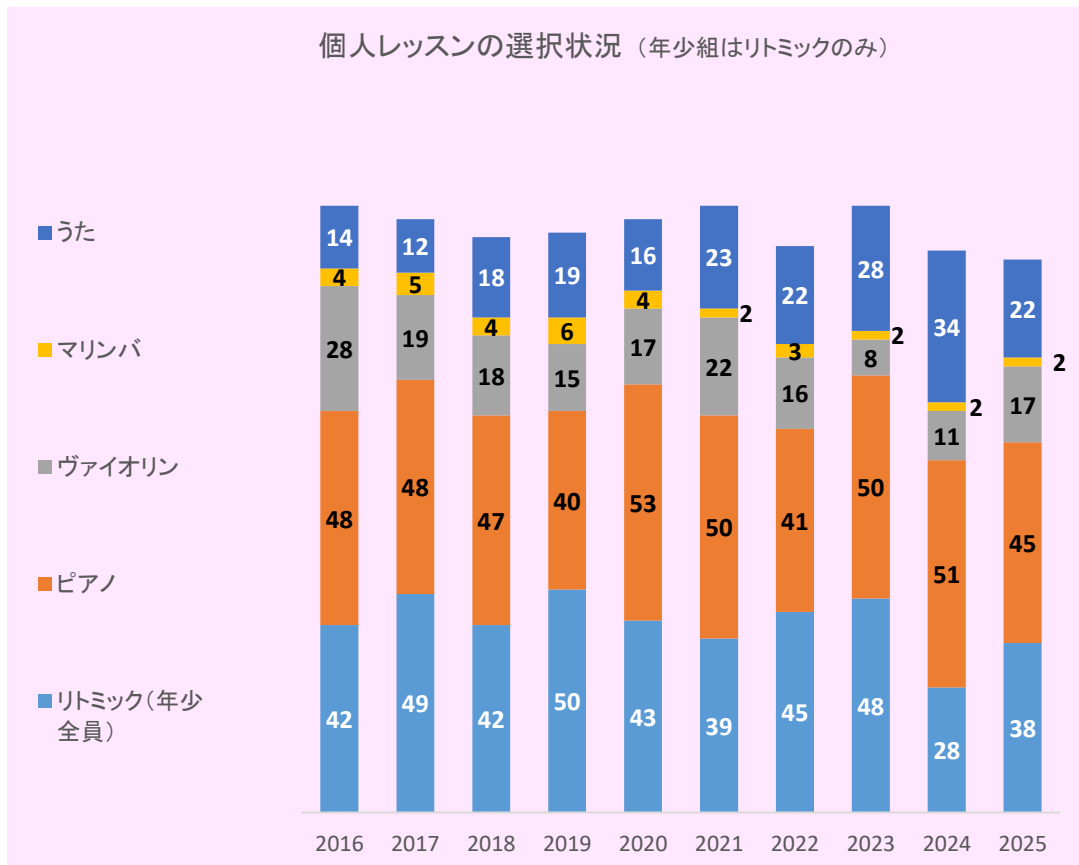
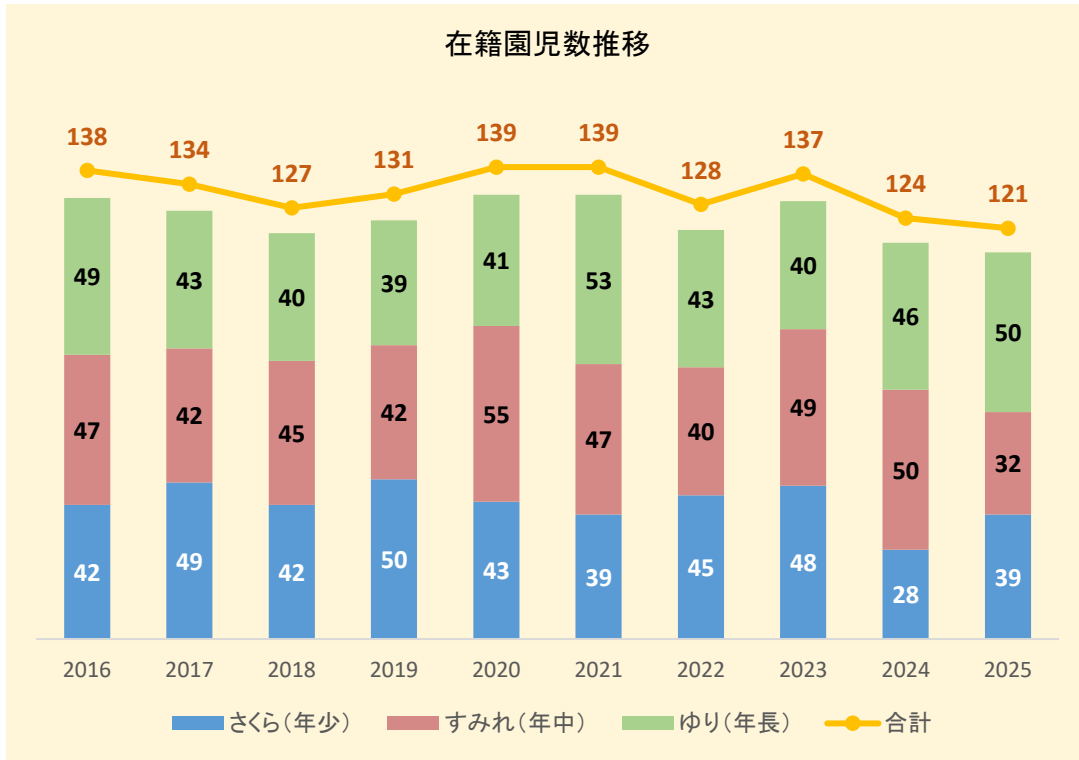


5. 卒業・進路



Ⅲ. 付属幼稚園

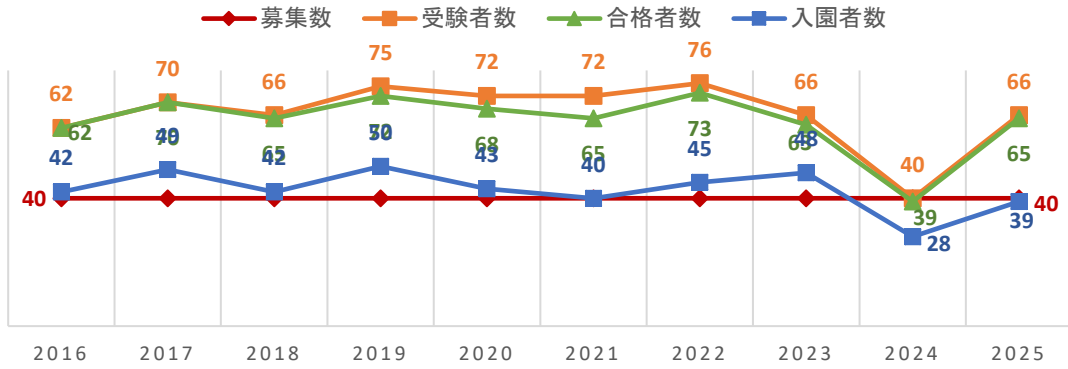
1. 園児数



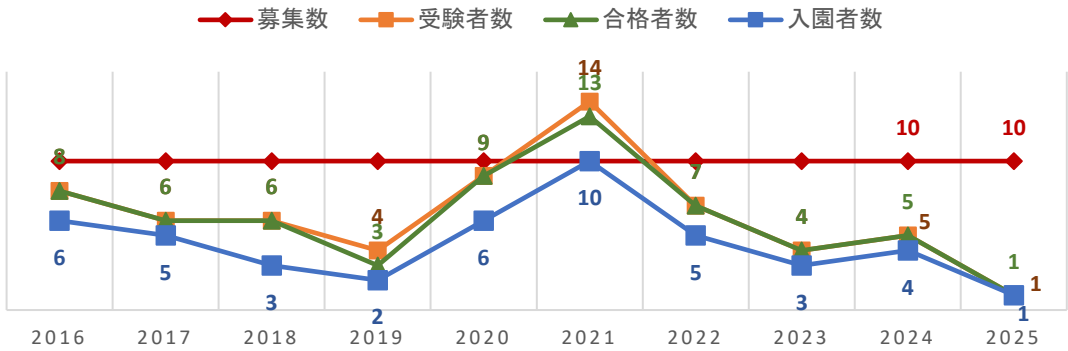
※ 個人レッスンは年中組から選択できる。2025年度は複数選択者4名を含む。

2. 入試・入園状況

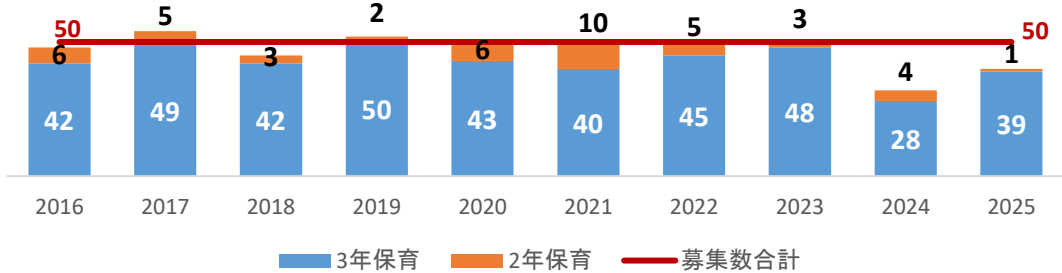
3年保育(年少)入園状況



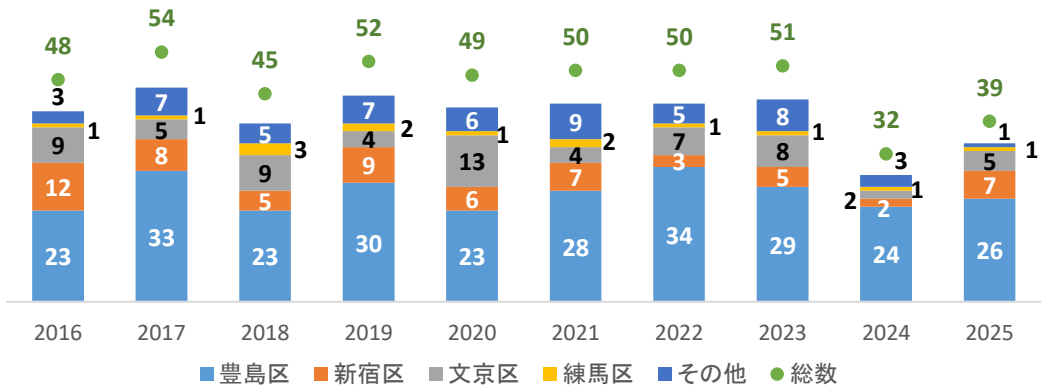
2年保育(年中)入園状況



募集数・入園者数推移

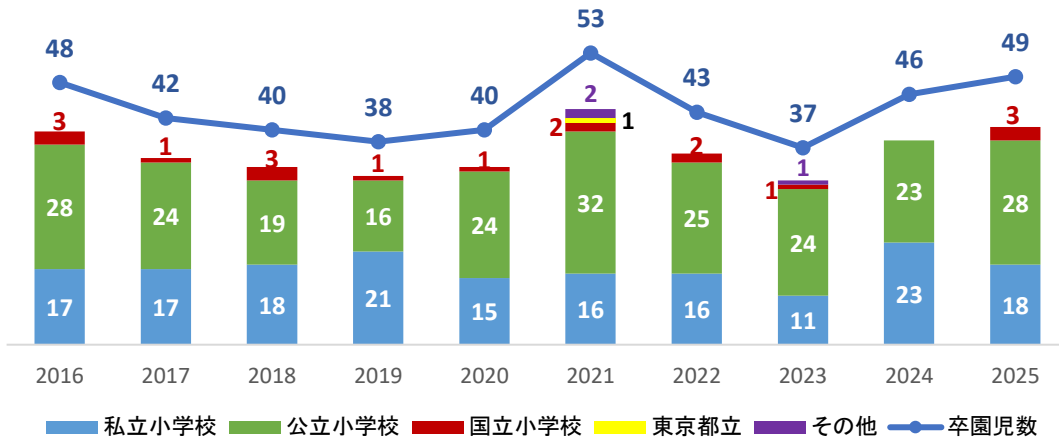


居住地別入園者数推移



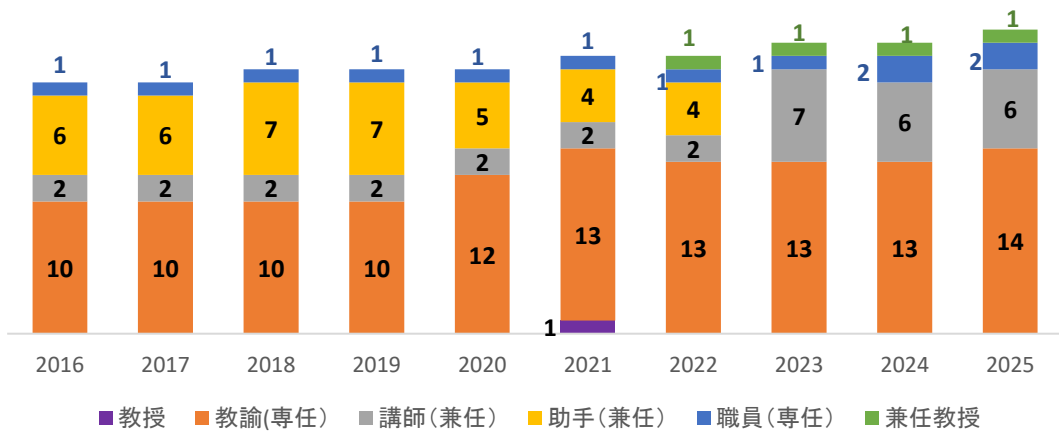
3. 卒園・進路

卒園者数・進路



4. 教職員数

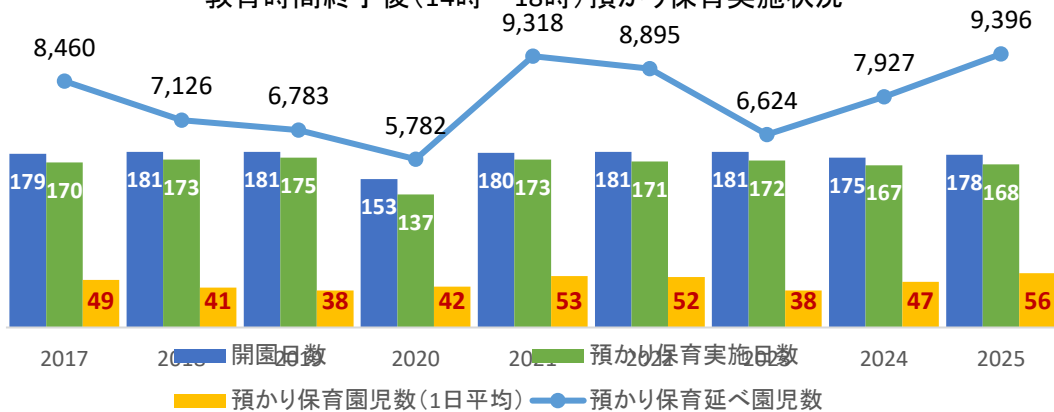
幼稚園教職員数推移



預かり保育

2017年度より教育時間終了後の預かり保育を実施している。

教育時間終了後(14時～18時)預かり保育実施状況



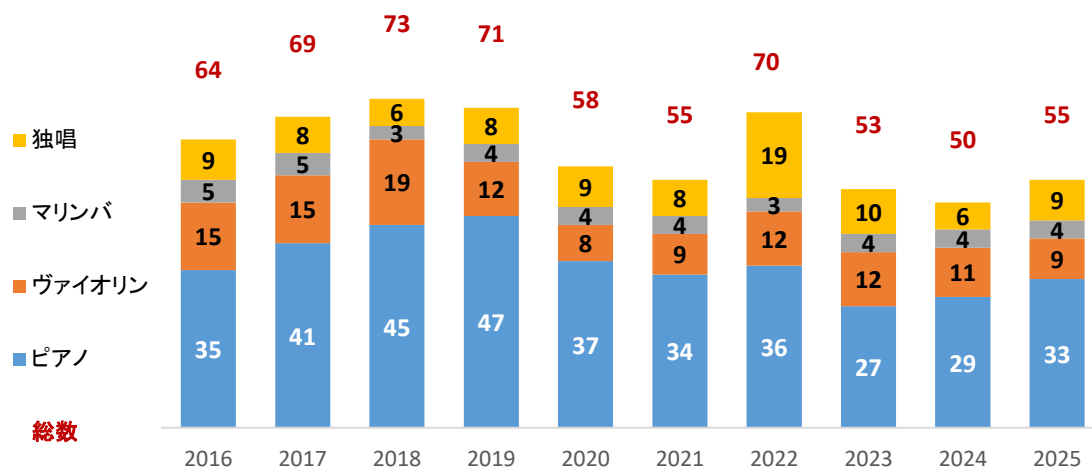
※上記以外に長期休暇(春期・夏期・冬期)中も9時～18時の間で、1日平均20人前後を受け入れている。
 ※2020年度はコロナ禍のため6月開園となったため開園日数が少ない。

5. 児童レッスン部

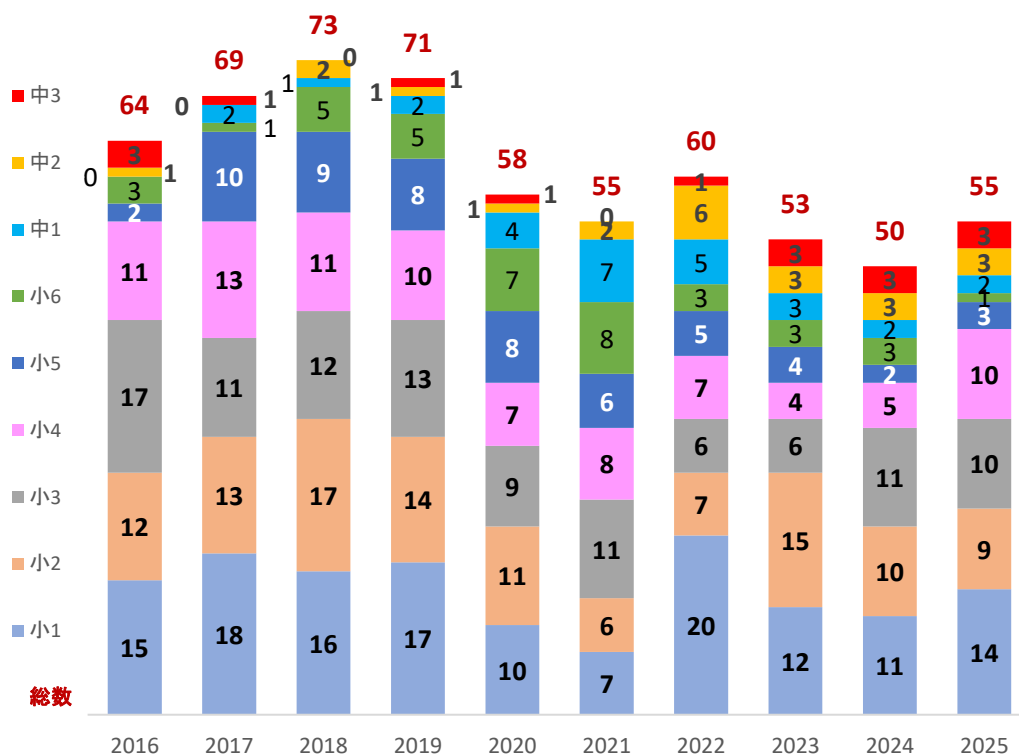
「児童レッスン部」：付属幼稚園の園児が卒園後も継続してレッスンが受講できるシステム。

- 対象：東京音楽大学付属幼稚園を卒園した者、及び在園児・卒園児の兄弟姉妹
- 受講可能期間：小学校1年生～中学校3年生
- 専攻：ピアノ・ヴァイオリン・マリンバ・独唱
- 時間：週1回 ①小1～小4 30分 ②小5～中3 40分
- レッスン期間：前期（4月～9月） 後期（10月～3月）
- 受講料：①99,000円 ②123,750円（一期分・税込）

児童レッスン部・専攻別レッスン生数推移



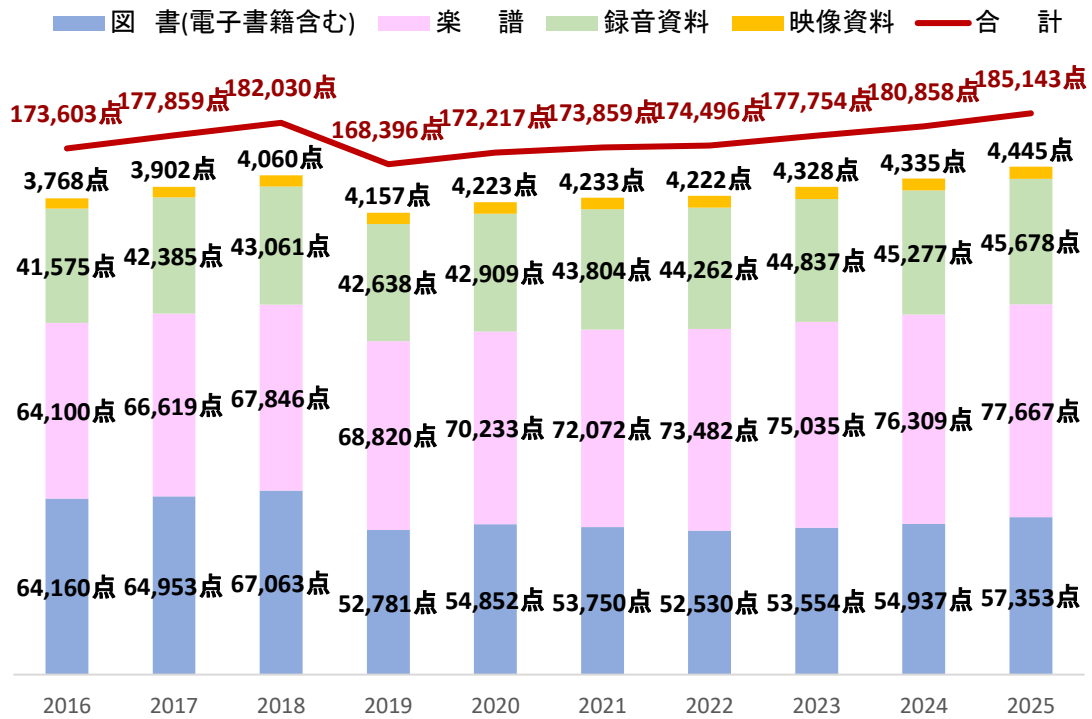
児童レッスン部 学年別在籍生推移



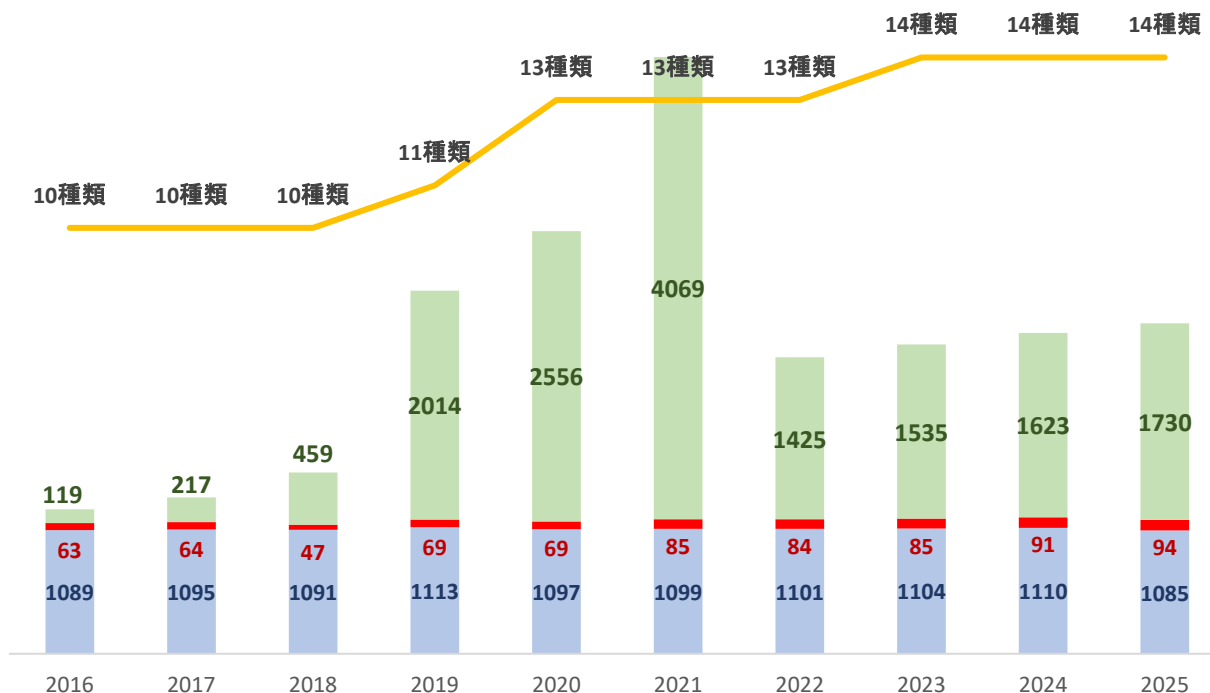
IV. 付属図書館

1. 蔵書数

蔵書数



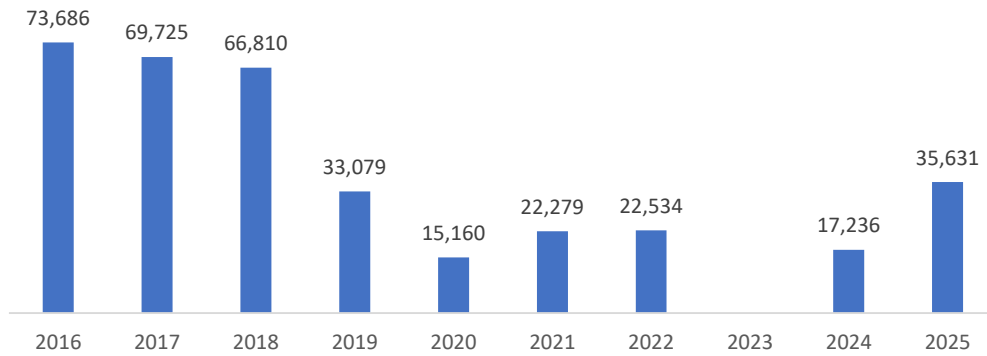
雑誌(タイトル) 電子ジャーナル(タイトル) 電子書籍(点) 契約データベース



※2019～2021年度は、ジャパンナレッジで閲覧可能な電子書籍の数を含んでいた。

2. 利用状況

入館者数



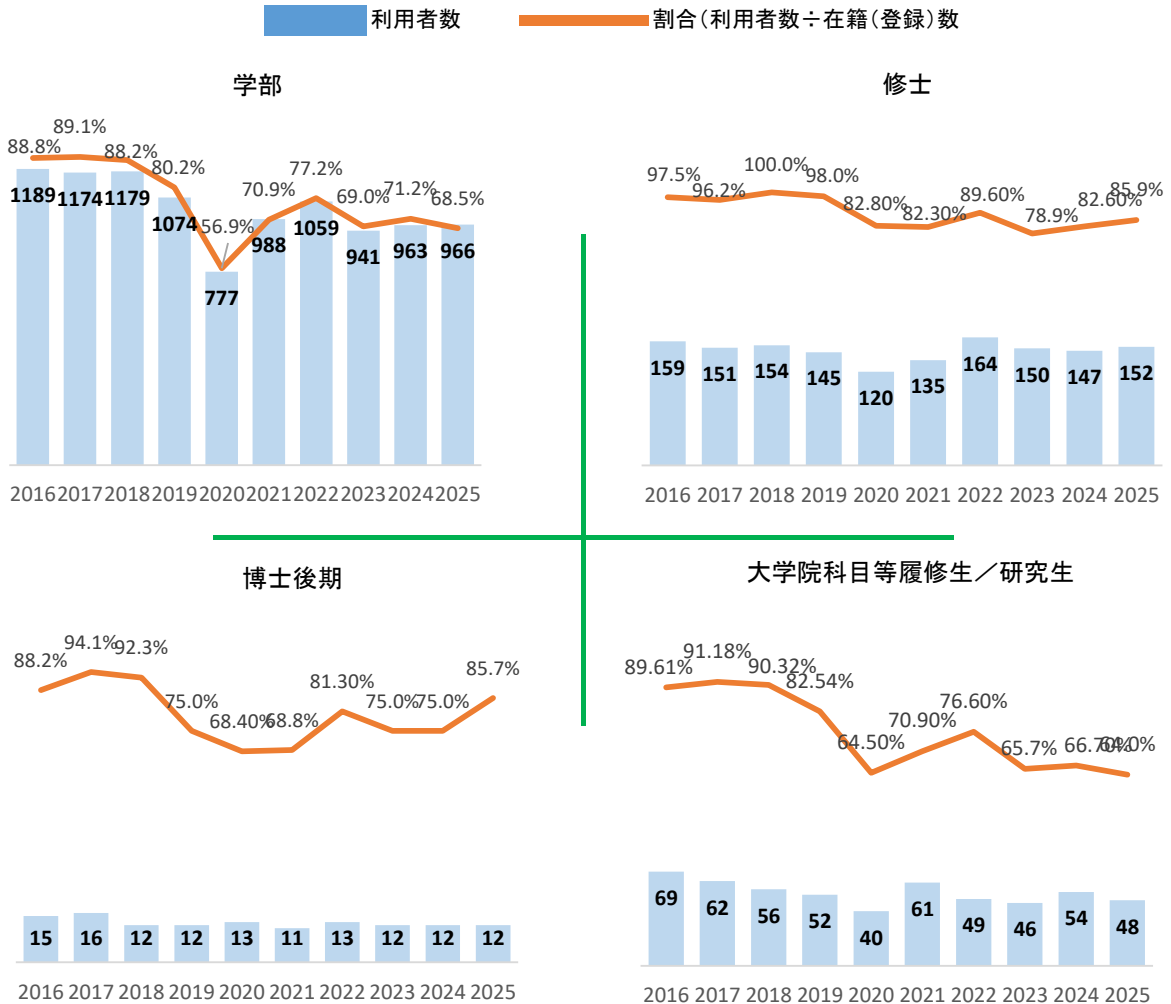
※図書館（池袋キャンパス）入口のカウンターに記録された数。中目黒・代官山キャンパス（クリエイティブラボ）での利用者数はカウントされていない。

※2023年度は図書館（池袋キャンパス）耐震工事のためカウント無し。

※2024年より新図書館でカウント開始。

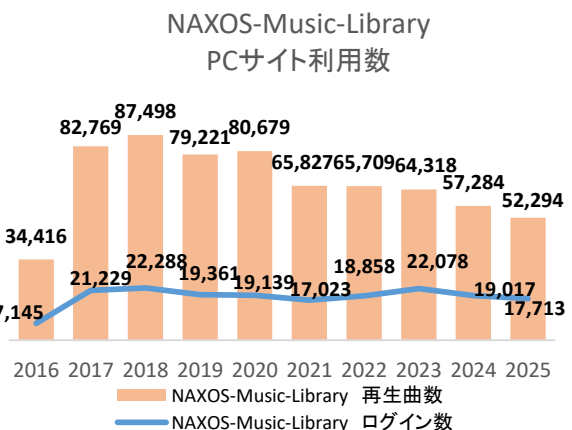
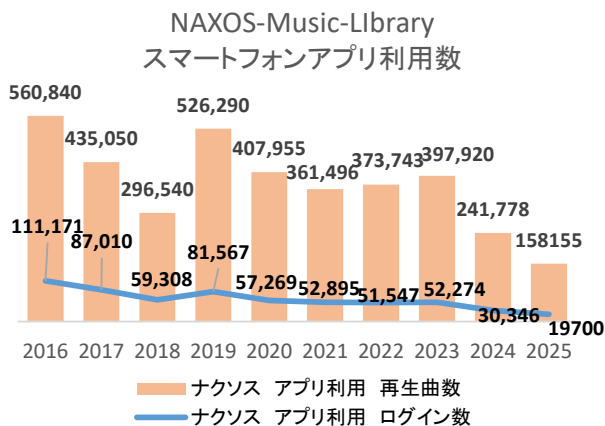
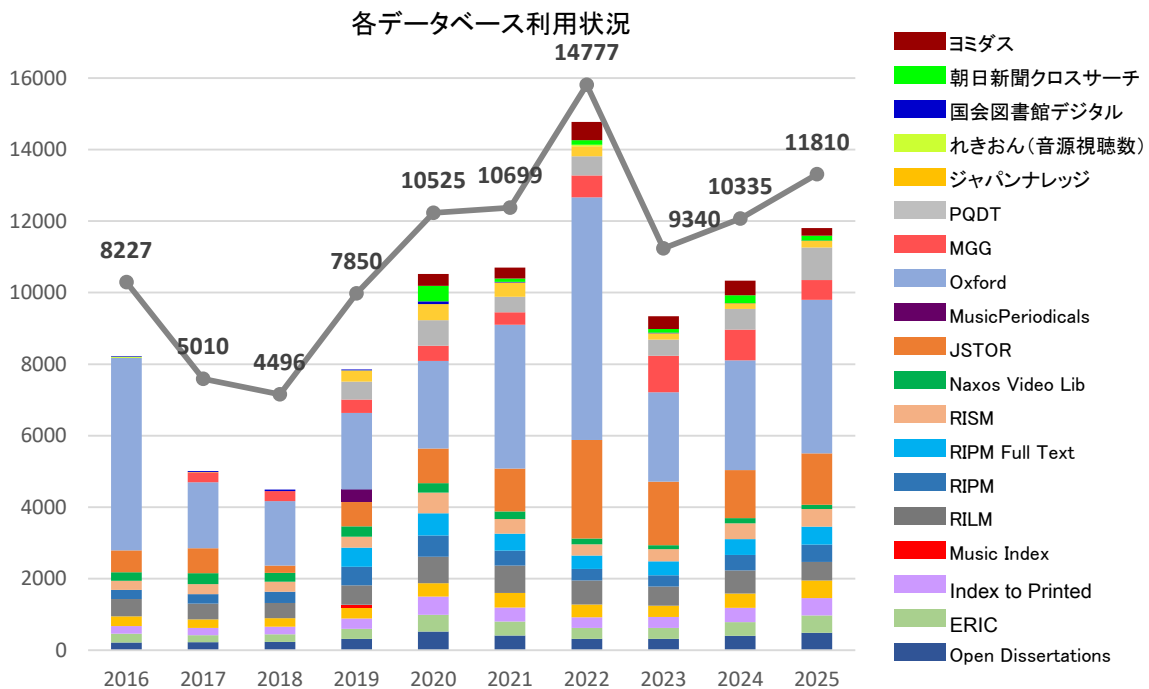
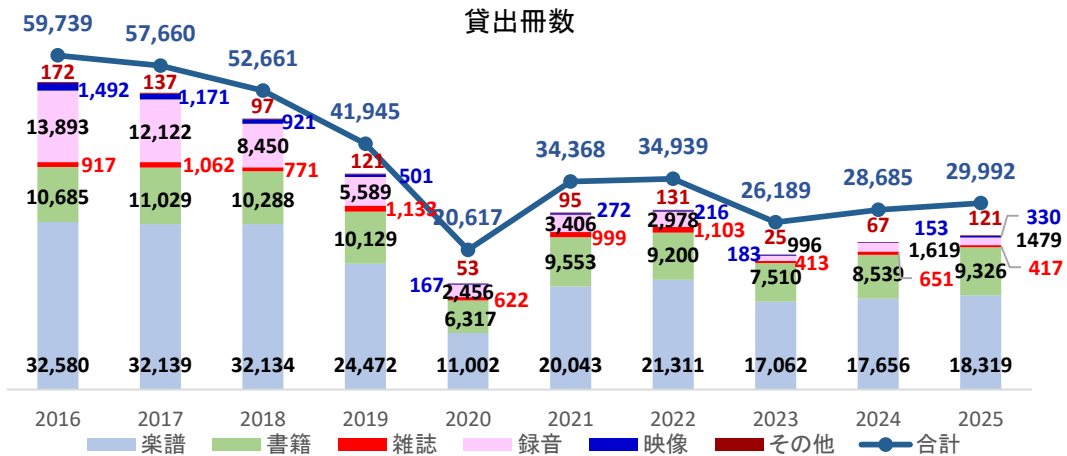
利用者数

一度でも図書館を利用した学生の数



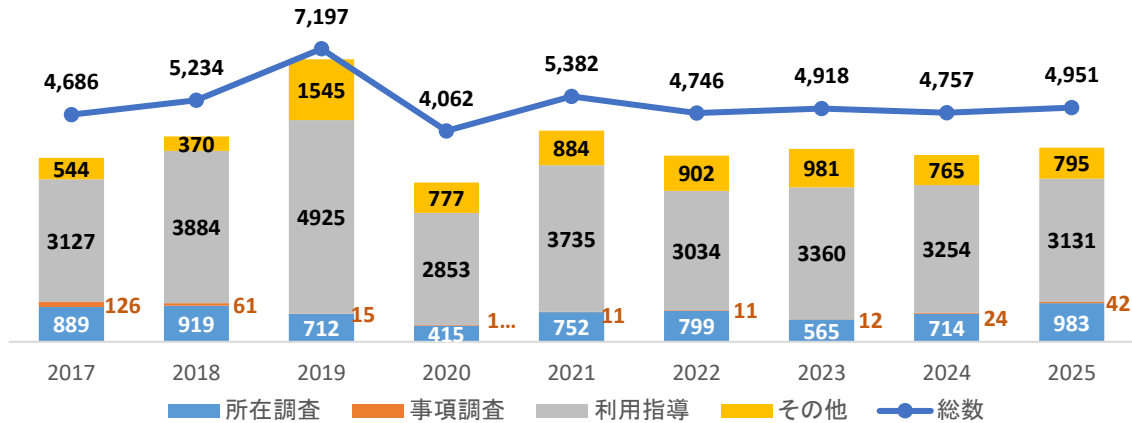
※2024年度は研究生数+継続科目等履修生数 2025年度は研究生数

2. 利用状況



2. 利用状況

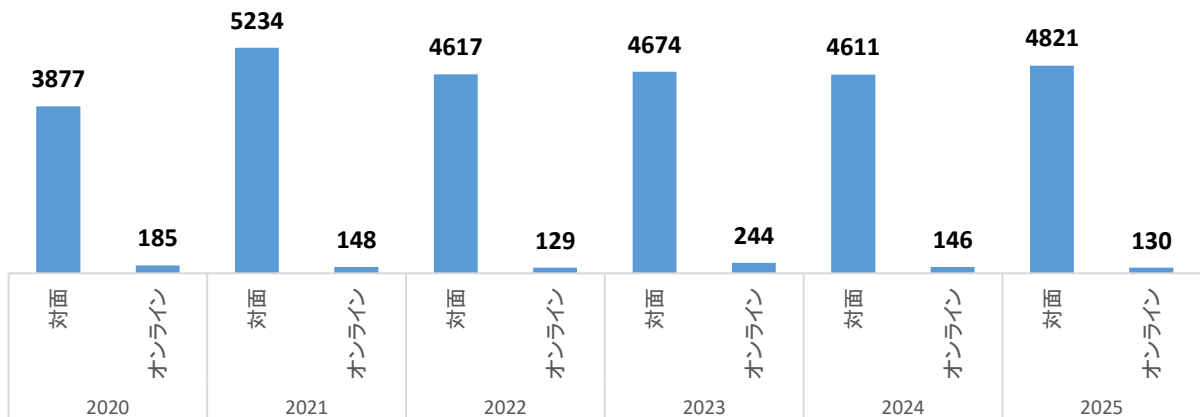
内容別レファレンス件数



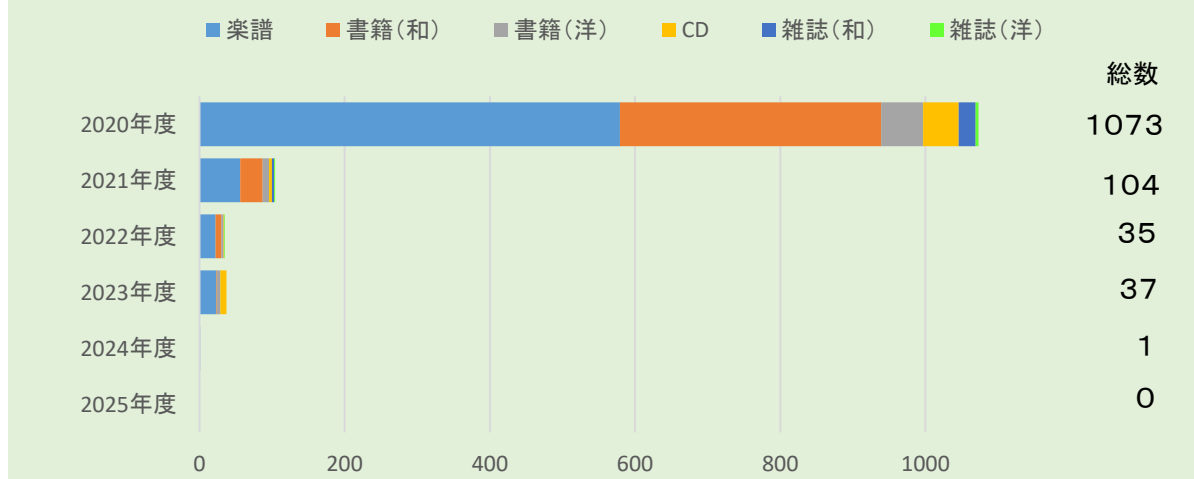
※レファレンスとは、資料や情報を求めている人が適切な情報源を見つけるために図書館職員がサポートすること。
 ※2020年度以降のレファレンス件数は、オンライン対応数を含む。

2020年度よりコロナ禍をきっかけにオンラインレファレンスサービスを開始

対面・オンライン別レファレンス件数

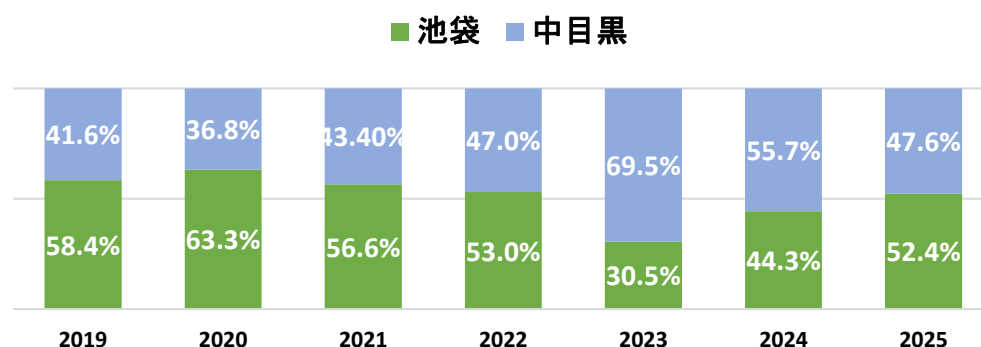


資料種別郵送貸出件数



2. 利用状況

池袋キャンパス 中目黒・代官山キャンパス 貸出点数比較(割合)



2025年度の利用状況

利用者		楽譜	書籍	逐次 刊行物	録音	映像	ROM	マイクロ	映像 解説	録音 解説	総計	昨年度 総計	増減
利用区分													
学内	大学(学部)	9059	3365	56	362	41	0	1	0	31	12915	12072	843
	学部科目等履修	4	7	0	0	0	0	0	0	0	11	4	7
	聴講生	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	大学院博士後期	120	132	6	20	0	0	0	0	0	278	673	-395
	大学院修士	2451	1708	15	170	14	1	0	1	2	4362	5207	-845
	研究生(※1)	445	284	19	32	2	0	0	0	0	782	770	12
	教員(※2)	3598	1877	216	385	167	2	0	1	23	6269	4960	1309
	職員(※2)	471	875	42	90	36	0	0	2	2	1518	1566	-48
学内小計	16148	8248	354	1059	260	3	1	4	58	26135	25252	883	
学外	交換留学生	6	0	0	0	0	0	0	0	0	6	4	2
	交流学生	45	73	0	8	16	0	0	0	0	142	13	129
	高校	591	141	0	13	3	0	0	0	0	748	544	204
	音楽教室	7	0	0	0	0	0	0	0	0	7	17	-10
	卒業生	885	360	20	128	12	0	0	0	3	1408	1128	280
	旧教職員	130	66	0	132	11	0	0	0	0	339	237	102
	社会人講座(民音研)	141	121	0	65	3	0	0	0	0	330	457	-127
	指揮研修講座	177	228	2	67	25	0	0	0	0	499	526	-27
	オーケストラ・アカデミー	126	39	0	0	0	0	0	0	0	165	192	-27
	受験講習会	0	0	0	4	0	0	0	0	0	4	2	2
	講座受講生当日	23	7	0	2	0	0	0	0	0	32	32	0
	学外(一般)	16	0	0	0	0	0	0	0	0	16	70	-54
	学外(大学)	17	14	8	1	0	3	12	0	0	55	102	-47
	学外(豊島区)	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	-1
	ILL	7	27	2	0	0	0	0	0	0	36	42	-6
文献複写	0	2	31	0	0	3	34	0	0	70	66	4	
学外小計	2171	1078	63	420	70	6	46	0	3	3857	3433	424	
総計	18319	9326	417	1479	330	9	47	4	61	29992	28685	1307	
昨年度総計	17656	8539	651	1619	153	25	10	0	32	28685			
増減	663	787	-234	-140	177	-16	37	4	29	1307			

(※1)昨年度総計には旧大学院科目等履修生の利用数を含む。

(※2)教員は、演奏補助等を含む。職員はパート、アルバイトを含む。

※2023年度は図書館改修工事に伴い、図書・雑誌の一部、特にCDは約3分の2の利用を中止した。

V. 付属民族音楽研究所

作曲家・本学学長であった故 伊福部 昭氏により1975年に開設。
伊福部が故郷北海道のアイヌ文化に大きな影響を受けていたことから、アイヌ音楽の研究を主たる研究課題として出発。現在はさらに、インドネシアのガムラン音楽や沖縄の伝統音楽等、アジア地域における民族音楽へと研究範囲を広げている。

1. 公開講座

過去10年間

年度	内 容 (タイトル)	来場者数
2025年度	日・中・韓のコト -古典の音の響きと文化の違い-	120
	ポロネーズそのリズムの源泉 ～お話、演奏 (古楽器/モダン楽器)、ダンスと共に～	180
	中国無形文化遺産 江南絲竹 伝承の核心と名手たちの妙技	200
	現在に蘇る薩摩の土魂 (Vol.2) -天吹・薩摩琵琶・野太刀自願流の真髄-	350
2024年度	タイの仮面舞踊『ラーマキエン』と民俗舞踊 -その歴史と現在-	500
	幻の笛『天吹』の復元演奏 -現代に蘇る薩摩の土魂-	180
	インドネシア伝統舞踊とその発展	180
	伊福部昭の遺した楽器 ～明清楽器を聴く【其の十】～	180
2023年度	チェンバロ・アヴァンギャルド -初期バロックと現代作品を集めて-	241
	馬頭琴と尺八の対話 -音色の試み-	191
	日本民謡における声の響き	213
	中世からルネサンス時代のスペイン音楽～歌とビウエラで探索してみよう!～	423
2022年度	『バロック舞曲へのダンスからのアプローチ』	200
	『ルネサンス時代のリュートとビウエラ～歌との関係は?～』	300
	組踊「銘苅子」を聴く～三線演奏と解説～	200
	箏×チェンバロ	300
2021年度	ウクライナの音楽伝統の広がり	300
	-ウクライナの歌姫ステパニユック・オクサーナさんを迎えて-	
	.町田市主催「ガムラン×星空～きらめく響き」	100
	東京音楽大学×としまコミュニティ大学「インドネシアのジャワ・ガムランの魅力」	80
	南インドの音楽と楽器-ヴィーナとムリダンガム	40
	打弦楽器の歴史をたどって聞いてみよう、見てみよう、ピアノの源流	130
	箏 古典から現代～アンサンブルを中心に～	130
2020年度	ガムランと舞踊のオンライン・チャーターコンサート	オンライン
	八王子音楽祭2021世界の楽器展覧会	280
	パンフルートの贈り物～ルーマニアの風に乗せて～ (オンライン)	50
2019年度	モンゴル音楽の世界	200
	「アンデスの楽器の世界」	250
	「伊福部昭の遺した楽器～明清楽器を聴く 其の九」	120
	「アジアの声のワークショップ-インドの歌謡ドゥルパド」	50
2018年度	「中国伝統楽器の響き」	150
	「『チョーミン楽団が行く』上映会及び『ミャンマー音楽文化講座』	100
	「童謡作曲家の世界～成田為三から中山晋平まで～」	200
	「伊福部昭の遺した楽器～明清楽器を聴く 其の八」	150
2017年度	「童謡歌手の不思議な世界～かわいいは作れる?～」	180
	「ガムランと西洋音楽の出逢い」	150
	「伊福部昭の遺した楽器～明清楽器を聴く【其の七】～御座楽と明清楽」	220
	「音楽は自然とともに」	80
2016年度	「中央アジア・キルギス民族楽器アンサンブル〈オールドサフナ〉を聴く	180
	「韓国の伝統楽器:カヤグムとチャンゴの歴史・特徴・奏法」	150
	「池辺晋一郎～音楽をする人に伝えたいこと」	80
	「伊福部昭の原点を探る」	200
	「シルクロード楽器の響き～中国現代箏篋芸術の発見と伝播」	150
	「インド音楽の哲学～ドゥルパド歌謡から」	80
	「伊福部昭の遺した楽器～明清楽器を聴く 其の六」	120
2015年度	「トランシルヴァニアの鼓動～Zoord (口琴)」	100
	「池辺晋一郎～誰の心の中にもある音楽」	80

2. 社会人講座 実技と講義で学ぶ社会人のための音楽講座

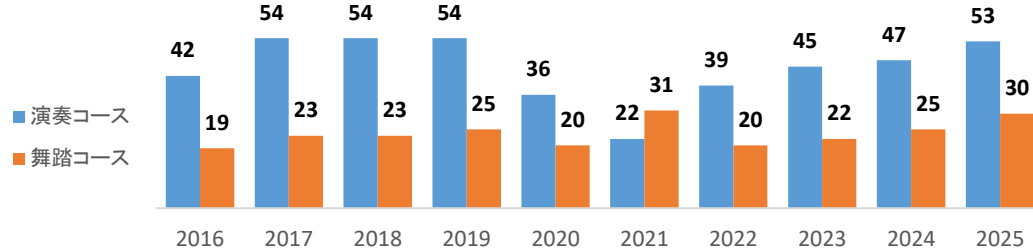
ガムラン講座

(年間30回程度 有料)

ガムランの演奏・舞踊を広く学ぶ、社会人を対象とした講座。

- 1.合奏コース 2.舞踊コース

ガムラン講座受講者数推移



アンサンブル講座・演奏講座 (1期6回各90分 ¥26,400 最小開講人数：各楽器7名)

アンサンブル講座： 箏・コムズ・アコーディオン (各楽器 初級・中級)

アンサンブルを楽しみながら技術の向上を目指す。

演奏講座： 馬頭琴・尺八・パンフルート・リュート (未経験者可)

個人・グループレッソンの組み合わせで演奏を楽しめるよう指導。

2025年度受講者数

アンサンブル講座： 第1期 21名 第2期 21名 (箏：初級・中級 コムズ)

演奏講座： 第1期 39名 第2期 22名 (馬頭琴：初・上級 尺八
アコーディオン リュート)

民族音楽等 社会人特別講座

邦楽、古楽器及び民族楽器を習得しようとする社会人が、本講座における個人レッスン(含アンサンブル)で、楽器もしくは舞踊の実技を学ぶ。

1.教養コース 2.研究コース 3.実技専修コース (1・2:¥307,000 3:¥220,000)

個人レッスン 年間25回、1回40分 講義 年間20回、1回80分 (3.は講義無し)

〈民族楽器〉

シタール [インド]、ジャワ・ガムラン [インドネシア]、トンコリ [アイヌ]

口琴 [ロシアなど]、コムズ [キルギス]、二胡 [中国]、馬頭琴 [モンゴル]

月琴 [明清楽]、パンフルート [ルーマニア]、龍笛、各種民族太鼓

〈民族舞踊〉

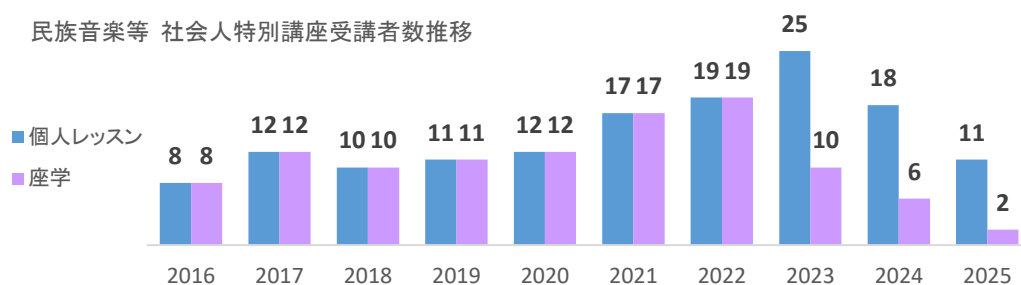
〈邦楽器〉

ジャワ舞踊 箏、尺八、琵琶

〈古楽器〉

リコーダー、フラウト・トラベルソ、リュート、ビウエラ、バロックギター、チェンバロ

民族音楽等 社会人特別講座受講者数推移



4. 刊行物

東京音楽大学付属民族音楽研究所研究紀要

伝統と創造=Dento to Sozo 1998年～Vol.15 (2026年3月)

伝統と創造=Dento to Sozo Vol.15

< 論文 >

G.M.ボノンチーニ『実践的音楽家』(1673)における二声対位法 一对斜と不協和音程の解決をめぐる一
 A discussion of counterpoint of Musico prattico(1673) by Giovanni Maria Bononcini with attention to
 cross relation and resolving dissonances
 坂由理

< 研究ノート >

マンクヌガラン様式ジャワ舞踏作品のガムラン伴奏音楽 -他地域由来奏法の記録とその現地活用-
 Gamelan Accompaniment Music for Java Dance Works of Mangkunegaran Style -Records on
 and Local Utilization of the playing Techniques Derived from Other Regions
 樋口文子

**Folk music of Yangtse Gewog, Trashy Yangtse Dzongkhag, Bhutan:
 Khapshey, O ma mo, Aye ro, Zhey mo, Alo, Maja**

ブータン タシ・ヤンツェ県ヤンツェ郡の民族音楽 -カプシェー、オマモ、エ・ロー、ジェイモ、アロー、マジヤー
 加藤富美子 伊野義博 黒田清子 権藤敦子 Tshewang Tashi Pema Wangchuk

アジアの発掘口琴チェックリスト(9): 湾曲状の口琴(6)

Asian Excavated Jew's Harps: A Checklist(9) — Bow-shaped Harps(6)
 直川礼緒

< 報告 >

民研フォーラムの創設と歩み

Minken Forum — Its implemantation and progress
 小日向英俊

パンフルートを通じた日本と世界の文化交流の発展

—大阪万博と「第5回日本パンフルートフェスティバルwithアジア」を事例として
 The Development of cultural Exchange Between Japan and the World though the pan Flute:
 A case Study of the expo Osaka and the 5th Japan pan flute Festival with Asia
 咲久徠史子 他

5. 民族音楽研究所主催 民研フォーラム

2023年度より創設した研究の場である「民研フォーラム」は、学内各部会の教員、関係研究者、学部学生、および大学院生の学術交流を図るために意図したものである。2025年度末までに8回開催している。「伝統と創造」—民研フォーラムの創設と歩み—より

第1回	イランのバグパイプ - ネイ・アンバーン Ney Anban -	2023年8月
第2回	「ガムラン入門 - インドネシアのジャワガムランと舞踏 -」の読書会	2024年3月
第3回	インドからマニプリ舞踏がやって来る！	2024年4月
第4回	中国琵琶と馬頭琴による作曲ワークショップ～新しい表現の試み～	2024年12月
第5回	馬頭琴演奏方法のイノベーション	2025年3月
第6回	トルコのケメンチェ	2025年4月
第7回	ブラジルへの旅 ヴァイオリンを通してみるブラジルの風景	2026年1月
第8回	馬頭琴の多様性と変遷 - 伝統を深化させる創	2026年3月

VI. 付属音楽教室

東京音楽大学付属音楽教室 1974年創設

対象： 幼稚園年中～高校3年（高校生はオープンシステムのみ可）

専攻： ピアノ ヴァイオリン チェロ ハープ クラシックギター 楽器 声楽 管楽器

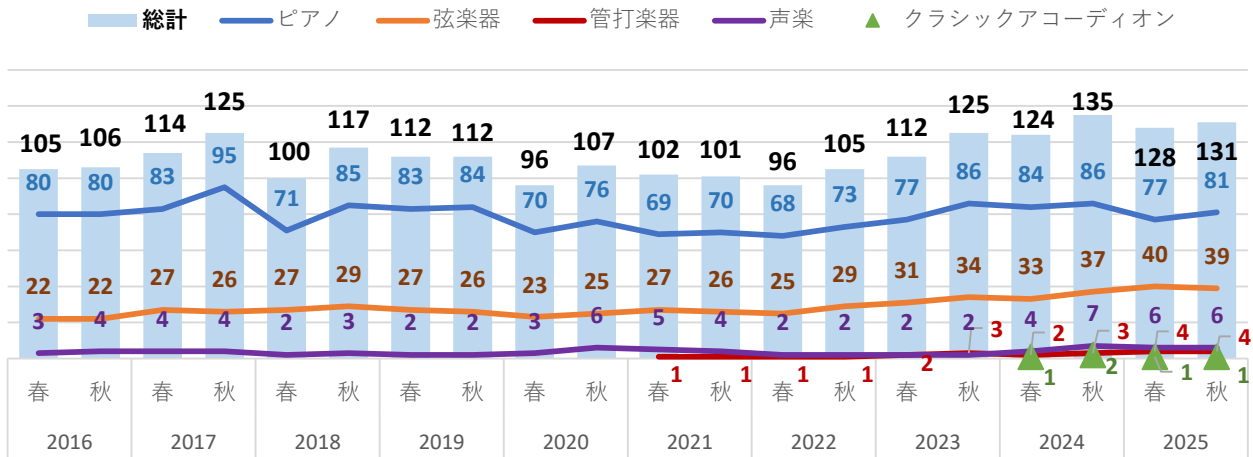
一般： 専攻実技レッスン 副科レッスン アンサンブルレッスン ソルフェージュ 定期試験 演奏会

オープンシステム： A レッスン ソルフェージュ B レッスンのみ

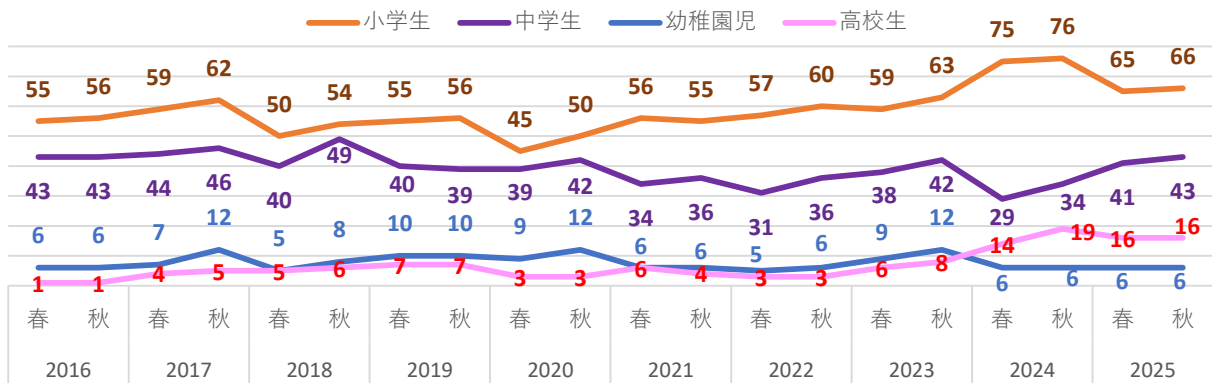
1. 生徒数

※全てのグラフにおいて幼稚園ソルフェージュの生徒数は含まない。

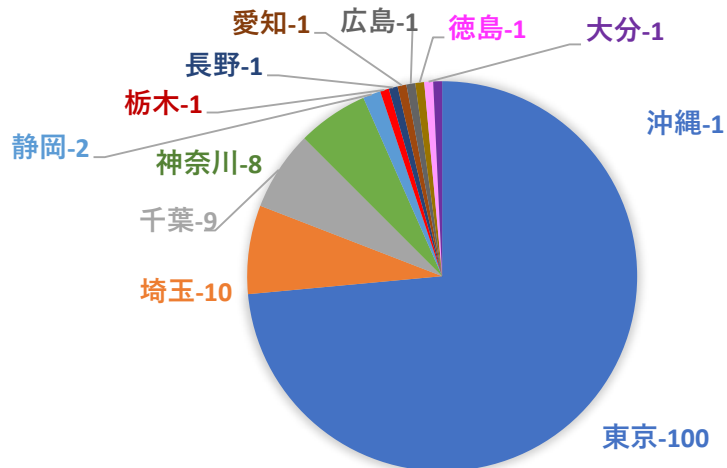
専攻別在室生数推移



学校区別在室生数推移

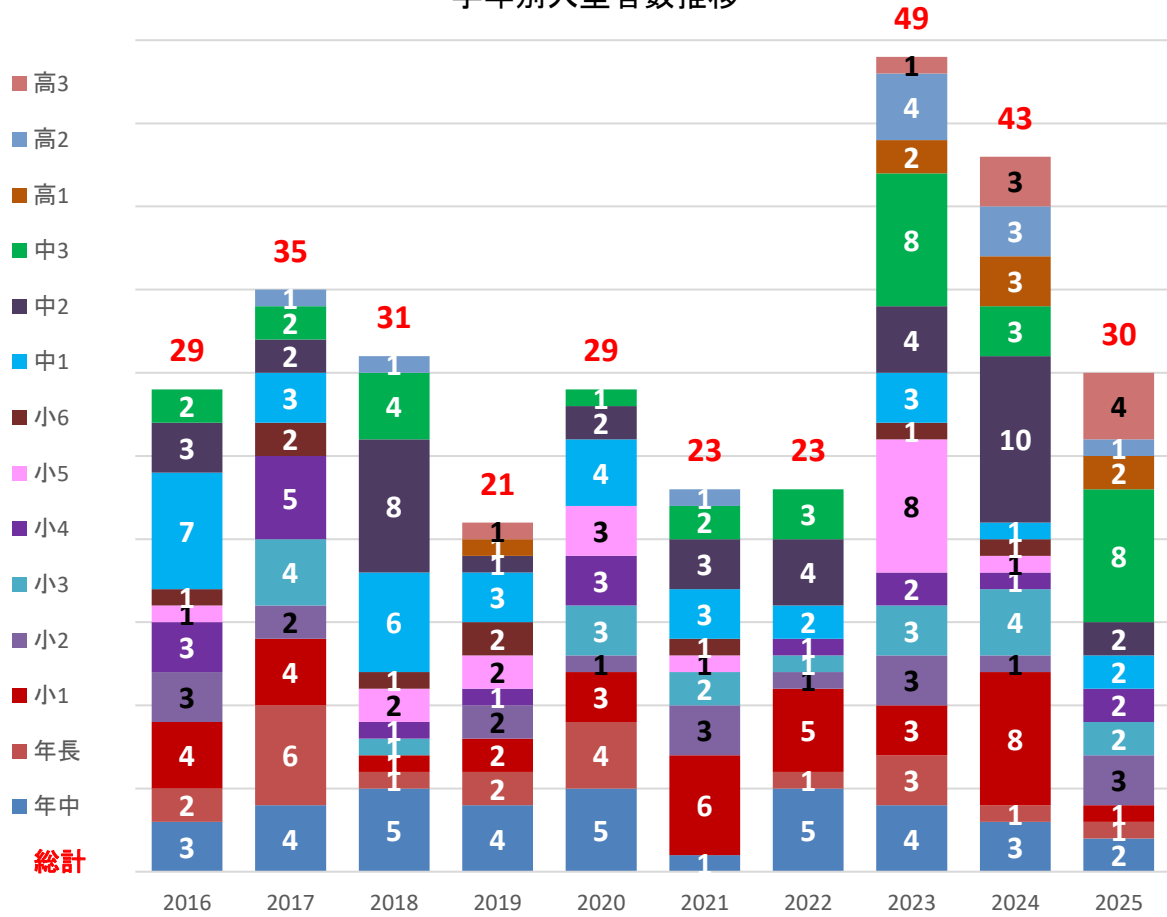


2025年度在籍生
居住地分布
136名

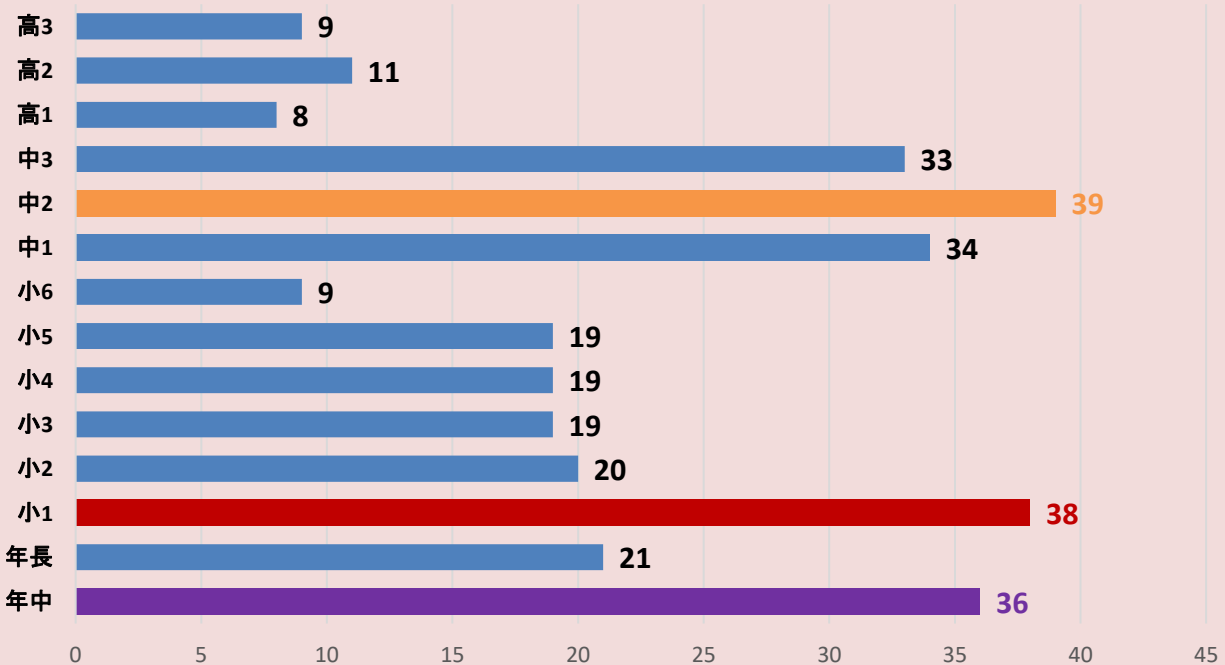


2. 入室状況

学年別入室者数推移



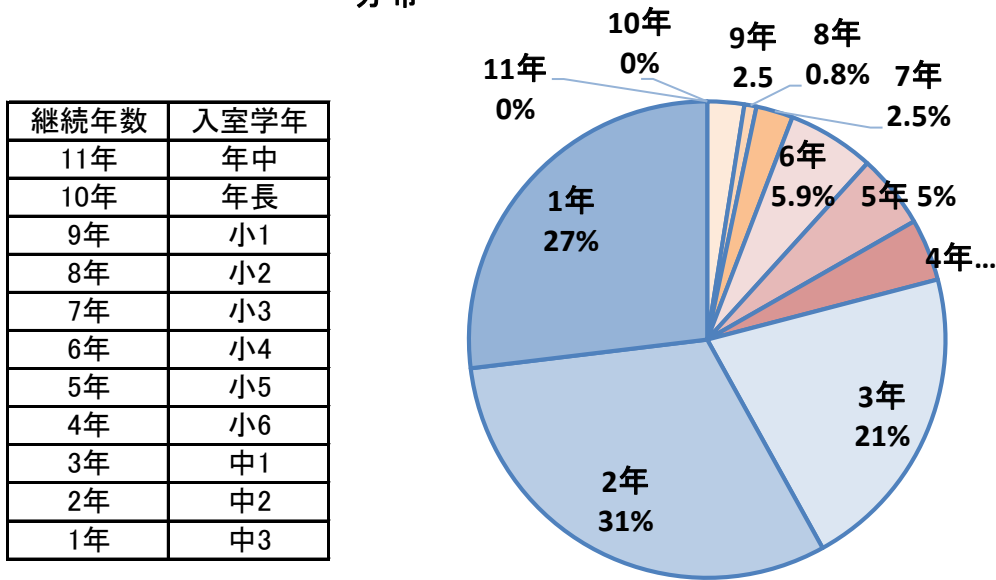
2016～2025年度在室生(315名) 入室学年別入室者数



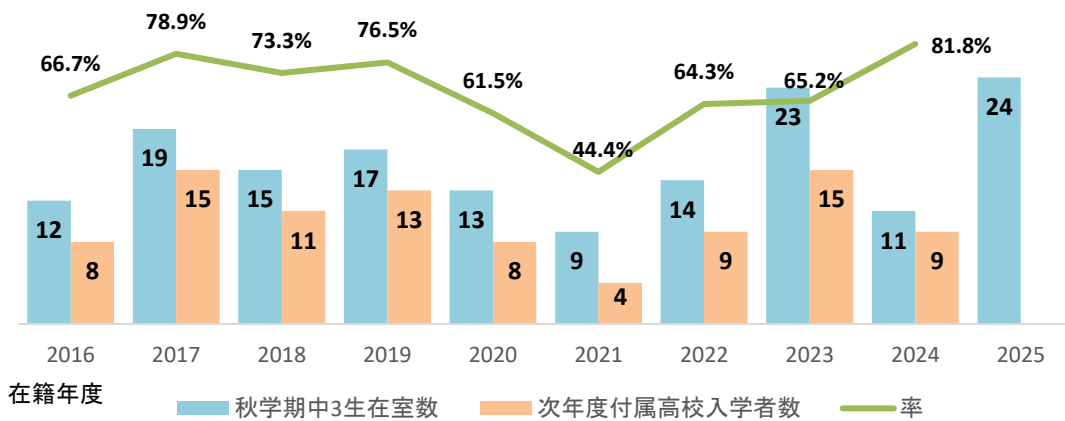
在室生(315名)は2016年度～2025年度に入室した生徒の総数。 ※年少組は入室対象外。

2. 入室状況

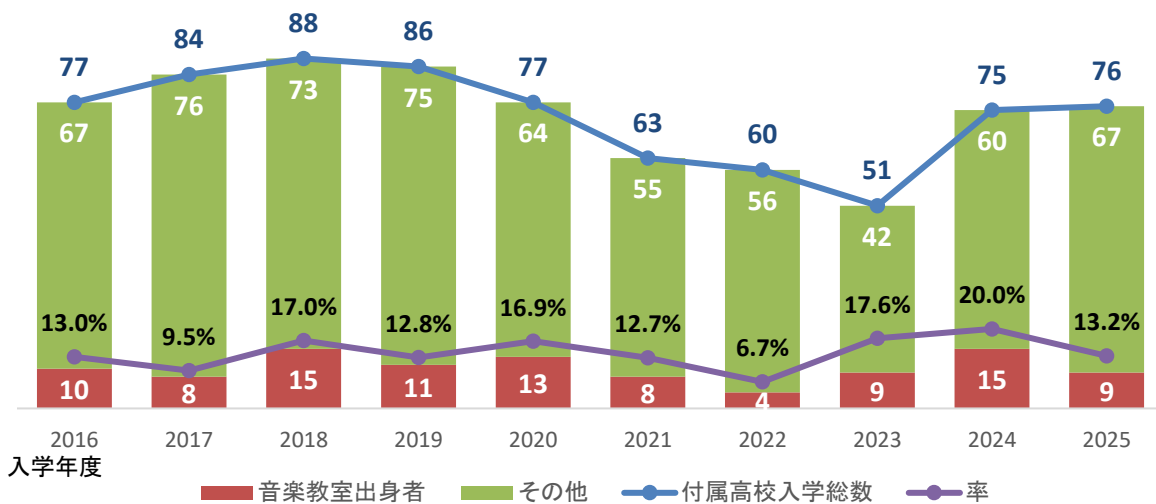
2016~2025 各年度 中学3年秋学期在室生(合計119名) 継続年数 分布



付属音楽教室中学3年在室生 年度別付属高校進学者数・率



付属高校入学者 付属音楽教室出身者の割合



事業活動収支計算書関係比率

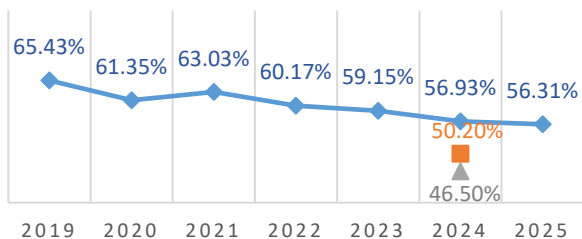
比率項目	算出基準	2021	2022	2023	2024	2025	評価	※1.	※2.
								2024	2024
① 人件費比率	人件費／経常収入	63.03%	60.17%	59.15%	56.93%	56.31%	▼	50.20%	46.50%
② 人件費依存率	人件費／学生生徒等納付金	76.72%	74.14%	73.65%	70.21%	74.08%	▼	64.10%	97.40%
③ 教育研究経費比率	教育研究経費／経常収入	33.84%	36.52%	35.05%	35.19%	34.37%	△	36.80%	44.30%
④ 管理経費比率	管理経費／経常収入	10.82%	9.39%	9.41%	7.87%	6.69%	▼	11.10%	6.80%
⑤ 寄付金比率	寄付金／事業活動収入	0.34%	2.10%	2.34%	0.53%	1.62%	△	0.60%	1.60%
⑥ 補助金比率	補助金／事業活動収入	5.51%	10.15%	12.16%	14.20%	14.28%	△	10.50%	10.60%
⑦ 基本金組入率	基本金組入額／事業活動収入	0.04%	18.14%	20.39%	10.88%	14.95%	△	11.90%	8.70%

※1. 芸術系19大学の平均 ※2. 全国567大学の平均

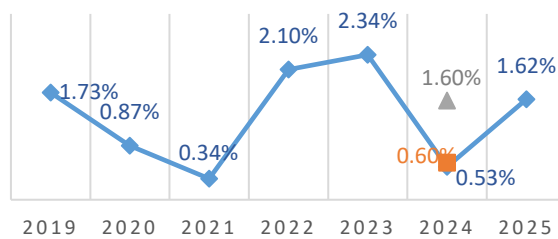
評価：△高いほうが望ましい ▼低いほうが望ましい

◆ 本学 ■ 芸術系19大学平均（2024年度） ▲ 全国567大学平均（2024年度）

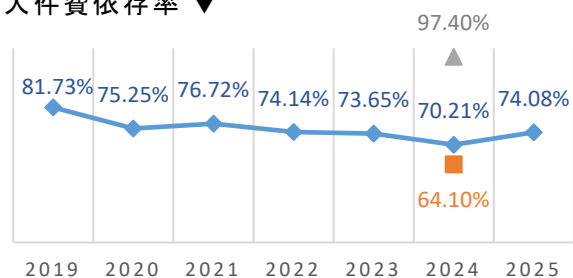
① 人件費比率 ▼



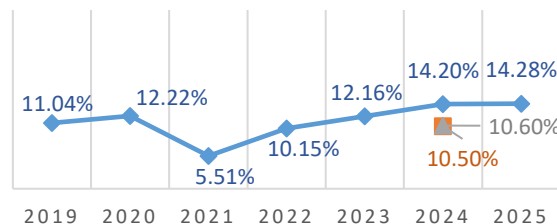
⑤ 寄付金比率 △



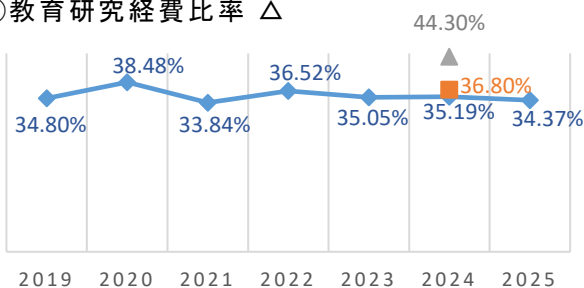
② 人件費依存率 ▼



⑥ 補助金比率 △



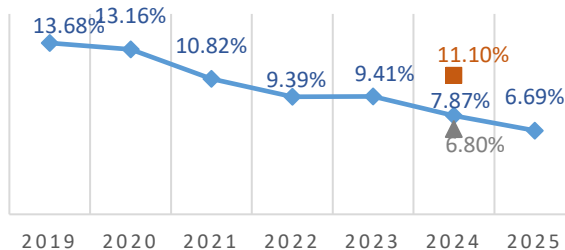
③ 教育研究経費比率 △



⑦ 基本金組入率 △



④ 管理経費比率 ▼



貸借対照表関係比率

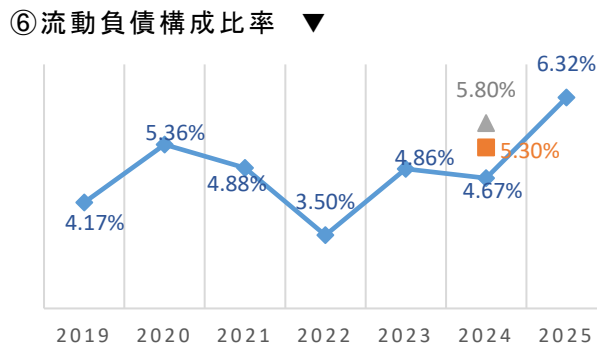
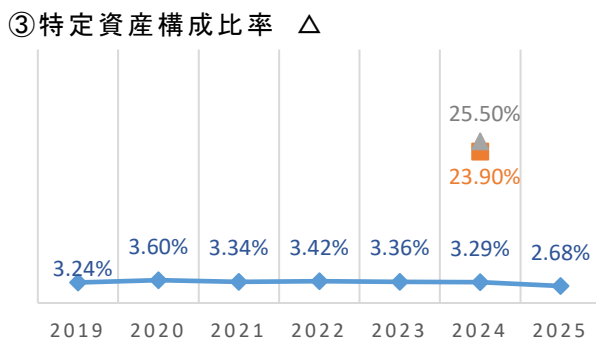
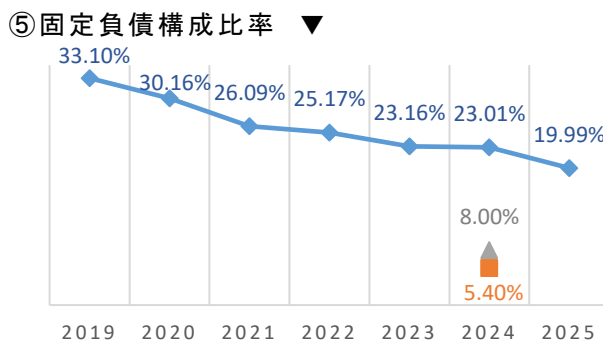
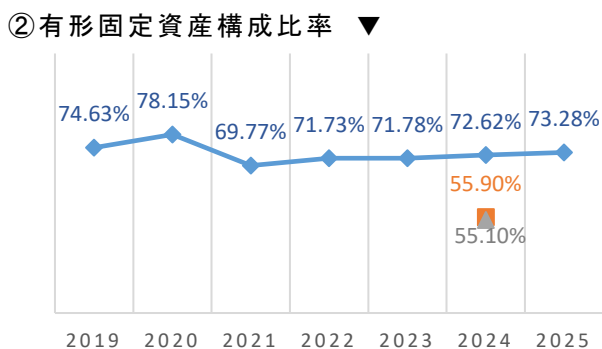
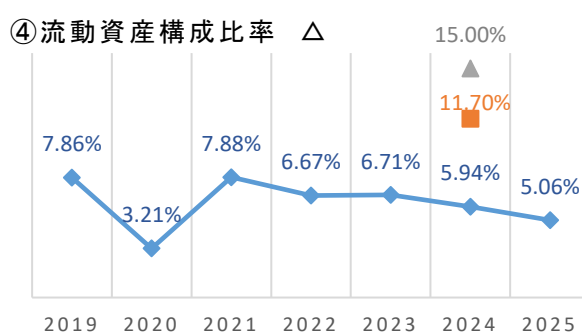
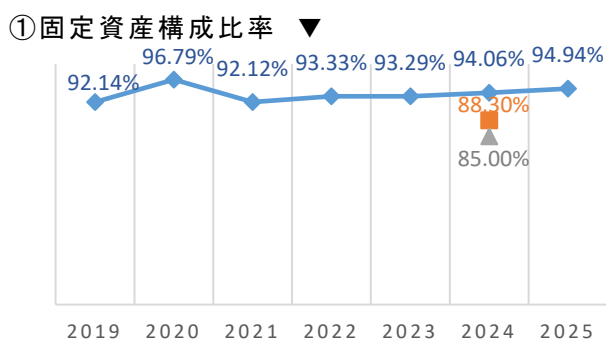
※1. ※2.

項目	算出基準	2021	2022	2023	2024	2025	評価	2024	2024
① 固定資産構成比率	固定資産／総資産	92.12%	93.33%	93.29%	94.06%	94.94%	▼	88.30%	85.00%
② 有形固定資産構成比率	有形固定資産／総資産	69.77%	71.73%	71.78%	72.62%	73.28%	▼	55.90%	55.10%
③ 特定資産構成比率	特定資産／総資産	3.34%	3.42%	3.36%	3.29%	2.68%	△	23.90%	25.50%
④ 流動資産構成比率	流動資産／総資産	7.88%	6.67%	6.71%	5.94%	5.06%	△	11.70%	15.00%
⑤ 固定負債構成比率	固定負債／総負債＋純資産	26.09%	25.17%	23.16%	23.01%	19.99%	▼	5.40%	8.00%
⑥ 流動負債構成比率	流動負債／総負債＋純資産	4.88%	3.50%	4.86%	4.67%	6.32%	▼	5.30%	5.80%

※1. 芸術系19大学の平均 ※2. 全国567大学の平均

評価：△高いほうが望ましい ▼低いほうが望ましい

◆ 本学 ■ 芸術系19大学平均（2024年度） ▲ 全国567大学平均（2024年度）



Tokyo College of Music

東京音楽大学